

激江

大阪経済大学大樟会

経大人のための情報誌

D E N K O

2018年

53号

特集1

インタビュー

高田明氏

(ジャパネットたかた創業者)

「母校を語る」



特集2

女性卒業生
座談会

「この大学を卒業して
思うこと」



母校を語る

株式会社ジャパネットたかた 創業者
株式会社V・ファーレン長崎 社長
株式会社A and Live 社長

高田 明氏

長崎県佐世保駅から車で15分程走ったところで「Japanet」と表示されたひときわ目立つ建物が目に飛び込んできた。ここが通販の全国発信基地だ。読者の方々にはまだ記憶に新しいと思うが、あの独特の甲高い声で「1万9800円」などと説得力のある口調で全国のファンの心をとらえ、今や通販業界大手にまで育てあげた高田氏の本丸なのだ。

現在は(株)ジャパネットたかたの経営はご長男へ譲り、地元のJ1サッカーチームのオーナーとして多忙な毎日を過ごされているが、貴重な時間をお割きいただき本学での学生生活、卒業後通販業界に参入されたいきさつなどをお聞きました。

小林 学生生活はどのようにお過ごしになりましたか。

高田 当時、叔父が大阪経済大学のESSの部長をしていて非常に英語も優秀でした。それで私も大阪経大へ行くことに決め、入学してすぐESSへ入りました。英語を勉強して英語の使える貿易会社に入って海外へ行きたかったのです。フランス語も好きでしたのでベトナムからの留学生に教えてもらいました。当時は、日本の激動期でした。学生運動も盛んで本学が占拠されていたこともありました。ESSも駆り出されて御堂筋あたりでワッショイ、ワッショイやりましたし、パチンコや麻雀もよくやりました。遊ぶ時には遊び、勉強する時にはしっかり勉強をしてメリハ

りをつけることが大事で、学生諸君には自分の目指しているものに向けて一生懸命勉強をしていただきたいと言いたいですね。4年生の1970年には大阪万博がありましたが、日本もだんだんと戦後復興してきて、それから高度経済成長が始まり、英語の必要性がものすごく求められた時期に英語を学んだということはすごくタイムリーなものがあったのではないのでしょうか。そういう環境の中で4年間を過ごしました。今でも卒業生でよく会うのはESSの仲間だけです。その連中はみんな海外駐在員になったり、1級後輩は今年帰ってきましたが、40年間海外で暮らしていたり、そういう環境の人たちが多いのです。大経

大時代はESSに関わったことが一番大きかったですね。

小林 最近の学生はあまり勉強しないとの話を聞きますが。

高田 勉強でも何でも好きになってこそ「もの上手なれ」で、やる時にはやらなければいけませんね。中途半端ではなくてね。私は本にも書いていますが、瞬間瞬間を一生懸命生きる。本学では英語を一生懸命勉強しました。それだけでも自分の人生、将来が見えてくることもあるのですね。若い学生の皆さんに言いたいことは、一生懸命頑張っていれば、何年後か何十年後かにどこかでその努力というものが自分に帰って来るということですね。だれも見えてくれない、評価してくれない、自分の努力したことが報われないとかを短期的に考えずに、自分が70歳になってその努力が報われることが起こるかもしれません。一生懸命今を生きて、努力することが人間にとって大切だと私は思うのです。

小林 学生時代は随分と英語を勉強されたようですが、その後の人生に大きく役立ったようですね。

高田 卒業後は在学中からアルバイトをしていた阪村機械製作所へ入社しました。そこには大経大のESSのOBも多く在籍していました。貿易部へ配属されて入社後1年くらい経ってから、8か月間ドイツのデュッセルドルフへ駐在しました。45年くらい前のことにな

りますが、飛行機にも300回くらい乗り、ヨーロッパのほとんどをまわりましたので、その時いろいろな経験をさせていただきました。やはり英語というひとつのものを一生懸命やるということは何かを生み出すことができる。英語を勉強したことで海外へも行けたし、その時の色々な知識、経験はその後ジャパネットたかたを立ち上げる時に大きくプラスになりました。

小林 最近は英語を使われることがありますか。

高田 ジャパネットを辞めてから2年くらい海外で生活したかったのですが、状況が状況だけに行けなくて。若いころは結構使っていましたが、最近はしゃべる機会がなくて単語を忘れてしまいました。今は“I have a pen”くらいではないでしょうか。(笑)

小林 今ではラジオ、テレビを通じて「ジャパネットたかた」の名前を知らない人はいないほどの通販業界のトップクラスに成長されましたね。

高田 25歳で故郷の平戸に帰って来て、両親と兄弟が経営するカメラ店に入りました。その後、30歳で女房と佐世保に出てきて、40歳まで通年で15年間カメラ店を経営していました。当時は写真フィルムを集めてプリントをする、カメラも販売するという普通のカメラ屋さんと同じ事業をしていましたが、同じことをしていたのではダメだと思っていました。私は、

CONTENTS

- | | | | |
|----|--------------------------------|----|---------------------|
| 2 | インタビュー●高田明氏「母校を語る」 | 24 | 支部だより |
| 6 | 特集●女性卒業生座談会
「この大学を卒業して思うこと」 | 39 | OB・OGネットワーク |
| 10 | 藤本二郎新理事長に聞く | 45 | 卒業回数・卒業年早見表 |
| 12 | ホームカミングデー・大樟会総会 | 46 | ゼミ短信 |
| 16 | わがまちイチオシ | 49 | お世話になった先生からのお元気なお便り |
| 18 | クラブ活動紹介 | 50 | ズームアップ経大人 |
| 21 | 大樟会の奨学金制度、実施／パソコン教室 | 56 | 本部だより |
| 22 | 新・北から南から | 59 | 大樟会支部長・各種部会会長一覧 |



兄弟たちと一緒にホテルの宴会場で写真を撮って、夜に交代でプリントをして翌朝その写真を販売する。これを15年間やりました。写真を買ってもらうためにはどうしたらいいのだろう。お客さんに喜んでもらうためには笑顔の写真を撮らなければいけない。ビジネスでも生き方でも相手の気持ちへ寄り添うこと。写真を撮っている中で感じたことですね。また、どこの県の方、どういう団体の方がよく買っていたのかなど、宴会写真を撮る中でマーケティングができたことが「ジャパネットたかた」に入って役に立つとは思いませんでした。これが写真を撮り続けたという15年間の自分がいるということですね。

小林 ラジオ、テレビショッピングを始められたきっかけは何だったのですか。

高田 小さなカメラ店ですので、テレビを宣伝に使う資金はありませんでしたが、ラジオなら結構安く店の宣伝ができました。ラジオでセールスの案内などを何年かやっていたらラジオでしゃべる機会があって、1万9800円のカメラの宣伝をしたら、何と50台、100万円が売れたのですよ。「面白いものがあるのだなあ」と思いましたよ。当時は、ラジオでモノを売るということは一般的にはなかったですからね。私は、長崎でこんなメディアの使い方があるのなら、全国にラジオのネットワークを作りたいと思って、私自身が動きました。また、カシオの電子辞書があるでしょ。これは英語の発音が10万語くらい入っていてアメリカ人のネイティブな発音が出てくるのですよ。耳か

ら聞いて言葉を覚えていく。大体、電子辞書というものはどちらかと言えば学生さんが買っている辞書です。少子高齢化が進んでいることから、それを高齢者の方に「お孫さんたちの教育に使ってみませんか」と、英会話の発音をテレビで出しながら「こんな風にお孫さんやお子さんが電子辞書を使って英語が好きになったら国際的になれますよ」というしゃべり方をしたら、すぐにシニアの方から注文が入りました。びっくりしたのはESSで覚えたリンカーンの演説を暗唱したら、東京の30分番組1回で1億円の売り上げがありました。まさか40数年の月日を経て、英語を勉強していたことが役に立つとは思いませんでしたね。そして年商40億円くらいの会社ができました。ラジオでは中身が見えないでしょう。20万円くらいのものも言葉で売らなければならない。どうしたらこの素晴らしいものが伝えられるか。「伝えることから始めよう」という本を出させていただきましたが、どんな素晴らしいものがあったとしても伝えないと何も意味がありませんからね。それをきっかけに29年前に通販の世界に入ったのですが、その間に伝えることの大切さを学びました。

小林 私も現役時代テレビを通じてニュースを伝える仕事に関わってきましたが、それが視聴者に「伝わったのか」までは確認しませんでしたね。

高田 私たちの世界では「確認」しなかったら商品を買っていただけないから企業として成り立たないのです。「伝えたつもり」が一番怖いですね。今を生き「つもり」だとか頑張っている「つもり」では10年～30年経っても自己を変えられないのです。商売もそうです。「伝える」と「伝わる」ことは違います。これを一番大事にして、そして一生懸命伝え方を自分なりにラジオ、テレビで勉強させていただきました。あの声が高くなるのも伝えたいという思いで自然に出てくるのです。伝えようと思えばボソボソと言っても伝わらない。そこで「ジャパネットたかた」という会社が、みなさんの力をお借りして成長させ

ていただいたのかなと思っています。

小林 ところで最近、地元サッカーチームのオーナーになられましたね。

高田 これまでもスポンサー企業として関わってきたのですが、まさか倒産するほどの経営危機だということはありませんでした。3億円超の負債を抱えていたのが支援に入ったのですが、社長も引き受けて欲しいとの要請があり、引き受けることにしました。サッカーは大変なところもあるのですが、J2からJ1へ昇格するために頑張っています。ファンの夢を実現させるために「長崎の奇跡」を起こしたいと思っています。

小林 最後に後輩たちにアドバイスを…。

高田 私が言いたいことは、やりたいことは中途半端でや

るな。やりたいことは思い切って、絶対にチャレンジしてやるのだという強いパッション（情熱）を持つことが人生の中で大切だと思っています。今を一生懸命生きてこそ、強いパッションを持って、そしてアクションという行動に移していくということで、人は自己を更新できます。これが一步一步自己を更新して、自分が目指す夢に近づき、有意義な人生を終えるということではないかと思います。私は母校が好きですから、全国で講演するときには必ず大阪経済大学のPRをしていますよ。

小林 貴重なお時間をお割きいただきましてありがとうございました。

（聞き手＝広報部長・小林真人）

2017年9月11日、ジャパネットたかた本社で

V・ファーレン長崎は11月11日念願のJ1昇格が決まりました。

高田 明氏 略歴

1948年11月3日、長崎県平戸市生まれ。69歳。1971年本学経済学部を卒業後、(株)阪村機械製作所へ入社。1974年父親の経営する「(有)カメラのたかた」入社。1986年分離独立し、「(株)たかた」を設立。1999年「(株)ジャパネットたかた」に社名変更。その後、ラジオショッピングの全国ネットワークを広げ、現在はテレビの他にもチラシ、カタログなど紙媒体や携帯サイトなどの通販

事業を展開。2012年には新たな拠点として東京へオフィスとスタジオを開設し、1700億円超を売り上げる通信販売会社に。2015年1月に「((株)ジャパネットたかた」代表取締役退任後、「(株)A and Live」を設立。2017年4月、サッカー J2クラブチーム「(株)V・ファーレン長崎」の代表取締役に就任。著書「伝えることから始めよう」(2017年東洋経済新報社刊)がある。





特集●女性卒業生座談会

この大学を 卒業して思うこと

出席者 柴田悦子様(14回) 市原幸恵様(42回)
石元佳代様(47回) 原田かおり様(52回)
吉仲美智子様(68回)
司会 小林真人(広報部長・元テレビ山口ニュースキャスター)

司会：本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。大阪経済大学大樟会（同窓会）広報部長の小林です。この度、「澱江53号」の特集としまして、女性卒業生の座談会を企画いたしました。本日はよろしくお祈いします。はじめに自己紹介をお願いいたします。

柴田：昭和20年3月に本学の前身である大阪女子経済専門学校（女子経専）に入学しました。当時はまだ空襲が続いていました。大学へたどり着くだけでもたいへんでした。卒業後、大阪商科大学（現・大阪市立大学）商学部に助手として採用されました。その当時大学は、将来女子学生が増えるのを見越して女性教員を採用したようです。講師、助教授、教授として39年勤めました。その後、名城大学で10年間勤めました。専門は交通論です。特に深く研究しているのは港湾経済で、学会では副会長を務めました。激動の時代に女子経専に入学した私たちの学年は結びつきが強く、毎年同窓会をしています。90歳を超えた方も同窓会に来られます。

市原：兵庫県明石市出身です。本学卒業の夫と税理士法人を経営しています。大学時代に属した税理研究会というサークルが、税理士を目指すスタート地点となりました。動機づけをして導いてくださった先生や

先輩に感謝しております。現在では、中小企業の税務・会計業務全般のほか、相続税申告や地元市の固定資産評価審査委員会委員・宅地建物取引士の法定講習講師など幅広い仕事をさせていただいております。税理士に定年はありませんし、やりがいもあり、自分には合っていると思っています。

石元：



石元佳代さん

ケアマネジャーをしています。会計事務所へのオフコン販売の営業を3年間しましたが、結婚後退職しました。40歳ぐらいの時、急性肺炎で1年間入退院を繰り返し、落ち込んだ時期がありました。その時、献身的な看護師さんの仕事を見て、自分もこんな仕事ができないかなと思いました。そしてヘルパーの資格を取り、介護福祉士になり、ケアマネジャーになりました。充実した忙しい毎日を送っています。

原田：卒業後、先輩のいる会社に営業アシスタント（ルートセールス）として就職し、3年間勤めました。日用品・日用雑貨を扱う会社です。コンビニまわりをしました。結婚により退社し、子育てをしながらパートをし、現在はマンション管理会社に勤めています。内勤です。

吉仲：大阪市の職員です。箕面生まれです。私立幼稚園・小学校・中学校・高校まで女子校でした。就職氷河期でしたが、大阪市に採用され本学経済学部2部へ入りました。当時女性は2名でした。勤務経験は総

務部、税務、水道局、財政などです。大学同窓会との関わりは箕面支部の立ち上げの時からです。水道局は南港でしたが、箕面からは通勤に時間がとてもかかりました。そこで人事異動を希望し、今の梅田大阪駅前第2ビルの財政局の勤務になりました。税金関係の仕事が多いです。

司会：現在の本学は学部によっては、3割が女子学生ということで華やかな雰囲気ですが、皆さんの学生時代についてお聞かせください。

柴田：



柴田悦子さん

私は、旧制女学校では労働力不足のため4年生、5年生が同時卒業でした。当時は卒業後、嫁入り修行が普通でして、専門学校や上の学校へ行くのは少数派だったんです。挺身隊が組織されるということに

なり、専門学校へ入っても工場へ行く覚悟はしていました。男性がいないので労働力が必要ということです。昭和高商が女子経済専門学校になり、300人の入学者がありましたが、戦争が終わり、挺身隊逃れの人々が退学して半減し、3クラスになったのです。工場動員も工場が燃えてなくなってしまい、不思議なことに授業がありました。通学の途中で空襲の時は近くの防空壕に入れてもらいました。終戦後10月、学校は再開されました。経済学原論はドイツの学者による統制経済論から、マルクス経済論に変わりました。劇的な変化を体験しました。それでも、学校へ来るのは楽しかったんです。

市原：入学した時、女性が少ない大学だと思いました。上新庄の駅から学校まで全く女子学生に会わなかったもので、ちょっと不安になりました。経営学部15クラス中、最後のクラスにだけ20名程の女性がいたと思います。学内に、「目指せ税理士、公認会計士」という立て看板があり、大変興味を持ちました。高校卒業→銀行就職→結婚→パート勤務という当時の女性のお決まりのコースをたどりたくなかったので、大学へ来ました。「何かやりたい」という気持ちが強く、その看板の説明会に行きました。そのサークル出身

の税理士さんは多いです。小谷教授（現副学長）が1年先輩です。6月の日商簿記2級に新入生全員を合格させるべく、3回生が1回生を厳しく厳しく指導するというサークルでした。1回生は朝早く学校に来て、まず図書館に入って勉強を始めて、途中授業に行つて、戻ってまた、夜、図書館が閉まるまで勉強していました。

司会：大学生活で女性が少なく不便はありましたか？

石元：

私が入学した時、今年は女子学生が沢山入ってくるので、春休みの間に女子トイレを増やす工事をしていたと聞きました。増えたといってもクラスに4～5人ですかね。高砂市から通学していたので、1時間目に体育の授業があると、朝暗いうちに家を出ていたのですが、スキー・スケートで体育の単位が取れ、助かりました。スキーの授業がすごく楽しかったです。滑れるようになりました。3・4回生になっても連れて行ってもらいました。クラブは演劇部で裏方でしたが、みんなで作っているという感じで、学生生活はすごく楽しかったです。通学時間が長かったんですが、休むことなく、授業がなくても大学まで来て、なんやかやとやっていましたね。ちなみに娘も経大を卒業しました。

原田：



原田かおりさん

私は女子校出身だったので、大学は、共学だと思っていたのですが、来てみたら、ほぼ男子校だったんです。女子を見つけたら、クラブ・サークルの新入生勧誘が走って来んです。面白い学校だなと思

いました。確かにトイレは一カ所綺麗なところがあって、メイクを落として、やり直して帰るという、女子校チックな面もありました。あまり男子、女子は意識しませんでした。男子は意識していた感じがすかね。珍しい、女子がおった、という視線はよく感じました。4年間うちのマネージャーになってください、と言われ続けた子がいましたね。今のミス経大は本物だけど、当時は他校の子を連れてきてミスコンにということもありましたね。

吉仲：



吉仲美智子さん

1部には女性が多かったですが、2部は女子学生が経済学部2名、経営学部10名位でした。昼間に仕事を持つ人と、そうでない人がいました。男性の中には、1部を受験して受からなくて、2部にとという人もいました。2部の学生は1部の授業に出席することができ、卒業証書も1部、2部同じもので、分け隔てがありませんでした。土曜日の昼などは、1部、2部両方の学生がともに学んでいました。私は仕事と2足の草鞋だったので、交流は少なく、もう少し学校生活をエンジョイしたかったなあ、と思います。2部の会計関係のクラブに入りましたが、とても厳しくて、時間がなく宿題の課題がなかなかできなくて、途中で退部しました。授業では、2部はゼミを受ける学生が少なかったです。私はゼミを取りました。一人で会社法のゼミを開講してもらいました。

司会：2部の人はよく勉強しておられますね。会社の幹部には2部出身の方が案外多いですよ。

吉仲：ゼミでは、仕事に関わる課題の相談にも乗ってもらい助かりました。市民との対応などです。

司会：本学を卒業して良かったことは？

柴田：戦争の最中に、「戦争について、全てを真に受けけないで若干考えてみよう」という授業があったんですよ。その当時、戦争を批判するのはとんでもないことです。統制も厳しく、憲兵もいて、民間の施設も監視に来るんですよ。反戦的な気運があったら、すぐに特高警察に伝わって処罰されるんです。憲兵は授業を廊下で聞きながら、どんな授業をしてるか探っていました。その中で「考えてみよう」という授業をされた先生がおられたことが、私はとても印象に残っています。それまでの女学校での暗記型の歴史の授業とは違い、本物の歴史観というものを学ばなければいけないということに目覚めさせられました。これは大きな収穫でした。昭和20年8月15日をはさんで、ここにいたわけですから、戦前から戦後への転換の鮮やかさを経験しました。戦争から帰ってきた

昭和高商時代の男性が、各クラスに数名ずつ現れたんです。それは珍しかったですね。その中の男性と結婚した人もいました。先生と結婚した人もいました。初めて結婚への自由も認められる時代になりました。

市原：



市原幸恵さん

一杯ありますけど、入学当時、関西の私立大学の中で、大阪経済大学が一番、入学金・授業料が安かったと思います。周りに苦学生が沢山いて、親に負担を掛けまいとする真面目に人生を考えている学生が多かったですね。表面上は毎日麻雀をやっていたり、でたらめなことをやっているようだけど、勉強はちゃんとやっていました。税理士や公認会計士を目指すということが大学でやるべきことか、大学ではもっとアカデミックなことをすべしというご意見は、今も昔も当然あると思いますが、絵に描いた餅は食べられません。そこで、資格を取りたいと思って、がむしゃらに勉強したことが、今の私につながっています。そのクラブの顧問の先生が元学長の渡辺泉先生だったんです。渡辺先生には何でも相談ができました。渡辺先生が私を導いてくださいました。就職も先生の紹介の会計事務所でした。経大で良かったことは、現在の職業に結びつけてくれる人と知りあったこと、永久就職の相手を見つけたこと、同業の仲間も多いことです。今、本学で勉強している人たちには、大学での4年間、とても時間があるはずなので、どう使うかよく考え、そして目標をしっかりと定め、諦めないでほしい。頑張っていたきたいですね。

石元：学生生活がとても楽しかったです。青春時代を送った場所、大学はすごく楽しかったので、今の生活のどこかにも、その思い出があります。仲間とは、今もお付き合いがありますし、子ども達にも、そのような楽しい学生生活を送って欲しいと思います。

原田：友達がいて、定期的に集まっています。女性一人であっても普通に仕事ができるし、一人で決断しなければならないこともできるようになっています。学生の



時、最終的に中小企業論を選びましたが、最初に入った会社が中小企業で、何があっても平気、会社が民事再生になっても冷静に見ることができたのは、この大学のおかげかな、と思っています。

吉仲：授業料が安い。就職して自分の給料から授業料を出していました。職場からも近く、混雑を避けるための時差出勤の制度も活用しました。また、当時大阪市には、2部の成績優秀者に対して授業料補助の貸付金の制度があり、利用しました。大学を選ぶきっかけにもなりました。授業も充実していました。1部2部分け隔てなく、男女の区別もなく仲間として楽しく過ごしました。今の仕事にも会社法、商法などたいへん役立っています。

市原：全国女性税理士連盟という全国組織の女性税理士の団体があります。その団体の全国会長まで務められた大城戸武子先生（神戸）、松浦圭子先生（大阪）、清水幸子先生（京都）の3人は共に大阪経済大学の卒業生です。私はこの業界に入った当初、優秀な先輩達がいって、とても誇らしかったです。

司会：最後に、後輩や大学への言葉をお願いします。

柴田：女性も納得できるような仕事を続けて欲しいと思います。挫折しそうなこともあると思いますが、経大で学んだことが生かされる、ということが必ずありますから、誇りを持ちながら働き続けて欲しいと思います。女性、男性っていうのは過去のものになって欲しいと思っています。

市原：私は本学で2002年から3年間、非常勤講師としてゼミを指導させていただいたことがあります。とても、チームワークの良いゼミで、あの子達はゼミで生涯の友を見つけてくれたのではないかと思います。本当に楽しかったと思えるような4年間を過ごして欲しいし、生涯の友を見つけて欲しいですね。

石元：私も友達は大事だと思います。学生時代の友達と、その後にできる友達とは、全然違う、と思います。勉強にしても、遊びにしても、学生時代を思いきり楽しむ、何か見つけて一生懸命打ち込むことです。何となくではなく、今しかできないことを。

司会：大学に対してはどうですか？

石元：阪急梅田の広告のように、大学名が目につくことも大事だと思います。日本経済新聞に載っている大学の記事について、すごくいいと言っている友達がいます。学生への支援についても、記事は親の目にも触れることになりますのでいいと思います。

原田：交通機関内での情報やインターネットでの情報も大事ですね。「はてにゃん」は可愛らしくていいですね。

市原：大学のシンポジウムでも、経大の名前がなかったら、がっかりしますね。

司会：



卒業した母校に誇りを持つためには、大学や学生の努力、同窓生の責任が大きいです。皆様、本日は、長時間、ありがとうございました。

藤本二郎新理事長に聞く

知名度アップに全力投球

小林 この度は理事長ご就任、おめでとうございます。早速ですがご抱負をお聞かせください。

藤本 突然の理事長拝命でしたが、私の任期中に少なくともお引き受けした時以上に良い大学になっている——それで私の役割は果たせるのかなと思っています。いい学生をつくる、いい大学にするということを目指し、理事長としてやるべきことをきちんとやっていきたいと思っています。

小林 具体的にはどういうことをお考えになっていますか？

藤本 いい大学というのは、高校から本学へ学生を送り込んだ先生、学資を出していただいたご家族から「いい大学へ入ったね」といわれるようになればと思っています。

小林 そのための課題はありますか？

藤本 まずこの大学の知名度をもう少し上げたいと思っています。本学には85年の歴史があり、大阪の人はそれなりに承知していただいていると思いますが、私は本学を卒業して東京の企業へ就職してずっと東京生活なのですが、やはり東京では大阪経済大学の名前は聞こえてこないのです。もう少し本学の名前が知れ渡る。あるいは就職先の企業のトップの方にも「ああ大阪経済大学か」という認識を持っていたできるように努力したいと考えています。そのためには、まず学校は教育の場ですから、やはり先生方にはとにかく不斷の努力をしていただいて、いい授業内容を展開していただく。そして学生にも満足し

てもらえることです。また、先生方には本学の知名度を上げるために、例えばテレビ、ラジオに出演していただく、あるいは講演会に呼ばれるとか、新聞に記事が掲載されるとかということで本学の知名度アップにつながると思います。

二つ目は、先日、スポーツクラブの監督さんやコーチの方々に集まっていただき、私の考えを述べさせていただきました。スポーツを通じて知名度を上げていく、強くなって優勝する、それももちろん大事なことなのですが、それだけではなくてやはりスポーツを通じて学生の心と体を鍛えていただき、大阪経済大学の〇〇部にいたという——〇〇部にいたのなら体も頑丈だし、きちんと育てられていて礼儀正しいし、前向きだし、そういう学生なら無条件で当社へ来ていただきたい——という学生を育てて欲しいという話をしました。

その結果として各部が全国大会へ出場したり、優勝したりするということがあれば本学のPRに繋がるのではないかと考えています。

小林 本学のOBからは、もっと広報宣伝に力を入れてほしいという要望があります。

藤本 ここは大学ですから当然学生中心の広告とか広報になるかと思いますが、それだけではなく大学のイメージアップにつながるような広報活動をしたいと思っています。就職先である企業の方々からみても大阪経済大学はいい大学だなと思っていただけるような広告、例えば政財界のトップが乗車する新幹線グリーン車で配布されているJRの車内誌だとか、企業のトップが読むような雑誌、新聞でPRするようなことも考えたいと思っています。

私自身も理事長を拝命して、本学の学生を採用していただいている企業の社長さん、銀行の頭取に、すでに30社以上お伺いして、「引き続きよろしくお願

略歴 昭和20年(1945年)4月28日、三重県伊賀市生まれ、72歳。昭和39年3月三重県立上野高等学校卒業。昭和43年3月本学経済学部卒業。防災機器メーカーのホーチキ株式会社(東証1部上場)入社。平成3年同社取締役、平成15年社長、平成21年から会長を4年間務める。平成29年7月本学理事長就任。

いいいたします」とご挨拶に伺っております。それとあわせて、関西だけではなく東京も含めて政財界の会合には顔を出して一人でも多く私の名刺をお渡しして、政財界の方に大阪経済大学の名前を知っていただき、本学のPRができればと思っています。

小林 今年度は2万人を超える過去最高の受験生がありましたが、ただ内容を見るとほとんどが大阪をはじめ近畿圏に集中しています。この対策はどうお考えですか？

藤本 企業だけではなくて本学へ沢山の学生を送りこんでいただいている高校へも私自身が回らせていただこうと思っています。ただ、私ひとりで動くのは限りがありますのでお力をお借りできる方々、例えばその一つが大樟会の支部長さんに地元の高校へ入試案内などを持って訪問してい



ただけたらと思っています。入試の細かいことについては各支部長さんにご迷惑をおかけする訳にはいきませんから、要請があれば入試部の担当者を同行させたいと考えていますが、取りあえずは支部長さんへ簡単な本学のパンフレットを持って地元の高校を訪問していただければ大変助かります。これも単年度ではなくて継続することが大事で、私はあわせて大学のPRになるともっています。ただ、本学の受験生を多くするという目的はもちろんですが、本学の内容を進路指導の先生方へ知っていただくことが知名度を上げることに繋がるとしています。

小林 大学の改革についてはいかがですか？

藤本 現在、定員増、学部増設は厳しい状況にあり、この3年～4年は難しい経営が続くのではないかとっています。一方、今後、高校卒業生が減る傾向にある中で何かやらなければならないと思っています。学部増設ではなくて、今後増えるであろうお年寄りを対象とした講座、例えばお金の有効な使い道を教えるような講座を設けるだとかいろんなやり方がある

と思います。

それから、これから発展するベトナム、ミャンマーといった東南アジアの大学と提携していくとか更なる国際化、他大学に負けないためにはこれは是非やっていかなければならないと思っています。その中で急がなければならないと思っているのは、大学の事務局長室ですが、ここをもう少し充実させ、企画機能を持たせて、これから進む少子化の中でこの大学

の10年後を見据えていく必要があります。必要があればコンサルタントを入れて、専門的な知識を借りながら大学の今後のあり方、何をどういう風にすればいいのかということまで検討させたいと思っています。幸い本学は財政的にも健全ですので、たとえ失敗していろいろなチャレンジする気概を持たせたいと思っています。

小林 理事長はこれまで大樟会東京支部長も務めていただきましたので、実情はご理解いただいていると思いますが、今後の大樟会に望むことは？

藤本 私も大樟会の会員の一人であります。これだけの歴史があり、同窓生も10万人近くいて、その中には社会的地位の高い人や、各界で活躍されていた経験をお持ちの方もたくさんいらっしゃいます。そういう方々にこれからの少子化で困難な経営の時代、いろいろなアイデアや力をお貸しいただければ大変ありがたいと思っています。

大樟会からは多額のご寄付をいただいているし、奨学金制度も立ち上げていただいています。今後、企業やOB個人としてもご寄付を拡大していただければありがたいですね。母校愛を感じていただいて、OBの方々の力をお貸しいただければと思っています。

小林 貴重なお時間をありがとうございました。

(聞き手＝広報部長・小林真人)

2017.10.25 理事長室で

2017ホームカミングデー・大樟会総会、賑やかに挙行

少子化時代、今後一層の

快晴の秋空が広がる平成29年11月4日(土)、大樟祭で賑わう母校・D館21教室でホームカミングデー・大樟会総会が開催された。全国の同窓生ら341名が参加し、総会に続いて小谷融副学長による記念講演が行われた後、学生会館でホームカミングデー懇親会が開かれた。

新理事長を迎え、90周年、100周年に向け邁進！

午前11時、小林真人副会長(32回)の司会で総会がスタート。物故者への黙祷、本学グリークラブ18名と参加者による学歌斉唱に続き、藤本二郎理事長、徳永光俊学長、田村正晴大樟会会長が式辞を述べた。

今年7月に就任した藤本理事長は「本学を今以上に良くするため、①本学の知名度を上げる。②本学のファンをつくる。③本学の構造改革を進める」と抱負を語った。就任後、すでに企業約30社を訪問した理事長だが、遠隔地域の各支部長に対して地元の高校訪問への協力を要請した。

徳永学長は、本学のクラブ・サークル活動の成果を伝え、「準硬式野球部の試合で。現役学生と同窓生が参加し『オール大経大』で応援」したことはすばらしいと語り、今後も、現役学生・同窓生を含めての「つながる力No.1」、「経済経営系私立大学におけるNo.1」をめざすとさらなる意欲を示した。



当日は、大樟祭も開催



司会(小林真人副会長)

続いて田村正晴会長が「奨学金の同窓会枠を新設し、今年度から実施した。地方から多様な学生が集う大学であり続けるための『遠隔地学生奨学金』と、家庭の事情などにより学業継続が難しい学生への『緊急修学援助奨学金』という2つの奨学金制度だ。金額の多少に関わらず長期的な寄付をお願いしたい」と協力を仰いだ。

次いで、このたび本学理事長を退任された佐藤武司氏をはじめ、永年にわたって大樟会役員等を務め、このほど退任された6氏(別掲)に感謝状と記念品が贈られ、前奈良支部長の西本集一氏が代表して謝辞を述べられた。また、急逝された前愛媛支部長・眞鍋一美氏の代理で、奥様が感謝状を受領された。

最後に、出席の来賓が紹介され、セレモニーはつつがなく終了。引き続き、小谷副学長による講演会(別掲)が開かれた。

感謝状贈呈



感謝状を受ける
故・眞鍋一美様奥様

感謝状を贈呈された方

本学前理事長	佐藤 武司様	(30回)
前奈良支部長	西本 集一様	(23回)
前愛媛支部長	故眞鍋 一美様	(32回)
前熊本支部長	濱 忍様	(35回)
前 監 事	大西 健介様	(35回)
前 監 事	秋山 治信様	(37回)



謝辞
(西本集一前奈良支部長)



会場風景



学歌斉唱(グリークラブ)

バックアップを母校へ！



式辞(藤本二郎理事長)



式辞(徳永光俊学長)



式辞(田村正晴会長)

談笑が会場に響いた ホームカミングデー懇親会

学生会館2階に場所を移し、12時45分からホームカミングデー懇親会が開かれた。

司会の本学総務部・筒美由紀さんが高らかに開会を宣言、初めに藤本理事長が「少子化時代を迎え、大学経営は難しくなっているが、バイタリティとセンシビリティに満ちあふれる学生の育成に集中し、大学改革を進めていく」と挨拶。その後、藤本理事長、徳永学長、田村会長の3名が登壇し、景気のよい「ヨイショ」のかけ声と共に鏡開きが行われた。

続いて、徳永学長が「本学の知名度アップにつながれば」と思い、先日NHKの『やまと偉人伝』に出演したが、収録は1時間で放送はたった30秒だった(笑)」と会場を沸かせ、

「乾杯！」の発声を行った。

軽音楽部OBらの「上新庄オールスターズ」のジャズ演奏が流れる中、豪華な料理を味わいつつ、しばし歓談の時間が流れた。終盤には抽選会が開かれ、プレゼンターの山下一佳総務部長が当選番号を読み上げると、1等には西村幸雄氏(43回)が当選。賞品はカタログギフトで、1等(3万円相当)、2等(1万円相当)、3等(5000円相当)と特別賞・賀茂泉酒造の日本酒で、あわせて16名が当選した。

最後に、福田敏裕元応援団副団長(37回)がエールを切り学歌・逍遙歌を全員で歌い、山本隆造大樟体育会会長(37回)の音頭で万歳三唱。最後に、崎田洋一本学常務理事が「新理事長と学長のもとで力強く大学運営を進めていきたい」と締めくくった。参加者は、互いに来年の再会を誓い合い、懇親会は閉幕した。



司会(本学総務部・筒美由紀さん)



挨拶(藤本理事長)



乾杯(徳永学長)



上新庄オールスターズの生演奏



学歌・逍遙歌
(福田敏裕元応援団副団長)



一等が当たった西村幸雄さん。
右は山下一佳総務部長

鏡開き
(左から田村会長、藤本理事長、
徳永学長)



万歳三唱
(山本隆造大樟体育会会長)



閉会のことば
(崎田洋一本学常務理事)



テーマ「証券不祥事と法規制」

講師／小谷 融 先生 大阪経済大学副学長・教授

総会終了後、小谷融本学副学長による記念講演会が行われた。同氏は1975年に本学経営学部を卒業し、大阪国税局、大蔵省理財局・証券局、証券取引等監視委員会等を経て現職。本学理事・副学長・情報社会学部教授（財務会計論・ディスクロージャー制度論ほか）、博士（経済学）。

バブル時代とNTT株式の売出し

1980年代後半からのバブル崩壊の過程において、数多くの証券スキャンダルが起きました。その不祥事が、人々の証券投資にどのような影響を与えたのかをみていきます。

バブルと聞いて、まず私が思い出すのは、当時ブームとなったディスコ「ジュリアナ東京」、そして、東京証券取引所の「場立ち」です。現在は取り引きがコンピュータ化されてみられませんが、当時は、手のサインを使って投資家の売買注文をさばいていた人たち（「場立ち」）が、場内に立ちつくしていた風景が印象的でした。

1986年11月のNTT株売出しは、個人投資家の裾野を拡大させました。上場後の初値は、売り出し価格の約1.3倍。上場後の最高値は初値の約2倍、バブル末期の個人株主数は160万人を超えましたが、90年代初頭に株価は初値の約3分の1になりました。なお、日経平均株価は1989年末に、史上最高値3万8915円87銭となっています。

リクルート事件が投資家に与えたもの

リクルート社が政財界の要人に、子会社リクルートコスモスの未公開株を譲渡し、贈賄の罪に問われた「リクルート事件」。初めの譲渡は1株1200円程度で、上場後の初値は約5270円。政治家らに多額の収益をもたらしました。この事件を機に、政治資金規制法や政党助成法、小選挙区比例代表並立制が成立します。では、事件により証券制度はどのように変わったのでしょうか。

最近の新規公開株（IPO）銘柄の公募価格と初値を見ても、概ね公募額が低めに設定され、購入できれば利益が得られ

る傾向です。リクルート事件の頃は、その利益がさらに大きかった。また、株式の配分方法にも規制がなかったので、発行者が証券会社に対して譲渡先を指定したり、証券会社が資産家や手数料の多い顧客を優先して割り当てたりしていたのです。

事件の後、一般投資家に不公平感を与えないよう、IPOの応募は抽選となり、特定の人々への集中的配布が禁止されました。リクルート事件が一般投資家にもたらしたメリットと言えるでしょう。

小糸製作所対ピケンズ事件の顛末と影響

次に、バブル期の企業買収について。1986年、日本土地グループがトヨタグループの豊田自動織機の株式を買い集め、トヨタ自動車などが時価を大幅に上回る価格で買い戻しました。これを見た麻布自動車が、トヨタ系の小糸製作所の株式を買い集めますが、トヨタ自動車は買い取りを断ります。そこで麻布自動車は、ブーン・コーポレーションのピケンズ氏に株式を譲渡したのです。小糸製作所とピケンズ氏の対立は続き、やがて日米の経済摩擦にまで発展しました。この「小糸製作所対ピケンズ事件」により、証券市場の規制として、大量保有報告書制度の導入、公開買付制度の改正が行われました。つまり、一定の基準を超えた場合は、いつ・誰が・どんな目的で・どれだけ株式を買い占めているか分かるよう、投資家に公開する仕組みができました。株を買い集められた会社は、防衛策を考えられるようになったのです。

ライブドア、村上ファンドと法規制

ライブドア・堀江貴文さんと、村上ファンド・村上世彰さんについては、記憶に新しいところです。「ライブドア対ニッポン放送事件」や「村上ファンドによる阪神電鉄株の買い集め」によって、公開買付制度の適用範囲が拡大します。例えば、市場外で5%を超える株式を買い集める場合に適用されるようになりました。

最後に、同窓会支部の集まりに呼んでいただければ、具体的な事例を交えて楽しく分かりやすく講演しますので、機会がありましたらぜひお声掛けください。



各支部・同期会の皆さん (懇親会会場にて)

順不同



30期生の皆さん



北河内支部の皆さん



税理士大樟会の皆さん



社労士大樟会の皆さん



37期生の皆さん



35期生の皆さん



但馬支部の皆さん



女性部会の皆さん



東播磨支部の皆さん



経雪会の皆さん



応援団OB会の皆さん



52期生の皆さん



CBS文化放送局OB会の皆さん



47期生の皆さん

別会場にて



北播磨支部の皆さん



32期生の皆さん



大阪市4支部の皆さん

懇親会後別会場にて



とりあえず34期会の皆さん



簿記会計研究部OB会の皆さん



29期生の皆さん(「ひでよし」にて)

各支部の
ふるさと自慢

わがまち イチオシ



全国各地で、地域のあり方を見つめ直そうという機運がますます高まってきたように思われます。そこで、全国各支部に依頼し、「これぞ、わがまちのイチオシ」というものや「ふるさとで自慢できるもの」などを自由にお書きいただきました。

北海道に日本初の「甜菜工場」!! 北海道支部 ～砂糖のお話 北海道生まれのてん菜糖～



甜菜(てんさい)

北海道の農業における基幹作物、甜菜(てんさい)はビートと呼ばれている寒冷地植物。この度、先輩の勧めもあって、いつも目にするビート(砂糖大根)に興味を持ちました。早速、帯広市にある甜菜糖業の歴史を語るビートの殿堂、ビート資料館へ。館長の丁寧な説明や映像で少しですが知識が豊かになりました。

特に、印象に残ったことを列記してみます。▽北海道に日本初の「甜菜糖工場」誕生。

明治4年(1871年) 148年前。▽てん菜は北海道が生産地。砂糖の原料「てん菜」を作っているのは、日本では北海道だけ、国内砂糖生産量の約8割は、てん菜糖から作られる。▽豆知識 てん菜…根の部分は約1kgに成長する。てん菜6kgで約1kgの砂糖をつくることできる。さとうきび…日本では鹿児島県の南西諸島や沖縄県で栽培されている。茎は2～3mもあり、竹に似ている。さとうきび8kgで約1kgの砂糖を作ることできる。

以上、百聞は一見に如かず、是非、北海道の十勝、東洋一の工場、研究所、資料館へおいでください。 支部長 池田正勝(34回)

昆陽寺

伊丹支部



昆陽寺は僧行基創立の畿内四十九院の一つとして天平3年(731)に創立された昆陽施院の系譜をひく寺です。昆陽施院は行基が昆陽池を造った頃、傍らに小さな「こや」(小屋)を建て、旅で困った人や病人達のために役立てました。

その後、昆陽施院は天正7年(1579)荒木村重と織田信長の合戦で、信長の兵火にかかって堂塔は焼失し、それ以前の建物は何一つ残っていない。現在の建物は江戸時代に建て直されました。

兵庫県の指定有形文化財として、山門・観音堂・もと山門にあった二天像(広目天・多聞天立像)がその指定を受けています。

代表幹事 瀧内和之(35回)

西宮ストークス

阪神支部



プロバスケットチーム・西宮ストークスがイチオシです。一昨年プロバスケットがBリーグにまとまり、昨年B-2で優勝、入れ替え戦で勝利してB-1に昇格しました。バスケットファン以外の方からの応援も盛り上がり、ホームの試合ではチケットは完売の状態です。今期は昨年9月からスタートし、6戦目で初勝利しました。今後の活躍を期待して、将来阪神タイガースみたいに人気が上がれば、と夢は膨らんでいます。皆様の応援をよろしく願いいたします。 副支部長 秋山治信(37回)

人気の淡路島玉葱

淡路島支部



淡路島と言えば、「玉葱」といわれるほど全国的に有名で、ブランド品になっています。

他の産地の玉葱とどこが違うのかご紹介します。まず、歯ごたえが違います。それは、圧倒的な柔

らかさです。特殊な機材を用いた測定で、最大2倍の違いのあることがわかったようです。次に味が違います。甘みが多く、辛みが少ない、この差が淡路島玉葱の美味しさの特徴です。甘い玉葱を使った料理はもちろん、スープをはじめドレッシング、袋入りのレトルトカレーが人気です。

その美味しさのワケとは? 排水のよい土壌、日照時間が長い、初夏に雨が少なく。それに、通常4か月程度で収穫するところを淡路島では約半年かけて栽培しますが、長く根をおろすことで大地の恵みを蓄え、美味しい玉葱ができるのです。

支部長 赤松慶久(37回)

稲むらの火の館

和歌山支部



皆さんは、「稲むらの火」という話をご存知ですか。浜口梧陵(後の初代和歌山県議会議長)が、安政の南海地震(1854年)による大津波の際、田んぼの稲むらに火を放って、暗闇の中で逃げ遅れていた村人を、高台の広八幡神社に誘導し、多くの命を救った。という話です。

東南海大地震がここ何年以内に必ず起こる。その備えをどうするか?との議論が行われている今、先人の知恵を検証するのはいかがでしょうか。和歌山県広川町に「稲むらの火の館」(津波防災教育センター)があります。展示品や25分の映画、また浜口梧陵記念館などがあり結構楽しめます。ぜひ一度訪ねてみてください。

事務局長 西 芳男(36回)

大和ミュージアム

広島支部



戦艦「大和」を建造した東洋一の軍港、日本一の海軍工廠の町として栄えた呉。戦後は、戦前から培われてきた技術が新しい技術と結びついて、世界最大のタンカーを数多く建造するなど、日本が戦後約10年程で世界一の造船国へ発展する一翼を担いました。

呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」は「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした各種の「科学技術」を先人の努力や当時の生活、文化に触れながら紹介しています。中でも巨大戦艦「大和」の10分の1のサイズの展示は圧巻です。他に62型零式艦上戦闘機、人間魚雷「回天」等、真実を目の当たりにして、誰もが感動するスペースになっています。

広島に来られたら、呉まで足を延ばして、歴史にぜひ触れていただきたいと思います。

支部長 陰山秀明(44回)

人気上昇中「金太郎」

山口支部



ヨーロッパでは高級魚とされるヒメジの地方名です。

萩市沖の日本海で小型底引き網にかかる雑魚で、漁師や近辺の家庭で食べられる大衆魚です。まとまった

漁獲がないため、都市部での流通はほとんどありません。鮮やかな朱色が美しい白身には濃厚な甘みがあり、ほっこりした味わいがあります。

萩市では行政、漁業者などが「萩の地魚もったいないプロジェクト」を立ち上げ、料理や加工品の開発に取り組んできました。今では萩市内の飲食店では刺身、塩焼き、てんぷら、にぎり寿司、カルパッチョなど多様な料理が味わえるようになりました。また有名シェフの協力によりフレンチ・イタリアン料理の食材に最適なオイル漬けも開発されました。

支部長 藤原俊明(37回)

国の伝統的工芸品 日本一の丸亀うちわ

香川支部



わがまち丸亀の名物としてまず挙げられるのが讃岐うどん。次に、最近、俄然人気の出きた骨付き鳥があります。そして、案外知られていないのが丸亀うちわなのです。

丸亀うちわは江戸時代にこびり参りの土産物として始まり、当時の丸亀京極藩が武士の内職として推奨したため丸亀の代表的な地場産業に発展、平成9年5月に国の伝統的工芸品に指定されました。丸亀市は現在、全国シェアの90%を誇る日本一の「うちわどころ」となっています。

うちわの港ミュージアムは、丸亀うちわの歴史を伝え、貴重な文献や道具などを展示するうちわの総合博物館です。このミュージアムはJR丸亀駅すぐ近くの私の会社から至近距離にありますので、是非お立ち寄りください。近隣にあるイチ押しの美味しいうどん店、元祖骨付き鳥店も喜んでご案内させていただきます。

支部長 鈴木澄夫(36回)

田原坂

熊本支部



今年は明治150年、「西南の役」から140年。日本最後の内戦「西南の役」の激戦地「田原坂」は、熊本市の北部に位置しています。当時の田原坂は熊本と福岡を結ぶ幹線道路にあり、坂道が続く

戦略的に重要な地域でした。戦いは明治10年3月4日から17昼夜にわたり繰り広げられ、両軍合わせて1日に30万発の銃弾が飛び交ったといわれています。「かちあい弾」(空中で衝突した弾)が数多く発掘されていることから戦闘の激しさがうかがい知れます。激戦をくぐりぬけた民家が「弾痕の家」として残され(現在は復元)、当時を偲ぶことができます。

現在、田原坂公園は桜やつつじの名所として、小学生などの遠足やイベント会場などで親しまれ、また歴史に興味ある人が全国から訪れています。

新幹線熊本駅と新玉名駅の間地点で(在来線もある)、アクセスが良く関西圏から日帰り可能で、いつ訪れても歴史、自然と触れ合うことができる名跡のひとつです。

支部長 坂本純夫(39回)

知覧基地跡

南九州支部



今日の日本の繁栄を思うとき、先の大戦に散華された英霊の、国の為に祖国よ栄えあれとの思いで、この地この山河穢されてなるものかの意気で、特別攻撃隊陸軍航空

隊知覧基地を紹介します。

紀元式阡年(1945)の真珠湾から捨身の攻撃体制でしたが、戦局不利になり、機体共に突っ込む戦法に、国民は何と感じたのでしょうか。私は、甌島沖での零式戦闘機を引き揚げた道具を、東レと半分負担で、寄附する機会を得ました。知覧に展示されている機体です。戦後72年前、台湾嘉義航空隊の中で生を受けた老生が、鹿児島に数々ある特攻基地から、これからの若い人達に伝えるために事実を知ってもらう知覧基地の跡を紹介します。

支部長 前園博隆(34回)

クラブ活動紹介

●体育会

アメリカンフットボール部

我が部は1968年に産声を上げ、今年で50年の節目を迎えました。現在、部員は約70名で9割強の部員がアメフト未経験者です。アメフトというスポーツは、事前の情報収集、戦略構築で勝負の大半が決まると言われています。そのため、約20名のマネージャーが毎日夜遅くまで対戦校を分析し、情報をコーチ陣に提供したり、肉弾戦でぶつかり合う選手のトレーニングメニュー作成や食事面での指導を行ったりと、文字通りチーム一丸となって戦っています。

我が部の部是は『フェアプレーを貫け』です。これはアメフトだけでなく、日々の大学生活においても何事にもフェアであれということを目指しています。学生主体のチームですが、自ら考えて課題を見つけ、



その課題に挑戦し続け、壁にぶつかり倒れてもまた起き上がり、そしていつの日か『甲子園ボウル』を目指す一部リーグで強豪校と対戦することを目標に日々頑張っています。

サッカー部

私たちサッカー部は平日12時半から14時、休日は13時から15時に日々練習に取り組んでいます。部員が113人というたくさんの人数のため、関西学生リーグの他にもIリーグに2チーム、北摂リーグにも所属しています。

新人戦では格上の強豪校を倒し、今年から始まる全国大会にも出場を決めることができました。関西学生リーグでは、昨年24年ぶりにリーグ昇格を果たし、今年は1部の舞台で試合をさせていただきました。しかし、前期の試合はなかなか得点を奪うことができず、後期で



少し追いついたものの、1年で2部に降格してしまいました。来年は今まで以上に日々の練習に励み、2部のリーグ優勝、そしてまた1部の舞台で戦うことを目指し、頑張っていこうと思います。

日本拳法部

日本拳法部は男子15名、女子6名の計21名で週に5日体育館1階で活動しております。日本拳法とは面や胴、グローブを装着して行う総合格闘技のようなものです。主に試合で用いる技としては、ボクシングで用いるパンチ以外にも柔道の投げ技や空手の蹴り技も含まれているため、柔道経験者や空手経験者は特に有利なスポーツです。

また、今年で創部60周年を迎え、過去には全日本大会で3度の優勝を果たしております。近年の大会成績としては、男子は全国大学選抜選手権大会においてベスト8入賞、女子は西日本大会でベスト8入賞の成績を収めています。現在目標として掲げているのは、男女共に全日本大会でベスト4に入賞することです。今後も大会でより良



い結果を残し、日本拳法部の活躍を少しでも多くの方々に知ってもらえるよう部員一同日々の練習に精進し頑張ります。

●芸術会

映画研究部

私たち映画研究部の主な活動は映画を【撮る】ことです。自分たちで脚本から撮影、出演、編集など一から映画を作り、「アクション」「コメディ」「ミステリー」と実際に様々なジャンルの映画を制作しています。そして、その制作した映画を年5回の上映会で上映することで一般の学生などに見てもらっています。

映画研究部は今年で69年目と長い歴史を持っており、近年では部員数が50名を超え、大学内でも比較的規模の大きい部活になりました。映画のクオリティも他大学に負けないものを持っており、毎年春と夏に行われる関西シネックという外部の映画の祭典では毎回1位、2位を獲得しています。そうした先輩達が残していった過去の成績



に負けないように我々部員一同結果を残し続けることを目標としております。また、映画の魅力というものを次の後輩、そしてまたその次の後輩へと受け継いでいきたいと考えています。

ギタークラブ

私たちギタークラブは、クラシックギターとコントラバスを使用しています。主な活動として半年に一度(5月、11月)開かれる演奏会があり、それを目標に部員一同練習に励んでいます。

演奏するジャンルは名前の通りクラシックだけではなく、邦ロックやジャズ・古典～現代曲など幅広く取り扱っています。演奏形態ですが独奏から複数人で演奏する多重奏、部員全員で演奏する大合奏まで様々です。クラシックギターは有名なアコースティックギターで、エレキギターとは違いアンプを使用せず、ギターそのもののだけで音楽を表現しなければなりません。たった六本の弦のみの楽器ですが、自身の曲に対する想いやイメージなどを込めることができれば、表



現の幅は無限大です。私自身、大学から音楽を始めたのですが、自分の気持ちがこの楽器に今では魅了されています。今後とも、ギタークラブの発展に精進してまいります。

落語研究部

1966年に創部された落語研究部は、年4回程度、学内で行われる定期公演を中心に活動してきました。最近では老人ホームでのボランティア公演、外部の大会、学内イベントへの参加などさらに活動の幅を広げています。

落語研究部は、少人数のクラブなので先輩後輩の距離が近く、大変仲がいいです。仲がいいので遊ぶときはほとんど遊びますが、ネタに関してはみな真剣に取り組めます。人前で自分の考えたネタを披露するというのはとても緊張しますが、その分自身の話す力や意見を伝える力が育ちます。そして、その力はいずれ社会に出たとき必ず役に立つと信じています。卒部された先輩方に落語研究部頑張っ



ているな、と思っていただけるよう、今後たくさんのことに挑戦し続けていきたいと思っています。

●独立総部

CBS 文化放送局

CBS文化放送局は、放送に関わる様々な活動を行っているクラブです。ラジオ番組、映像作品、音声作品といった作品の制作、学校行事や部活動の発表会での司会の担当が主な活動であり、局員一同、日々頑張っています。

2017年度は、これまでも行ってきた、学内でのラジオ放送やみのおFMで放送している「気ままにアサンプラージュ」のラジオ番組制作、年2回の番組発表会のような従来の活動以外に、新たな挑戦もありました。新入生入学時に合わせた、CBSのアピール映像の制作や他クラブを迎えたラジオ番組の実施、NHK全国大学放送コンテストへの出品、新たな依頼先による司会依頼の増加など。CBS文化放送



局は、今後も様々な企画でクラブ、大学を盛り上げていきたいと思っています。

●学術会

将棋部

将棋部は現在、年2回の一軍戦と、同じく年2回の二軍戦の計4回の公式戦へ向けて週2回、火曜日と水曜日に活動しております。最近の活動成果としては、昨季の二軍戦でB級に昇級し、今季の秋季二軍戦では一軍戦A級に所属する京都大学に勝つなど金星を挙げ、B級残留を果たしました。一軍戦では、最下級であるC級に甘んじてはいるものの、毎回あと一步の成績を残しており、皆、昇級へ向けて精進しております。

大会以外では、大樟祭の際に机出しなどを行っています。2017年度の大樟祭では、女流棋士をお迎えし、たくさんの方に楽しんでもらうことができました。来年度も上記の活動を引き続き行っていきたいと思っているので、活動を知っていただき、見守っていただければ幸いです。



全クラブ一覧 (2017年11月現在)

●体育会

合気道部
アイススケート部
(スピード・フィギュア)
アメリカンフットボール部
空手道部
弓道部(男子・女子)
競技スキー部
剣道部
硬式庭球部
硬式野球部
ゴルフ部
サッカー部
自転車部
(レース・サイクルサッカー)
自動車部
柔道部
重量挙げ部

準硬式野球部
少林寺拳法部
水泳部
ソフトテニス部
ソフトボール部
卓球部
チアリーダー部
日本拳法部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
ハンドボール部
ボクシング部
洋弓部
ヨット部
ラクロス部(男子・女子)
ラグビー部
陸上競技部

●芸術会

映画研究部
演劇研究部
ギタークラブ
グリークラブ
軽音楽部
茶道部
写真部
邦楽部
マンドリンクラブ
落語研究部

●学術会

E.S.S部
将棋部
証券研究部
パソコン部
文芸部

簿記会計研究部
ボランティアクラブ
ユースホステルクラブ

●独立総部

アルバム委員会
CBS文化放送局
吹奏楽総部
ワンダーフォーゲル部

●総部会(Ⅱ部)

会計学研究部
Ⅱ部軽音楽部
Ⅱ部バスケットボール部
フットサル部

念願の大樟会の奨学金制度、実施

同窓会設立80周年記念事業の一つとして、一昨年の大樟会理事会で承認された大学の奨学金制度の支援が、平成29年度から実施に移されました。初年度は同窓会緊急修学援助奨学金が15名（男子7名、女子8名）、同窓会遠隔地学生奨学金が10名（男子5名、女子5名）の計25名の学生に給付されました。そのうち4名の学生からのお礼のこぼしを紹介します。

★大樟会の奨学金制度を末永く続けるため、同窓生からのご寄付をお願いします。（同封の振込票をご覧ください）



●遠隔地学生奨学金

この度は、遠隔地学生奨学金に採用していただきありがとうございます。私には、高校の教師になり、野球部の監督として甲子園に出場するという夢があります。この夢を叶えるために、大阪経済大学での四年間で教員免許を必ず取得し、教員採用試験も突破できるようにしっかりと勉学に励みたいと思います。そして部活動も両立させ、充実した大学生活にできるように、奨学金を十分に活かしていきます。

（経済学部 1年 男 岡山県出身）

■緊急修学援助奨学金

このたびは、採用のお知らせをいただき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。いただいた奨学金は学費に使わせていただきました。大学では簿記会計研究部に所属し、財務会計について勉強しています。現在は討論会に向けて、他校の論文の質問を頑張って考えています。部活動で身につけた知識を生かして、将来は公認会計士を目指して日々精進していきたいです。

（経済学部 1年 女）

●遠隔地学生奨学金

この度は奨学生に採用いただき、誠にありがとうございます。現在、これまで支えてくださった方々に恩返しをするべく、文武両道に励んでいます。奨学金は部活動の遠征費用や学費に使わせていただいております。私の将来の夢は、人を支え地域や町に貢献することです。三年後、大阪経済大学の学生として胸を張って卒業し、培ったものを沢山の方々に恩返しできるように邁進していきます。

（経済学部 1年 女 宮城県出身）

■緊急修学援助奨学金

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、緊急修学援助奨学金に採用していただきまして、誠にありがとうございます。私の家は姉弟が多く、母子家庭という環境で経済的にも厳しい状況にありました。そんな中ご支援いただけたことで、勉学に打ち込む環境を得ることができました。心より厚くお礼を申し上げますとともに、これからも日々精進してまいります。敬具

（経営学部第2部 1年 女）

2017年度パソコン教室を終えて

「切磋琢磨」人との縁を大切に



2017年度 パソコン教室運営代表
森 悠人

パソコン教室は学生が運営し、同窓会員並びに後援会員の皆様にパソコンの知識を提供する場であり、現在の大阪経済大学の現状を知っていただく場でもあります。その中で少しでも皆様にパソコンの魅力を伝え、今の大経大の姿をお見せすることができたのであれば幸いです。

2017年度のパソコン教室では「切磋琢磨」というテーマにさせていただきました。今回、運営3人やスタッフの人と関わる中で、人との縁は非常に大事だと感じました。そもそも私がパソコン教室にスタッフとして参加するきっかけは友人に誘われたことです。2年前に、大学の掲示板でパソコン教室のスタッフ募集のポスターをたまたま見つけたことを今でも覚えています。そのような小さなきっかけで今、代表を経験させていただけたということで、縁というものは自分自身の成長のためにも非常に大切なものなのだと、身にしみてわかりました。切磋琢磨といった、お互いを高め合うような関係を作るといことは、生きていくうえで非常に重要なものなのだと今回の経験から知ることができました。

今回ついてきてくれたスタッフはもちろん、同窓会事務局や教務課、総務課、学生課、管財課、情報処理センター、その他皆様の協力があったからこそ無事にパソコン教室を終えることができました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

本番では至らない部分もありましたが、受講者の皆様が暖かく見守ってくださったので、私たち学生スタッフも楽しく講義を行えました。

今回の教室で私自身大きく成長できたと感じております。自分の得意なことや苦手なこと、その他様々な人と関わっていく上での必要な知識というものが、代表をする以前と比べると非常に得られたものが多かったです。今回した経験を今後のためにしっかりと意識し残していきたいと思っています。

来年度以降もより良いパソコン教室の開催ができるように、スタッフ一同頑張ります。ぜひ来年もご参加いただけるとありがたいです。本当にありがとうございました。





このページは、全国各地の同窓生からのお便りを掲載します。また、次号も同窓生の方の楽しいお便りを募集いたします。

近況等を400字程度にまとめていただき、ご住所、お名前、卒業年度、電話番号を明記の上、原稿にふさわしい写真あるいは顔写真を添付してお送りください。

- ・締め切り 平成30年7月末必着
- ・送付先 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
大阪経済大学大樟会「北から南から」係 宛
- ・eメール okusu@osaka-ue-denko.com

軍隊と母校

福本 幹夫(10回)

今年も早くも8月。6日の広島での被爆と終戦の日が鮮明に思い出される。私は昭和商高10期生で、昭和18年9月に繰上げ卒業し、12月25日に姫路輜重兵連隊に入営した。入隊前の意思に反し経理部幹部候補生に採用されることになり、師団司令部などで集合教育を受け翌19年12月に甲種幹部候補生に決定。20年1月10日、内地の甲幹全員は旧満州の新京（現長春）の陸軍経理学校に入隊、5月19日に卒業して経理部見習士官となり、本土決戦のため内地に帰還することになった。

釜山を夜出航し、翌朝無事博多に入港。私達輜重兵隊出身の8名は大阪で下車、大阪駅東方の旅館に暫く滞在することとなり、母校を訪れることを思いつき、上新庄に向った。二度と訪れることはないと思っていた上新庄。駅を下りて感無量、学校の裏門から入ると、芝生の上に女子学生が三三五五たむろしている。これが母校かと驚いた。と同時に、戦局の重大さを痛感した。

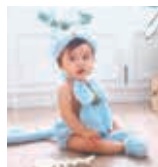
そのまま職員室に向った。3・4人おられた中に恩師の大北教授がおられ、私の姿を見て「立派になったなあ」との第一声だった。わずか10分余りでお別れしたが、今度こそこれが最後だと何度も振り返り母校を後にした。

1週間程この宿におり、5月31日の夜行で8名全員が大阪を出発して、翌朝広島の輜重隊に到着、ここで新境地への命令を待つことになった。私は8月2日に召集される工兵大隊の部隊付主計に任命された。この新設部隊は広島市の外で編成されたため原爆は軽症で済んだ。なお、この部隊は8月16日房総半島へ出発する予定だったが、終戦のため8月末解散、私は10月1日やっと帰郷を許された。

(平成29年8月 記) 兵庫県美方郡

時の流れ

継野 幸一(32回)



今年も盆踊りの季節を迎えた。思えば娘が幼い孫連れ、帰省するのが恒例で、来るたび、孫に急がされ盆踊りを楽しんだものです。その孫が結婚、出産、ひ孫誕生と、月日の流れの速さに驚くばかりです。現在、私は74歳になり、楽しみといえば娘夫婦、孫、ひ孫との食事会。それに硬式庭球部OBのゴルフコンペです。

去年の食事会ではひ孫の誕生を祝し、一児の母となった幼かった孫のことを某新聞に俳句で投稿。「盆踊り紅指す孫の初舞台」が紙面に載り、皆からのお褒めの言葉に目頭が潤んだのを覚えています。

もう一つの楽しみはOBゴルフコンペです。足に自信のあった私も時の流れが年々弱り、今ではカート付きゴルフで足がツリながらも思い切り余生を楽しんでいます。先日娘から「お父さん、玄孫ができるまで頑張ってください」と。親の長生きを願う娘の優しさに応え、玄孫の顔を見るまで長生きできれば…。そして私が逝く時、「良い人生だった」と思えば最高です。(平成29年8月 記) 兵庫県芦屋市

58年前の想い

諸田 治(26回)

平成30年の新年を迎え、学長以下、教職の皆さまおよび大樟会同窓生の皆さま、おめでとうございます。

大樟会広報部長 小林眞人氏から「澁江53号」への寄稿依頼があり、正直辞退したいところでしたが、それも身勝手すぎると考え、一筆啓上させていただきます。

昭和35年に卒業して、57年の年数が経過しました。現在の大学の環境は、小生が4年間通った当時の面影は片鱗もなく、学舎および教授陣の充実ぶりには、卒業生の一人として、大いなる喜びを感じております。

小生も在学中は、4年間ラグビー部に入り、その頃に得たスポーツ精神と体力で、多数の友人と交流しながら、とくに大樟会ゴルフコンペには支障がない限り必ず参加し、前理事長とも年3～4回はプレーし、大学の現状など拝聴しております。 兵庫県尼崎市

母校の学章を誇りに想った4年間

西村 一郎(30回)



大阪経済大学在学中は応援団に属しておりましたが、まさに漫画の「花の応援団」のごとく、日々先輩・後輩の厳しい上下関係や礼儀作法を教えられました。

当時、応援団とは別に、写真部にも属し「硬・軟」のクラブ活動を通して非常に有意義な時間を過ごすことができました。

また、大学の授業にもしっかりと顔を出し、学長にもなられた当時のゼミの先生とも個人的に大変親しくさせていただきました。

皆で先生の自宅に集まったり、旅行に行ったりしたなかで、先生の素晴らしい生き様を間近で見させていただきました。優秀な先生方のもとで学び、数多くの友人との出会いもあり、母校の学章を誇りに想いながら4年間を過ごすことができたことは大変有難く感謝の気持ちでいっぱい입니다。

また私的な会ではありますが、現在でも大経大卒業生有志で大樟天狗会（おおくすてんぐかい）をつくり、年に2～3回、20名ほどで賑やかに集まっております。メンバーには大企業の会長や社長をはじめ一般の社員の方まで様々な方が参加され、先輩、後輩の関係で楽しい時間を過ごしております。

改めて、我が母校への感謝の意を表すと共に、大阪経済大学の益々のご発展を心より祈念いたします。 兵庫県西宮市

卒業してからの絆

横山 進直(34回)

卒業して早半世紀約50年、70歳を超えた私ですが、大学時代のことを最近のことのように思い出します。

働きながらの学校であり、限られた短い時間の中で交流していた学友。昭和41年の正月、車で雪の富士五湖旅行に行った仲間と平



成9年に大阪の居酒屋で再会しました。お互い年を取り誰か分からないくらいであったが、打ち解けるのに時間はかかりませんでした。その後途絶えていましたが、3年前から5人のメンバーが集まり、食事会・カラオケ等で昔の思い出話を楽しんでいます。

年1回の会は2年前から2回になり。メンバーの一人が鳥取の米子に住んでいることから、皆生温泉に旅行に行きました。昨年5月に箕面温泉に一泊、秋の11月にも再度箕面旅行に行き絆を深めています。現役で働いている者もいて元気づけられます。

私は定年から6年間勤務して退職、絵画（油絵）や青春ソングの講座に通い、絵画では昨年兵庫県展に入選しました。年2～3回展覧会に出展していて、趣味を超え、没頭している毎日です。

兵庫県神戸市

大学回顧と私の人生

井元 喜一(35回)



就職活動の頃（昭和43年5・6月）、学校の掲示板に京都の信用金庫の募集がありました。応募して7名の推薦枠に入り、適性テストと面接を経て、3名が入社できました。

勤続20年、壮快な職場生活を味わいましたが、42歳という充実感から社会に再挑戦することを決意しました。他の2名は要職に就き、定年後も就業をしています。3人は同窓の誼みもありました。

大学3回時に、恩師泉谷勝美先生に個別指導を受け合格をした税理士試験（簿記論）、その後、余韻は続き財務諸表論、簿記1級へと至りましたが、その延長は志しませんでした。

機は熟した感から、退職後、税法3科目に合格して税理士事務所を開業しました。爾来、26年が経ちます。

平成25年、泉谷先生のご逝去の報に接し、あの夏の暑い日、百円札をもらって買った“アイスクャンディ”。懐かしい思いで感謝いっぱいです。謹んでご冥福をお祈り申し上げる次第です。

滋賀県大津市

ミニミニ同窓会を開催

児玉 雅善(37回)

私達が経大を卒業して、早いものでもう46年がたちました。その頃、体重49kg、ズボンのウエストサイズ72cmだったのが、今では75kg、94cmのズボンをはくみつともない体型になってしまいました。

1年の時は72人の仲間と学生寮で過ごしました。今となっては、懐かしく楽しい思い出です。その時の寮生のうちの9人の仲間と毎年11月に同窓会を開いています。卒業後2年ほどたって一回目を開き、当初は数年ごとに集まっていたのですが、13年前くらいからは毎年開催しています。

一昨年は広島・大久野島で、昨年は姫路で開きました。今年は、博多での開催予定です。

今はそれぞれ子供たちも大きくなったので無理となりましたが、家族全員で集まったことも二度あり、いい思い出となっています。



昨年は、2009年からの写真アルバムにまとめて全員に配りました。

年に一度の楽しい集まりです。

兵庫県佐用郡

民生委員を委嘱されて

小池 邦久(38回)



学窓を巣立って早45年“光陰矢の如し”と申しますが、私も前期高齢者の仲間に入って三年程たちました。現在は少い年金に頭を悩ませながら生きています。平成28年12月、全国一斉に民生委員の改選（一期三年）があり力不足ではありましたが、お引き受けしました。

せっかく引き受けたからにはと思い、少し民生委員のことを勉強してみました。すると民生委員の父と呼ばれた人は今から約百年程前の大正7年（1918年）、当時の大阪府知事であった林市蔵知事で、氏が創設した方面委員制度が民生委員制度の先駆けとなったことなどがわかりました。現在、林知事の銅像は大阪淀屋橋の南詰に設置されています。私も林知事の銅像を拝拝し、その警咳に接することができます。と思っています。

また新しく生まれ変わった大学の学び舎の間を散策し、はるか昔に過ぎ去った青春の思い出に浸りたいと、ささやかな大阪への旅行を計画している今日この頃です。

静岡県浜松市

団塊の世代から…

大西 充(38回)

外国人観光客で溢れかえる京都在住です。灘の酒メーカーを60歳で退職、以来早や8年が過ぎました。現在、年金とアルバイトで生計をたてています。

さて、何かと世間を騒がせてきた世代がいよいよ高齢化を迎え、長寿と社会保障関連費用（年金、医療、福祉）の増加を加速させる時期に突入です。そしてとどめは火葬場不足まで引き起して、おさらば、になりそうです。（笑）少子化による人口減、若年層への社会保障費の負担増…世代が引き起こす負の遺産を少しでも減らしたいと、「健康維持、増進」と「認知症、身障者」サポートに携わっています。そして動けば人と出会います。友との大好きな飲酒、山歩き、水彩画等、趣味の世界も広がっています。この活動の基となっているのが当学の合気道部に入部し、先輩に厳しく鍛えられた身心のお陰だと、今はしみじみと感謝しております。合掌。

京都府京都市

人との出会い

三浦 啓亨(43回)



卒業して早40年。現在の私は、卒業後帰省して起業した生・損保の保険代理店を大分市で営んでいて、来年で40周年を迎える。在学中はグリークラブに所属し4年間を謳歌した。今も大分の地で、男声合唱を楽しんでいる。人とのご縁とは不思議なもので、私の人生を大きく左右してきた。今の仕事も学生時代に合唱を通じて知り合った方のご縁であり、帰省してからも出会った方のご縁で色んな役職をいただいた。地域の体育協会の役員を皮切りに、PTA会長を小・中・高とさせていただいた。県や全国の役員をさせていただいたお陰で、各地に友人ができ、感謝の念で一杯である。また、PTAがご縁で、今は保護司や青少年の健全育成に関する団体の活動をさせていただいている。そこで、また新しい出会いがあり、ご縁ができる。「頼まれごととは試されごと」を心情に、人との縁を大事にしていきたいと思っている昨今である。「馬には乗ってみよ人には添うてみよ」という諺もあるように！

大分県大分市

北海道支部

限界支部



北海道支部総会・懇親会は、平成29年10月28日(土)に池田支部長のお膝元である、十勝地方・芽室町の国民宿舎にて、支部会員6名、大学より福井孝明人間科学部長、大樟会の川口正義監事にお越しいただいて開催しました。

例年の札幌開催と違って宿泊形式でしたので、時間を気にすることなく、じっくりと懇親を深めることができました。

支部会員の高齢化が話題となり、若年会員の勧誘、北海道からの入学者増施策を議論して、このままでは「限界支部」になるという危機感を持ちました。

全国展開している企業で、北海道勤務をされる同窓生もいると思います。他支部の同窓生が異動した場合の情報を全支部で共有できるシステムがあればよいと思います。 幹事 鶴飼泰正(51回)

福井支部

大阪福井県人会幹事長が講演



6月24日(土) JR福井駅前のユアーズホテルフワイにおいて、平成29年度支部総会を開催しました。大学から草福弘樹人事部長、大樟会から田中伸治常務理事、近隣の支部から五十棲保彦愛知支部長、鍛冶一英石川支部長、山根一男岐阜支部長、柴田俊彦京都支部長各氏を来賓としてお迎えし、午後6時に開会。平成28年度の収支決算を報告し承認されました。続いて、本県(旧武生市、現越前市)出身の大阪福井県人会の幹事長で、昨年4月、78歳で本学大学院修士課程人間科学研究科に入学した畑中 一^{かずいち}氏の「歩く楽しみ 歩ける喜び」と題した講演を拝聴しました。さらに、本来なら講演の前にご挨拶をいただくところ、講師の帰阪の都合で後先になりましたが、来賓の草福、田中両氏からご挨拶をいただき、大学、大樟会それぞれの近況をお聞きました。

記念撮影の後、五十棲愛知支部長の乾杯の発声で懇親会が開宴しました。瀬戸れい子さんが弾く軽快なジャズピアノが流れる中、一年ぶりの再会に話が弾み、参加者全員が和気藹々のうちに酒を酌み交わしていました。最後は、参加者全員が肩を組み、この6月のあわら市議会議員選挙でトップ当選を果たした笹原幸信氏のリードで、学歌、逍遙歌を歌って締めました。 支部長 石橋隆夫(32回)

東京支部

東京に大学のオフィス設置を!!



平成29年9月7日(木)夏の名残を思わせる暑さの中、「日本外国特派員協会」にて大樟会東京支部総会を開催しました。本年度は、大阪経済大学理事長に就任された藤本二郎理事長、大樟会からは小林真人副会長をお迎えし、同窓諸兄姉41名(男性36名、女性3名、来賓2名)の出席をいただきました。藤本理事長からは本学の教育・研究の更なる質の向上について、また小林真人副会長からは受験生の地域偏り是正の必要性についての報告があり、ご両氏から母校発展に向けた力強いご挨拶をいただきました。

また、諸先輩方から東京支部大樟会のあるべき姿、また運営方法等、忌憚のない貴重なご意見ご提案をいただきました。関西の多くの大学が東京にオフィスを構えておりますが、伝統ある大経大はこの東京に拠点がありません。教職員、同窓生の活動や、学生の就職活動の拠点として多目的に利用できる大経大東京オフィスの設立を是非ご検討いただきたいと思います。 支部長 森田幸伯(45回)

石川支部

若き日の思い出がよみがえる



平成29年度石川支部総会が9月3日(日)午後4時より、残暑の中の金沢駅前のホテル金沢にて開催しました。大学より藤本二郎理事長、大樟会本部より上田敬二郎常務理事、福井支部より田安敏男事務局長、愛知支部より五十棲保彦支部長各位のご臨席を賜り、和やかなひと時を楽しむことができました。

まずは近々の大学の様子をビデオで見せていただきましたが、我々の在学中よりも遥かに垢抜けた雰囲気心に躍らされました。その後、恒例の一人一人の自己紹介と近況報告、大学時代の思い出などたっぷり披露いただきました。会場からは「そう、そう」「へえ～」などの声も漏れ、マンドリンクラブや吟詠部、映研などの話でも盛り上がり、最後の肩を組み歌う「学歌」「逍遙歌」では何十年もの時を遡り、若き日の思い出がよみがえり全員の声が震えて仕方がありませんでした。

おかげさまで世代を超えた和気藹々とした楽しい時を過ごすことができました。また来年のこの時を、楽しみにして再会を誓いあいました。 監査(書記) 松本信之(45回)

静岡支部

快挙！



平成 29 年 7 月 29 日(土)、静岡駅南口のホテルセンチュリー静岡において、大学より草薙情報社会学部長、大樟会より山本常務理事をお迎えし、支部から 8 名(35 回～83 回)の参加で支部総会を開催しました。

第一部では、大学および大樟会の近況報告と 28 年度事業・決算報告および 29 年度計画案の審議を満場一致で可決しました。第二部では、懇親会に移り、乾杯後、全員の自己紹介・近況報告や情報交換を和気藹々のなか行いました。

支部発足以来 17 年目を迎え、これまではいつものメンバーの出席でしたが、何と今回は、今年卒業したての有川健二郎君(83 回)が総会に出席してくれました。今までになく超フレッシュな存在で、若さのエネルギーを貰えたかなと思いました。総会の懇親会や 2 次会、3 次会で、諸先輩からいろいろと社会人としての心構えなど教えてもらったようです。最後に来年も来てくれるかな?の問いに"いいとも!!"と力強い返事が返ってきました。来年も楽しみです。

これからも一人でも多くの会員に参加を呼びかけ、盛り上げていきたいと思います。平成 30 年は 7 月 28 日(土)、場所は今回と同じホテルセンチュリー静岡で開催します。 理事 河本陽介(51 回)

富山支部

県西部の高岡で盛だに開催



富山県支部総会は、7 月 1 日(土)富山県高岡市ニューオータニ高岡にて開催いたしました。本年度は会員の皆様から要望のありました富山県西部での開催を企画しました。当日は、18 名の皆様が参加されました。

大樟会からは石橋隆夫組織部長、大学からは小川雅弘経済学部長に、ご多用中にもかかわらずご臨席いただきました。

当日の議題としては、支部より教育活動への支援金の支出および、新支部長として老月邦夫氏(37 回)の選出が提案され、承認されました。

支部総会の案内の返信が多くなってきています。富山県支部の返信率は同窓会全体でも良い方とお聞きし、努力が報いられたような気です。当日ご都合で欠席される会員の皆様も、近況や住所変更など書いていただけたことが多くなりました。短いコメントでもいただければ、必ず出席者の方には伝わりますので、今後ともよろしく願います。 事務取扱 野田 満(48 回)

愛知支部・岐阜支部(合同)

東海支部として設立 70 周年



平成 29 年度愛知支部総会を 10 月 15 日(日)、名鉄ニューグランドホテルにて岐阜支部と合同で開催しました。当日は大学より藤本新理事長、大樟会から田村会長はじめ役員、各支部の支部長等々のご出席をいただき、総勢 29 名にて行いました。今回は愛知支部の原点であります東海支部の設立 70 周年記念として開催しました。

東海支部は愛知、岐阜、三重、静岡の卒業生が昭和 22 年 4 月 29 日に 1 期生から 12 期生、102 名によって設立されました。今年で 70 年になります。愛知支部が中心となり東海支部を引き継いで、現在に至っております。

会の中では、大学に対する要望が多く出され、今後の大学発展に期待が持たれます。

宴が盛り上がる中、大締めで、元応援団の長崎先輩による大経大エールの披露があり、最後に赤塚副支部長による、一本締めで閉会しました。 愛知支部長 五十棲保彦(32 回)

三重支部

三重支部始まって以来の快挙



平成 29 年度大阪経済大学大樟会三重支部総会を 10 月 21 日(土)松阪市内の「和田金」において開催しました。

総会当日は、大学より藤本理事長、大樟会本部より角脇総務部長、愛知支部より五十棲支部長のご出席を賜り、来賓を含め総勢 34 名での開催となりました。今年度の総会は、参加人数こそ、例年通りでありましたが、最大の目玉は新卒女性一人を含む 20 代男女の参加者が 4 名もあったことです。三重支部創設以来の快挙(言い過ぎ?)ではないかと思いました。

昨年は、当支部の大きな活動として、大樟会本部の協力を得て、愛知、岐阜、三重の各支部が連携して大学駅伝の応援をしました。今年は、五十棲愛知支部長の発案により愛知、岐阜、三重、静岡の各支部の母体であった東海支部が設立され 70 周年にあたることから、記念タオルを作ることにしました。大樟会本部や愛媛支部の協力も得て記念タオルは完成し、総会で出席者に記念品として配布させていただきました。

総会の議事終了後は、和田金の松阪肉を堪能(今年は特別に料理をグレードアップ)し、各自、参加者の自己紹介や近況報告等をした後、また来年の再会を誓い、お開きとなりました。

支部長 池山英典(57 回)

京都支部

田中前支部長に感謝の花束



京都支部総会が平成29年11月10日(金)にホテル京阪京都グランデにて開催されました。総勢63名で、22回卒から今年卒業の83回卒までの幅広い層の出席(内女性8名)があり、賑やかに執り行われました。

大学から徳永学長、佐藤前理事長、岩本教授、黒正部長、また大樟会からは田村会長、大河内常務理事、近隣支部長にもご出席いただきました。今年は新支部長となって初総会でもあり、特別ゲストに硬式野球部の山本監督を迎え、徳永学長、田中常務理事との楽しいトークショーも繰り広げられ、会が盛り上りました。また黒正部長からは大学キャンパスの懐かしい写真から80周年記念事業で新しくなったキャンパスまでの歴史を紹介いただき、参加者は学生時代を思い出し、ほっこりしたひと時でした。

最後に田中前支部長の7年間の労をねぎらい、感謝の花束贈呈が行われ、無事閉会しました。今後もOB・OG皆さんがより多く参加いただけるよう、創意工夫してまいります。

支部長 柴田俊彦(50回)

大阪市淀川支部

大阪市内四支部に



永年、大阪市支部として運営されてきましたが、春木支部長のもと、総会、幹事会を重ねるなかで、本年度4,850名の卒業生となり、一支部として活動することが、大変難しくなりました。大樟会本部とも協議の上、各支部千名強の新四支部独立案が最良とのご指導をいただきました。

平成29年4月9日(日)四支部体制による支部総会開催に至り、「大阪市淀川支部」が誕生しました。12名の参加による支部総会も、全員の拍手をもって滞りなく終了いたしました。当支部は、東淀川区、淀川区、西淀川区がエリアです。大樟会のお膝元です。会の発展のため尽力したいと思います。

※午後の四支部合同の設立パーティーには、佐藤理事長はじめ田村大樟会会長、竹中事務局長、廣野組織部長他多数の役員方の参加をいただき、ありがとうございました。会の最中に、当支部会計のプロマジシャン ジョン・道阪さんによるカードマジックのサプライズもあり、会を盛り上げてくれました。

※四支部とは、「淀川」「北」「南」「住吉」です。

支部長 青木正道(36回)

大阪市北支部

感謝の心で、仲良く前進！



平成29年4月9日(日)、本学・佐藤理事長、大樟会(同窓会)・田村会長をはじめとする6人のご来賓にご臨席を賜り、大阪市北支部設立総会を無事大成功でスタートすることができました。

本年は同窓会も設立82年の歳月を数え、北支部にあっては長年、多くの先輩のご苦勞をいただき、大阪市新四支部の設立を迎えるに至りました。

今回、設立に当たり多くの先輩から、心温まる励ましのお言葉をいただきました。先輩に対する感謝を忘れることなく、仲良く前進したいと思います。また、ステークホルダーとしての使命も認めながら、いつまでも研鑽の心を磨こうと誓い合いました。

私達の大阪市北支部の構成と陣容は次のとおりです。

此花区、福島区、北区、都島区、旭区、城東区、鶴見区の7区で構成され、合計1,334名の会員数です。今後も続く多くの後輩のためにも、今回選任された役員の方々と力を合わせ、新しい歴史を拓いてまいります。

支部長 小原宏夫(38回)

大阪市南支部

大阪市4支部合同交流会を開催



平成29年4月9日(日)、本学・佐藤理事長、大樟会(同窓会)・田村会長をはじめとするご来賓にご臨席を賜り、大阪市南支部設立総会を無事開催いたしました。

今回は、大阪市北支部、大阪市淀川支部、大阪市住吉支部も同時に設立いたしました。設立に当たり大樟会役員の方々の助言により、大阪市総支部を適正な規模とするため4つの独立した支部に分割いたしました。当分の間は4支部と連携を重ねながら活動していく予定です。大阪市南支部の構成は、天王寺区、東成区、浪速区、阿倍野区、港区、西区、西成区、大正区、中央区の9区で構成され、会員数は1,159名です。今後も役員の方々と力を合わせて同窓会の交流および親睦を深めたいと思っています。

平成29年11月4日(土)、大阪市4支部合同交流会を「2017大阪経済大学ホームカミングデー・大樟会総会」後に開催いたしました。今回は、4支部長を中心に各支部の活動報告および今後の予定等を話し合いました。来年の新年会を、1月27日(土)にニューオーサカホテルにて4支部合同で開催することが決まりました。また、来年は「定期支部総会」「日帰りバス旅行」「講演会」等を開催することも決まりました。同窓会の皆さまの積極的な参加により、交流および親睦を深めたいと思っています。

支部長 吉川 進(41回)

大阪市住吉支部

設立総会を開催



大阪府は 24 区からなっています。そこに在住する卒業生は、すでに 4,000 名を超えています。この数は、今後も大学の隆盛と共に増加します。今までは、大樟会大阪市総支部として、年 1 回の総会を含めて活動を進めてきましたが、少し母体が大きくなり過ぎ、運営が思うようには進めにくくなっていました。大阪市の都構想ではありませんが、もっとフットワーク良く活動ができるように、総支部を 4 つの独立した支部に再編して活動することとしました。住吉支部には、生野区、住吉区、東住吉区、住之江区、平野区が含まれています。

これまでの 4 年間に様々な可能性を考えながら議論を進め、このたびの住吉支部の設立総会を迎えました。当日は、同窓会大樟会本部より事務局長の竹中亨様のご臨席をいただき、議事を進行しました。設立総会世話人山本岩雄を議長に設立宣言を行い、支部長をはじめとした役員を選任、会計報告、活動方針を検討し、出席者全員の拍手をもって総会議題が承認されました。

その後、久しぶりに見る大学の姿変わりを見かね、昔過ごしたガタガタの床の B 館はどこに行ったのか、正門前の池はどうなったのか、と昔学んだあの学舎を思い出していました。

支部長 山本岩雄 (33 回)

北大阪支部

総会後、講演会「生前整理の大切さ」



北大阪支部総会・懇親会は高温注意報が発令中の猛暑の中、平成 29 年 7 月 15 日 (土) 摂津市立コミュニティプラザにおいて会員 26 名、来賓 6 名の計 32 名のご出席をいただきました。当日は大学の横山 穰 理事・財務部長、内田敏雄大樟会事務局長、上田敬二郎大樟会常務理事、雑賀保洋 箕面・豊能支部長、梶村貞男北摂支部事務局長、田中功一豊中支部長からご挨拶をいただき、大学の理事長交代、同窓会の近況、さらに激励のお言葉をいただき、提出された案件はすべて承認されました。

終了後、「遺品整理から見た、生前整理の大切さ」をテーマに「一般社団法人心結(しんゆう)」代表の屋宜昭彦氏から講演をいただきました。「生前整理」をしておかないと残された者が大変迷惑をすることを思い知らされた講演会でした。

講演終了後、37 回卒で摂津市議会議員の野原 修氏の乾杯の発声で懇親会が始まり、和やかな雰囲気の中「暑さを吹飛ばす勢い」でビールの栓が開いていました。

支部長 角野 力 (41 回)

北摂支部

大門壽郎前支部長を偲んで



平成 29 年 3 月 4 日 (土) 午前 11 時から平成 28 年度支部総会を、高槻市民会館錦松鶴で総勢 36 名が参加して開催いたしました。大学から木村俊郎経営学部長、大樟会から上田敬二郎常務理事、近隣から森川義一北河内支部長、角野力北大阪支部長、雑賀保洋箕面・豊能支部長を来賓としてお迎えいたしました。

まず、平成 28 年 11 月 29 日に逝去された大門壽郎前支部長に黙祷を捧げた後、木村先生から、入試状況、就職状況をお話いただきました。今年の受験生が過去最多 20,000 名を超えながら、大阪府・兵庫県に集中し、遠方からの受験生が激減し、ローカルな大学になっている。地方から来てくれるよう努力する必要があると指摘されました。

ゲストとして、同志社大学アメリカ民謡研究会 OB バンド「ザ御所バンド」をお迎えし、アメリカの懐かしい歌を中心に 1 時間演奏をしていただきました。バンドメンバーは平均 69 歳と支部会員と同年齢のため、懇親会では打ち解けた会話で盛り上がりしました。

最後はプロ歌手で 38 回卒の和気多賀司さんの音頭で学歌・逍遙歌を全員で力強く合唱し、盛会のうちに今年の総会も幕を閉じました。

事務局長 梶村貞男 (37 回)

箕面・豊能支部

井形経営学部教授の講演に耳を傾ける



箕面・豊能支部では、3 月 12 日 (日) に箕面公園内にある音羽山荘において第 6 回総会を開催しました。大学から井形浩治経営学部教授、大樟会本部から山本隆造常務理事、近隣支部からもご来賓として多数の方々にご参加いただき、総勢 25 名が集いました。当日はお天気も良く、気温も上昇したため、通りの箕面瀧道も大勢の人で賑わっていました。

総会の議事終了後、井形教授から「日本経済の失われた 20 年」－その間にも急成長した企業の『勝つ論理』－と題されたご講演をいただき、1970 年の万国博覧会の開催に経大 OB が大きく関わってこれたことや、経済界で生き残るための企業戦略が成功し、急成長した企業の実話などを聞き、指導者の判断力に感心しました。

懇親会では、時間が足りないほど全員がおしゃべりに夢中になり、会場スタッフからストップがかかってしまうほどで、最後に学歌および逍遙歌を全員で斉唱し、次回総会での再会を誓い、散会となりました。次回もより多くの会員の皆様にご参加いただき、楽しい時間が過ごせることを願っています。

事務局長 岸上芳夫 (46 回)

伊丹支部

来年の支部設立10周年を盛り上げよう!!



平成29年度の伊丹支部総会は、平成29年6月17日(土)午後6時から伊丹シティホテルで開催されました。今回はご来賓6名を含めて27名。前年と比べて10名程度少ない支部総会となりました。

冒頭の竹中亨支部長の挨拶では、大樟会の同窓会設立80周年記念事業として、平成29年度から大学の奨学金制度の支援事業等を実施したことや伊丹支部の積極的な活動について報告されました。とくに、来年は伊丹支部設立10周年という記念すべき年に当たるので、支部総会は大いに盛り上げたいとの抱負が述べられました。また、ご来賓代表として挨拶に立たれた大学の橋本浩二事務局長は伊丹市のご出身ということで、市内の学校の校名が次々に飛び出し、いやがうえにも親近感が深まりました。さらに、大樟会本部の廣野義直監事から同窓会の近況報告の後、議事に入り、支部役員改選ほか、定例の議案がそれぞれ原案通り承認されました。

このあと、ご来賓の久保太郎尼崎支部長のご発声で乾杯、懇親会に入り、余興のビンゴゲームは司会の岡田隆義さん(54回)の名調子で大いに盛り上がりしました。 大樟会事務局長 内田敏雄(39回)

豊中支部

コーポレート・ガバナンスとは? 東芝の事例から



平成29年6月18日(日)午前11時より千里阪急ホテルにて第33回支部総会を開催しました。出席者は、来賓を含めて20名でした。大学から理事長佐藤武司様、経営学部教授井形浩治様。大樟会から常務理事田中伸治様をお迎えし、近隣支部からも多数ご出席いただきました。

はじめに、井形教授に「企業の不正とガバナンス:なぜ、優良企業が突然死するのか?」について、日本屈指の「名門企業」である東芝の事例についてご講演いただきました。

総会での議事に入り、[1]平成28年度の活動報告と会計報告 [2]役員任期満了による改選 [3]29年度の活動計画と収支予算案が各々承認されました。

この後、尼崎支部長の久保太郎様(31回)の乾杯音頭により懇親会に入り、支部会員からの近況が報告され、学歌・追送歌を斉唱し、万歳三唱でお開きとなりました。

場所を変え、午後3時から支部行事のカラオケ大会が開催されました。出席者は10名でした。プロシンガーのさめしまさみ様(45回)が特別参加され、1位にられました。(カラオケ採点に嘘はない)

支部長 田中功一(42回)

池田支部

大学と大樟会に寄付金を贈呈



平成29年6月11日(日)、大樟会池田支部25周年記念総会を母校E館7階会議室にて32名が出席し、盛大に開催しました。まず、松田支部長挨拶の後、大阪経済大学理事長佐藤武司様、大樟会会長田村正晴様の来賓挨拶をいただいた後、近隣支部の出席者の紹介が行われました。次に、平成28年度活動報告(総会、役員会、支部同行会、近隣支部)、平成28年度収支決算報告及び決算監査報告がいずれも満場一致で承認され、無事に終了しました。

次に、大阪経済大学人間科学部高井逸史教授による演題「健康づくりと介護予防」の講演をしていただき、その後、健康づくりのための体操を全員で行いました。長寿社会の今、長生きよりも「より良く」生きる…元気長寿を常に意識し、日常生活において適度な運動や栄養バランスを考えた食生活、また認知予防のための対策を行う必要があります。

その後、E館7階ラウンジにて25周年記念パーティが開催されました。大阪経済大学、大樟会本部それぞれに寄付金の目録が贈呈された後、北島ゆり子さん(82回卒)のフルート演奏や、参加者の自己紹介、近況報告があり、終始和やかな中での懇親会となりました。

書記 平井裕能(38回)

泉南支部

地道に呼びかけ参加者増へ



空梅雨が続く6月18日(日)、関西国際空港(泉州空港)対岸のりんくうタウン内ワシントンホテルにおいて、2年に1度の総会を開催いたしました。支部同窓生の参加は20人で、前回とまったく同じでしたが、初参加の方が多く、少し新鮮な感じがいたしました。

平成28年、初当選された41回卒の藤原敏司熊取町長を講師にお招きし、熊取町の現況等について講演をいただいたあと懇親会に移り、大いに盛り上がりしました。最後はどこの支部でも同じであろうと思うのですが、どのように新しい参加者を増やしていくのかについて議論が集中しました。結局、口込みでいくしかない、1人が2人、2人が4人と、地道に呼びかけていこうということになりました。

支部長 塩谷善一郎(39回)

堺支部

今年度の総会は堺支部を解散か存続の総会



平成 29 年 11 月 18 日(土)、支部総会をホテル・アゴーラリージェンシー堺にて開催、学校より草薙情報社会学部長、大樟会より竹中亨事務局参与がご出席。また近隣支部より中嶋 肇奈良支部長(32 回)、塩谷善一郎泉南支部長(39 回)に、ご多忙のところご出席いただきました。ご来賓の方々からはそれぞれの立場で、学校の近況報告、大樟会の現在の情報、各支部の情報等報告がありました。

その後議事に入り、今回より就任の八木精一郎監査役(43 回)の交代の挨拶、収支報告書の説明があり、全員了承のうえ終了。堀本支部長より、今年の案内状に卒業高校の記入をお願いし、全員に、卒業高校名を書いていただき、大樟会の組織を生かすには高校の先輩、後輩単位で結束するのが組織が安定するとの説明がありました。

同年 11 月 5 日、岸和田浪切ホールで高田 明さんの講演があり、その話の中で大経大の校名の宣伝を随分していただきました。そこで“私の履歴書”と題して支部長の話があり、一部が終了。

第二部に入り、35 回卒の西 恵司大阪府議会議員の乾杯の音頭で始まり、懇親会終了の挨拶は 23 回卒の岡田 斌氏の万歳三唱で終了。

二次会は同ホテル 1 階で開催。皆様には参考になる意見をいただきました。支部長 堀本 修(24 回)

尼崎支部

参加者増にご協力を!!



平成 29 年度支部総会を 4 月 26 日(水)に尼崎商工会議所において開催しました。

来賓として佐藤理事長、大樟会より田村会長、竹中事務局長、上田常務理事、近隣支部から堺支部、豊中支部、阪神支部、神戸支部、伊丹支部のご出席と会員 26 名の参加がありました。

総会は久保支部長の挨拶と来賓の方々よりご祝辞をいただき、会計報告を行いました。

懇親会は諸田治様(昭和 35 年卒)の乾杯にて始まり、途中 AIR SOUNDS のバンド演奏を聞くなど楽しい時間を過ごしました。最後に全員で輪になり学歌と追送歌を熱唱し、常深俊昭様(昭和 32 年卒)に締めめの挨拶と万歳三唱をしていただき、今後の同窓会の発展を願いながら散会しました。

尼崎支部は若手の参加者も多く、幅広い年代での交流の場としての年代の方々も気軽に参加していただければありがたいと思います。今回初参加の方もおられましたが、参加者は年々減少傾向にあります。是非お知り合いの方に声を掛けていただきますようお願いします。支部長 久保太郎(31 回)

北河内支部

支部設立 10 周年総会を開催



快晴に恵まれた平成 29 年 5 月 21 日(日)、本学 E 館(50 周年記念館)で第 10 回北河内支部総会を開催しました。本学からは、福井孝明人間科学部長、大樟会本部から竹中亨事務局長、山本隆造常務理事、さらに近隣支部から梶村貞男北摂支部事務局長が支部設立 10 周年のお祝いに駆けつけてくださいました。参加人数は総勢 24 名でしたが、今回初めて参加した方が 5 名いたことは、毎年続けてきた甲斐があったと思っています。

これからも会員相互の親睦の輪を広げるために、少しずつでもよいから「つながる力」となっていきたいと思います。

広報担当 山西喜久(44 回)

川西・川辺支部

近隣支部とも交流深める



去る 6 月 25 日(日)に支部の総会を開催しました。

今回も公私ご多用の中、多くのご来賓にお越しいただき、華やかな総会となりました。大学からは経営学部長の木村俊郎教授にご臨席賜り、母校の現状、そしてこれからの大阪経済大学について、熱く語っていただきました。大樟会からは、角脇忠行総務部長と大山寿久常務理事がお越しくださり、あいさつの中で、活発な川西・川辺支部の活動に感心したとお褒めの言葉をいただきました。また、川西・川辺支部は近隣支部との交流も盛んで、今回も眞面・豊能支部から雑賀保洋支部長が、池田支部からは山形輝三相談役が、そして伊丹支部から木村健治幹事にお越しいただきました。

総会後の懇親会の締めくくりは、猪名川町観光ボランティアガイドの末松早苗さんによる「猪名川町の魅力」をわかりやすく丁寧にご講演いただきました。

“交流”と“親睦”を深め、大学と地域への貢献を!!『つながる力』という大樟会川西・川辺支部のスローガンにふさわしい総会となりました。

これからも竹本勇支部長のもと、益々支部の活動を活発に、そして盛り上げていく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。監事 宮東豊一(55 回)

阪神支部

元プロ・山本硬式野球部監督を招き



阪神支部総会を、平成29年2月25日(土)出席者55名のもと、六甲のふもと、武庫川の清流が流れる静寂な雰囲気の中、モダンな洋館ホテルとして1926年に開業した宝塚ホテルにて開催いたしました。

支部総会は西澤副支部長の司会により、支部長の挨拶で始まり、来賓として大学から草福弘樹総務部長、大樟会から廣野義直組織部長にご出席いただき、ご祝辞ならびに近況報告と大学を取り巻く情勢についてお話をいただきました。その後、支部長から会計報告並びに活動報告を行いました。

阪神支部は西宮市・宝塚市・芦屋市で構成され、会員総数は2,224名で当日は55名の出席となりました。返信の近況報告には、欠席者の中にも次回参加に意欲的なメッセージをいただいております。

役員紹介のあと懇親会へと移りました。進木前支部長の乾杯により懇親会が始まり、来賓の硬式野球部監督山本和作氏にインタビュー形式でプロ野球のウラ話など楽しく話していただき、最後に今シーズンの抱負を語っていただきました。ボランティア活動をされている先輩の地元バンドによるウクレレ歌謡バンドも懇親会を盛り上げました。

支部長 木岡良郎(36回)

神戸支部

『神戸で出逢おう』 近隣支部にも参加を呼びかける



平成29年10月15日(日)12時より、神戸・元町南側神戸旧居留地にあるレストラン「レニージョエル」において神戸支部総会を開催いたしました。

今年も総会前に、元毎日新聞論説委員でジャーナリストの平野幸夫様に「最近の政経事情」と題して、ご講演いただき、その後、総会には、大学から福井孝明人間科学部長、大樟会から大山寿久常務理事、近隣の5支部のご臨席も賜り、出席者41名で支部総会の幕が開かれました。

今回は、『神戸で出逢おう』をサブタイトルとして近隣支部にお住まいの大樟会会員にも呼びかけた結果、約10人の同窓生に参加いただきました。しかし、他の行事と重なり、参加できなかった同窓生も多く、目標の「60名参加」には達しませんでした。しかし、総会中ほどで、ピアノの生演奏や会員の素晴らしい歌唱力を披露していただき、その後、恒例のビンゴゲームによる抽選会を行い、盛りあがったところで予定の2時間半も、あっという間に過ぎ、最後に逍遥歌を全員で肩組み合せて斉唱し、閉会といたしました。

そのため、来年も引き続き、サブタイトルを『神戸で出逢おう』とし、目標を「参加年齢層の幅の広さと充実、そして多くの女性会員の参加、並びに一人が最低一人を連れてくる」として掲げ、実行委員会を立ち上げたいと考えております。

支部長 正岡健二(36回)

但馬支部

本学にて支部総会開催



但馬支部総会は、平成29年11月4日(土)開催の本部総会参加と学園祭見学を兼ねて実施しました。平成20年度も本学で総会を開催しましたので、9年ぶりの本学開催で8名の参加でした。

当日は貸切バスにて午前7時に豊岡を出発、日高、八鹿、和田山を経由し、10時30分頃に本学に到着。E館7階第1会議室にて藤本二郎理事長と田村正晴大樟会会長のお出迎えを受けしばし歓談、記念撮影等を行いました。

その後、11時から開催の大樟会総会に参加。セレモニーの後、小谷副学長の記念講演を拝聴した後、学生会館2階でのホームカミングデー懇親会に参加。出発時間の午後3時までの約1時間は、自由行動で模擬店で買い物をしたり、キャンパス内を見学したりしました。

帰りのバスの中では昔話に花が咲き、遠い昔の学生時代の話で盛り上がり、楽しい一日となりました。

事務局長 藤原将之(48回)

丹有支部

丹波市の紅葉を楽しむ



平成29年11月11日(土)、丹波市成松の「レストラン昭和」で、丹有支部総会を開催しました。丹有支部は、三田市と篠山市と丹波市地域の高等学校を終えて母校を卒業した者、また母校を卒業して丹有地域に勤務や居住する者を会員としております。総会は持ち回りで、本年度は丹波市地域が当番であります。「レストラン昭和」の代表者の奥畑さんは58回卒で、今回初めて参加してくれました。また現役の4回生や、初参加も数名あり出席者26名で開催しました。

大学より草福人事部長と大樟会より天野常務理事のご出席をいただきました。大学の近況や同窓会の活動およびクラブ活動の報告をしていただきました。総会終了後、車で移動して丹波市の紅葉の名所高山寺へ。歴史を感じるたたずまいと参道の紅葉のトンネルは、心癒やされる風情です。法話もお聞きして、心の安らぎひと時でした。

記念写真後に再び「レストラン昭和」に戻り、懇親会を開きました。学歌斉唱に始まり、一年ぶりの再会を喜び、近況を話すなど、和気あいあいの時間は、あっという間にお開きの時間となりました。おみやげは松下君(58回卒)の松下きのごプラントの栽培しいたけでした。最後は恒例の藤林君による逍遥歌斉唱で、来年の三田市での再会を約束して閉会としました。

支部長 足立徳太郎(36回)

明石支部

悠久の時を超え踊り継がれたベリーダンスで盛り上がる



平成 29 年度明石支部総会は、9 月 2 日(土)午後 6 時よりグリーンヒルホテル明石で開催されました。来賓として佐藤武司前理事長、経営学部長木村俊郎教授、竹中亨大樟会事務局参与様のご臨席を賜りました。

総会では、池上昭夫支部長の挨拶の後、来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況等の報告をしていただきました。

懇親会では、食事・歓談を楽しむなか、ステージでは、ラクスボリマベリーダンススクールの皆様による官能的で力強い舞が披露され、一同酔いしました。また、景品抽選会では、当選者にその場で携帯電話がかかってくるというハラハラドキドキもありました。最後に学歌・逍遥歌を斉唱し、閉会しました。

二次会は場所を移し、カラオケ大会で和気あいあいの時間を過ごしました。副支部長 吉本明浩(41 回)

東播磨支部

支部総会を母校で開催



平成 29 年 11 月 4 日(土)、東播磨支部の総会を母校にて開催しました。総会へは大学より本年 7 月に理事長に就任された藤本理事長、同窓会本部より田村会長、明石支部より池上支部長、安川副支部長等 3 名の方にお越しいただきました。

総会は宮崎副支部長の司会により進行され、福田支部長から支部の活動報告や会員の紹介がされている大樟会東播磨新聞について報告がありました。その後、議事に入り、第 1 号議案から第 4 号議案まで報告され承認されました。

今回は大学のホームカミングデーに合わせて母校で開催することで、多くの同窓生に参加していただけたと思っておりましたが、残念ながら例年参加していただいている方の病気などによる不参加があったことは残念でした。

総会終了後の懇親会は、大学のホームカミングデーの懇親会と合同で開催させていただき、近隣支部の方と合流して歓談いたしました。また支部総会には参加されなかった東播磨在住の女性がいらっており、和やかな時を過ごすとともに、来年の支部総会には参加していただけるようお願いしました。最後の集合写真にも入っていただき母校を後にしました。支部長 福田敏裕(37 回)

北播磨支部

学園祭当日、支部総会開催



北播磨支部の平成 29 年度総会を、11 月 4 日(土)、大樟会本部総会参加と学園祭見学を兼ねて開催しました。出席者は 8 名。

当日は、大学より藤本二郎理事長と同窓会本部から田村正晴会長にお出迎えをいただき、最近の大学の様子や同窓会活動などをご報告いただきました。

ちょうど学園祭も開催されていて、学生達の元気なかけ声が飛び交ってとても賑やかでした。

本部総会も多数の方々が出席されていて、議事などもスムーズに進み、グリークラブによる学歌斉唱では、皆さん懐かしい歌詞を思い出しながら歌われておりました。

その後、東大阪市石切のホテルセイリウでの昼食懇談会で旧交を深め、石切神社を散策して生駒山麓の風情を満喫しました。

29 年度支部事業では、平成 30 年 3 月に恒例の関西大学・関西学院大学・甲南大学・近畿大学の支部同窓会とのゴルフ交流戦も予定しているところでございます。幹事 横山種機(45 回)

姫路支部

総勢 36 名がつどい絆を深める



平成 29 年度姫路支部総会は、10 月 28 日(土)午後 6 時より姫路キャスルグランヴィリオホテルにて 36 名の参加者で開催いたしました。来賓として大学より経済学部長の小川教授、大樟会より竹中事務局参与、天野常務理事にご出席いただき、最近の大学の状況や同窓会活動についてご報告いただきました。

平成 29 年の受験者数をはじめ 2 万人を超えたこと、同窓会の給付型奨学金制度の実施、学生の就職支援に熱心な大学として全国 2 位の評価を得たこと等々大変嬉しい報告がありました。

その後、懇親会に入り、和気あいあいとした自己紹介などを通じて大いに親睦を図ることができました。そして全員で学歌、逍遥歌を合唱し、旧交を温めあった時間は瞬間に過ぎ、来年度の再会を誓い合いながら一本締めで散会いたしました。

最後になりましたが、今回参加されなかった同窓生の皆様、新たな出会いや絆、ビジネスチャンスなどを求めて、是非この支部総会へ参加されますことを期待しております。支部長 上野隆弘(40 回)

淡路島支部

今回は淡路市富島で開催



平成29年9月30日(土)、眼下に播磨灘が開け、対岸に加古川、姫路が遠望できる「かんぽの宿淡路島」において、第27回支部総会が31名の出席のもと、盛大に開催しました。

赤松支部長の挨拶のあと、橋本浩二大学事務局長、田中伸治大樟会常務理事からご祝辞ならびに大学の近況報告をいただいた後、議案審議に入りました。その後、すべての議案について承認をいただき無事終了。

恒例の勉強会では、淡路市教育委員会の伊藤宏幸部長をお招きし、日本最古の出土品とされる「松帆銅鐸」にまつわる講演会を、格調高く開催いたしました。熱心に聴講の後、記念写真、懇親会。乾杯のご発声を、ご来賓の佐藤武司前理事長からいただき、宴たけなわの中、大樟会旗のもと円陣を組み、全員で学歌・逍遥歌の大合唱。盛会のうちに閉会となりました。 事務局長 榎本輝夫(47回)

岡山支部

総勢63名で大盛會に



平成29年7月8日(土)、平成29年度支部総会を岡山プラザホテルにて開催いたしました。大学から草福人事部長、黒正洋史教学・国際部長、大樟会本部から田中常務理事、津山支部から前田支部長、京都から黒正明評議員、さらに大樟会から山内さん、吉仲さんが大阪から駆けつけてくださり、総勢63名という大盛會になりました。特に今回は女性会員を含む14名の方が初めて参加してくださいました。

総会では大学の現状と将来についての説明をお聞きして、前年度の決算報告書および今年度の予算、さらに平成30年度の総会を7月7日(土)に開催とすることが承認されました。

その後第2部の懇親会へと移りました。初めて参加してくれた同窓生の自己紹介があり「このように楽しい会なら来年も参加したい」という声をみなさんからいただきました。今回は24回卒の大先輩から今年卒業した83回卒の若手まで幅広い人材が集まりました。初めて会ったにもかかわらず、おなじ大阪経済大学出身の仲間同士、あっという間に親しくなれ、長年の友人のようになれました。

来年の総会は七夕祭りの日です。今回来られなかった皆さん、ぜひ来年お会いしましょう。

支部長 松永清彦(41回)

島根支部

島根支部再興!!



平成29年11月25日(土)、14年ぶりに支部総会をホテル白鳥(松江市)にて開催いたしました。大学から横山財務部長、大樟会本部から田村大樟会会長、石橋組織部長、竹中事務局参与、廣野監事、鳥取支部から西山前支部長、本庄副支部長が駆けつけてくださり、総勢24名で島根支部再興を果たすことができました。

総会では大学の現状と将来についての説明をお聞きし、母校の躍進に頼もしさを感じたものです。その後議事に入り、島根支部規約案、役員案等が承認されました。写真撮影の後、第2部の懇親会は、田村会長の乾杯の発声と同時にあちこちで話が盛り上がる中、母校のDVDを拝見し、卒業以来訪問する機会のない支部の皆さんの中には近代化した校舎や女子学生の多さ等、今昔の違いにしばし感嘆しておられました。

今回は29回卒の大先輩から82回卒の若手まで幅広い人材が県内外各地から集まりました。宴半ばでは島根支部参加者の自己紹介、思い出多き学生時代のエピソードや近況報告などでさらに交流が深まり、初対面にもかかわらず大阪経済大学出身の仲間同士、年齢差を超えあつという間に親しくなれました。最後に在学時にグリークラブに所属していた泉氏(40回)の指揮のもとに学歌を斉唱し、来年の再会を約束し会を終えました。 支部長 山本篤治(42回)

奈良支部

未来の母校の学生のために



本年の奈良支部総会は、平成29年10月15日(日)午前11時00分より、ホテル日航奈良で開かれました。大学から草福弘樹人事部長、同窓会本部から山本隆造常務理事、堺支部から去年に引き続き堀本修支部長のご出席をいただきました。

今年の総会および懇親会は、去年に引き続き洗練された一流ホテルに、昨年より多い36名の同窓生が集まりました。私も卒業以来、毎年参加、今回で7回目となります。皆さまも、一年に一度の同窓会を楽しみにされており、わきあいあいとした同窓会でした。

総会は、新支部長の中嶋肇様による挨拶でスタートしました。続いて草福人事部長より、「未来に向けて進化する最新の本学の状況」と題し、1時間の講演をしていただきました。講演会後、同窓生の皆さまは、「卒業した大学を、もっともっと関西へ、もっともっと日本へ発信していただきたい」という熱い想いを語り合いました。また、より良い環境の下で勉強でき、良い進路の実現をしたという、現役生からのお話を聞けたことは同窓生としても嬉しいことでした。

是非、大学と同窓生で力を合わせて未来の大阪経済大学の学生ののために何かお手伝いできればと思います。 保田まち子(77回)

津山支部

新支部長となり初の総会を開催



平成 29 年 8 月 26 日(土)、真庭リバーサイドホテルにて、大学より齊藤美彦経済学部教授、大樟会より川口常務理事、また岡山支部より寺尾副支部長のご来賓を始め、会員 18 名の参加で、支部長交代後初めての支部総会を開催することができました。

今回初めての試みとして、齊藤教授に、総会に先立って講演をしていただきました。みな卒業後久々に大学での講義を受けているようで、熱心に先生のお話を聞き、各々の懐かしい大学時代を思いだされたのではないのでしょうか。齊藤教授には大変お世話になりました。

その後、総会では齊藤教授、川口常務理事より大学・同窓会の近況等のお話しをしていただいた後、懇親会に移り、乾杯の後全員自己紹介を兼ねて近況報告をし、和気あいあい、飲んで食べて最後に学歌を斉唱して閉会しました。

二次会は、ほぼ全員参加で、カラオケで大いに盛り上がりました。また来年も多くのみなさんの参加を期待しています。

支部長 前田基美(46回)

備後支部

第12回総会を開催



快晴に恵まれた平成 29 年 11 月 12 日(日)午前 11 時より、備後支部第 12 回総会を福山駅前『福山ニューキャッスルホテル』16 階ふじの間で開催しました。

当支部総会 12 回のうち 9 回がこの会場です。初代支部長故守屋毅氏の助言で、この会場を使用しております。ここから JR 福山駅を挟み約 300m 北方に福山城の天守閣があり、天守閣より高い位置にこの会場があります。天気の良い日は、まるで一幅の絵画を見るようです。

支部長の挨拶のあと、来賓の同窓会事務局参与竹中亨氏(32 回卒)、情報社会学部長草薙信照教授より、各々同窓会、学園の近況についてご説明をいただきました。その後宴会に移り、出席者全員より自己紹介、近況報告をしていただきました。今回の出席者は前回より 2 名多く、23 名でした。初参加は住田実男氏(37 回卒)で、体調を崩していた前副支部長の畠輝雄氏も持病を押して参加してくれました。最後に岡崎副支部長の挨拶をもって閉会いたしました。

閉会后、市内鞆町に居住する岡崎正広君、外野美代子さん両氏と私が、来賓の方々を古い町並みの残る鞆の町を案内いたしました。

支部長 小池勝草(32回)

山口支部

はじめての人も、久しぶりの人も



平成 29 年 9 月 9 日(土)、支部総会を新山口駅前の山口グランドホテルで開きました。大学からは藤本理事長、崎田事務局長室顧問、大樟会本部からは内田事務局長をお迎えしました。

新たに大学理事長に就任された藤本二郎氏からは少子高齢化社会のなかで大学経営が難しくなっている、特に附属高校を有しない本学は大学の継続、発展のためには知名度を上げることが重要であり、そのために教育の充実、スポーツによる人づくり、こまめな高校訪問、就職先訪問などの広告・PR 活動の強化などの戦略が披露されました。大学の経営に私たちも関心を寄せており、なにより卒業生は各地域の広告塔です。高校訪問や企業訪問などできる限りの協力をしていきたいと思います。

今年の総会は昨年より参加者が増え、初参加も 3 名ありました。

支部長 藤原俊明(37回)

徳島支部

第4回講演会に平山徳島市副市長(44回)



平成 28 年度徳島支部総会は平成 29 年 1 月 21 日(土)午後 6 時 30 分からホテルクレメント徳島で開催されました。

榎本孝支部長、大阪経済大学総務部長 草福弘樹氏、大樟会常務理事 眞鍋一美氏にご挨拶をいただいた後、本年度事業報告では、平成 28 年 7 月 16 日(土)にバーベキュー大会を榎本支部長宅で 13 名が参加して開催、10 月 30 日(日)には母校で行われたホームカミングデーには 9 名が参加しました。恒例のゴルフコンペは、11 月 12 日(土)、徳島 CC 月の宮コースで 11 名が参加して実施、尾上通孝氏(66 回)が優勝されたことが報告されました。また、28 年度事業として、第 4 回講演会を総会の 1 時間前に実施。徳島市副市長平山元氏(44 回)に「市政方針について」の講演をしていただきました。

その後、懇親会へと進み、近況報告、ビンゴゲーム等行い、各自お酒を酌み交わしながら親交を深め、来年の再会を誓い合いました。榎本支部長の強力な指導力のもと同窓会のすそ野は確実に広がっています。今回も 33 名の参加予定のところ、インフルエンザ等により 29 名になりましたが、目標の総会参加者 40 名超えもう目前で、事務局としては十分に手ごたえを感じています。

事務局次長 川真田博敏(42回)

香川支部

熱気溢れる支部総会



平成29年6月25日(日)、高松の「ホテル・ルポール讃岐」において香川支部総会が開催されました。

来賓として大学側より山本教務委員長他5名、大樟会本部より上田常務理事、そして愛媛支部より宮崎事務局長をお迎えし、総勢34名というここ数年では参加者の少ない支部総会となりました。

総会では先ず初めに、今年4月に急逝された愛媛支部長の眞鍋一美さんのご遺徳を偲びながら全員での黙祷から始まりました。「教職の大経大」を実現された眞鍋さんのご功績はいつまでも輝き続けることでしょう。

続いて、地元高松の県営球場において8月21日から始まる「全日本大学準硬式野球選手権大会」についての説明があり、母校の絶大なる応援を出席者に依頼(結果はベスト4まで進出。準決勝で中央大学に惜敗)。なお、わが支部から清涼飲料水を差し入れさせていただき、球場にて大声援を送らせてもらいました。

懇親会では愛媛支部・宮崎さんの見事なクラシックギターの演奏、また「のどに自信のある支部会員」によるカラオケなど、大盛況のうちにお開きとなりました。

今回の出席者の落ち込みを反省材料として、支部創立70周年を迎える2021年迄には70名の結集を目標にしたいと考えています。

支部長 鈴木澄夫(36回)

愛媛支部

新たなスタート!



第34回愛媛支部総会を平成29年7月15日(土)に今治国際ホテルにて開催いたしました。今治出身の池内勝利監事の開会の辞に続いて、4月に突然他界された眞鍋一美支部長のご冥福を祈り黙祷を捧げました。松山出身の徳永光俊学長はじめ6名の来賓のご臨席を賜り、愛媛支部より27名、合計33名の参加となりました。

尾後正樹副支部長の挨拶、徳永学長はじめご来賓のご祝辞を賜り、支部報告・会計報告の後、二宮克郎新支部長以下の新役員が承認されました。愛媛支部発足以来、何と34年間、事務局長として尽力された名調子の司会ぶりでも有名な宮崎望事務局長が退任されました。本当に長い間お世話になりました。

懇親会では、全員から自己紹介や近況報告があり、二宮新支部長からは「愛媛支部会員700名の交流をもっと深め、総会出席者を今の2~3倍に増やしたい」と力強い宣言をいただきました。新役員共々、愛媛支部を今後ともよろしくお願いいたします。

事務局長 安藤志朗(48回)

高知支部

来年も多数の参加を楽しみに



平成29年10月14日(土)午後6時30分より、郷土料理「土佐ノ國二十四万石」にて高知支部総会を開催しました。

従来、支部総会は11月の第2あるいは第3土曜日に行っていましたが、平尾幹事が支店長を務める高知銀行帯屋町支店の新築オープンが12月にあることもあり、10月の本日の開催となりました。出席者は来賓を含め18名でした。

去年まで前愛媛支部長の眞鍋さんにも出席していただいておりますが、この4月急逝されました、本当に熱心な方で、教育研究会など大学に関して大きな熱意を持っておられた方でした。ご冥福をお祈りいたします。

本学からは、小川雅弘経済学部長、大樟会からは上田敬二郎常務理事に出席いただきまして、今後の大学の進むべき方向、大樟会の奨学金制度等々のお話をいただきました。続いて朝倉南郵便局長の藤井さんの乾杯の音頭にて宴会が始まり、今回から初参加の岡田真路さん、濱岡 洋さんも大いに楽しんでくれました。

宴席の中締めは、学歌を斉唱、そして恒例になりました井上さんの見事なエールで終了しました。来年も多数の同窓生の参加を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。 支部長 南 宏道(52回)

北九州支部

20歳台の同窓生2名の参加が叶う



肌寒く感じる季節を迎えた平成29年11月11日(土)、北九州支部大樟会を開催しました。

大学から崎田常務理事、大樟会から角脇常務理事がご参加され、大学および大樟会の状況を報告いただきました。また大分支部長はじめ、熊本支部からもご参加いただき交流を深めました。数年間定着している同窓生河野様が率いるバンド演奏で会場を盛り上げ、学歌、逍遙歌はCDではなく生演奏をバックに歌い、盛況のうちに終了しました。

少人数での総会の中、毎回出席いただく同窓生の方々に感謝しております。またうれしいことに、今回は81回卒二宮君、79回卒長谷川君と、20歳台の若者の参加が叶ったことで、総会に新しい風が吹きました。20歳台から80歳以上と年齢層が広い大樟会です。先輩、後輩が交流し、学生時代を語り合い、刺激を受け、楽しいと感じていただけるよう取り組んでいきます。 支部長 植田達三(52回)

大分支部

2名が初参加、支部活性化の兆し



平成29年6月24日(土)、大分支部総会を大分センチュリーホテルにて開催いたしました。

7名の大分支部の会員と熊本新支部長の坂本様、前支部長の濱様、北九州支部から支部長の植田様と河野様、西村様、長谷川様、大樟会から小林副会長、大学から理事・財務部長の横山様にご出席いただきました。また、今回新しく43回卒の岡尾佳昭様と69回卒の工藤雅貴様が参加してくれました。2人とも知人の紹介ということで今後の支部活性化の可能性を感じました。大樟会の小林様、大学の横山様からは大学関係の現状の説明があり、37回卒の黄梅雄さんの近況報告などたいへん含蓄のあるお話で大いに盛り上がり、再会を約して閉会しました。

支部長 寒田 陽(40回)

熊本支部

支部長交代後初の総会を開催



平成29年8月5日(土)、熊本県第二の都市「八代市」において熊本支部総会を開催しました。支部会員9名、大樟会から小林副会長と角脇常務理事、大学から山下総務部長、また大分支部から寒田支部長と阿南氏、西村氏の3名、北九州支部から植田支部長の出席で総数16名での開催でした。

当支部は平成2年に全国36番目の支部として設立し、本年は32回目の支部総会となります。設立から約30年間、リーダーとしてご尽力いただいた濱支部長が、残念ですが退任の意思が固く、29年度から坂本(39回卒)がお引き受けすることとなりました。濱支部長の後任として、及びませんが努めてまいりたいと存じますので、皆様、これまで同様よろしくお願いいたします。

熊本は昨年4月の熊本地震から1年4カ月を経過し、復興途上にあります。今回の支部総会において、震源地の「益城町」在住者で甚大な被災を受けた吉瀬氏(42回卒)の初参加がありました。今回は出席者が停滞する中で、誠に喜ばしく「絆」を感じる支部総会でした。

支部長 坂本純夫(39回)

同窓会ホームページもご覧ください！

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、ホームページを作成しています。

年間行事予定などの掲示のほか、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。ご活用いただき、ご意見ご感想をお寄せください。

ホームページアドレス <http://www.osaka-ue-denko.com/>

宮崎支部

支部長の交代と今後



平成29年11月18日(土)、第15回宮崎支部総会をホテルメリージュ宮崎にて開催いたしました。参加者は、来賓を含め13名でした。開会に先立ちまして、物故者への黙祷を行い、次に福田支部長の挨拶の後、議案の審議に入りました。いずれも異議なく承認され、無事終了いたしました。今年は任期満了に伴う役員改選を行いました。10年間の長きにわたり活躍されてきました福田支部長が退任され、私(堀内)が支部長を拝命いたしました。

引き続き、ご来賓の大学の崎田常務理事と大樟会の小林副会長の両氏より、学園の現状と将来のビジョンについてのご報告をいただきました。

この後、記念撮影と懇親会となりましたが、和やかな雰囲気の中で、盛会のうちに閉会となりました。

今後の活動としましては、地方支部としての多くの課題に取り組むと同時に、少子高齢化の流れの中で ①支部組織の強化・充実を図るべく工夫をしてゆく ②宮崎から母校への志願者を増やすためのサポートに努めたいと思います。

新役員一同で、今後、更なる発展のために活動してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部長 堀内健一(35回)

南九州支部

島津斉彬公を祭る照国神社前で



幕末西洋の情勢に通じ西郷隆盛を取りたてた薩摩の名君を祭る神社前吹上荘で、平成29年11月11日(土)、支部総会を開催することができました。本部から山本常務理事、大学から橋本事務局長を迎え、大学および同窓会の現状に耳を傾け、参加者全員の歓談に時はたちまち過ぎ、今年もまた意義ある会合となりました。

37回卒の山本常務理事と同期が2名もいて、楽しくかつ大学の将来と支部の行く末への建設的な意見の交換もありました。指宿の前原君が、急逝した弟さんの遺志を継ぐために2月の市議選への立候補表明等があり、山沢先輩の同君に対する応援の覚悟等を知り、同窓の絆を更に感じた次第です。初参加の笹さんの経験談や67歳で単独英国留学1年に挑戦した前園博昭君の次なる物語で3時間が消えました。

少子化の波を乗り切れる大学か？沈没の大学に並べられるか？昭和と高商を知る人がいなくなりつつある今日、地方からの学生に魅力を伝達できるか？大経大の行手は、同窓生諸氏の双肩にかかっているのです。頑張れ大経大！！

支部長 前園博隆(34回)

部 会

大樟春秋会(西部)

矢倉会長の続投を了承



大樟春秋会(西部)総会は、平成29年5月30日(火)午後6時から、大阪新阪急ホテルにおいて会員9名、来賓3名、大樟会から4名が出席して開催されました。

矢倉英一会長(㈱イーアイティー社長)の開会の挨拶の後、大樟会の竹中亨事務局参与から会計報告があり、監査報告は監事が欠席のため、矢倉会長が監査報告を代読されました。また、事業報告は総会資料に基づき志水利通春秋会事務局長が行われました。

また、今回は役員改選期に当たっており、大河内徹心副会長(㈱京都西川相談役)から引き続き矢倉氏に会長をお願いしたいとの提案があり、矢倉氏は1年間という条件付きで了承されました。同時に、副会長には、大河内副会長と高岡伸夫副会長(㈱タカショー社長)ほかの留任も決まりました。

その後、社労士大樟会久保太郎会長の「これからの働き方改革」をテーマにした懇切丁寧な講演があり、大学の佐藤理事長、徳永学長他からの大学の近況報告が行われました。懇親会は、竹内通弘洲本市長の発声で乾杯、和やかな雰囲気の中、午後9時散会しました。

大樟会事務局長 内田敏雄(39回)

池田泉州銀行大樟会

新会員12名を迎え、さらに勢いを増す大樟会



平成29年度池田泉州銀行大樟会総会を7月24日(月)、大阪新阪急ホテルにて開催いたしました。本学大樟会から田村会長、大学から山下総務部長、当行藤田頭取のご来賓を賜り、OB会員も含め総勢89名(会員数151名)の参加となりました。

総会は陸野会長(富田支店長・57回卒)の挨拶の後、新役員の指名があり、新体制が発足。続いてご来賓の方々よりご祝辞を頂戴し、大学の近況や大樟会の動向について拝聴しました。

能多新副会長(能勢支店長・57回卒)の音頭で乾杯の後、懇親会となり、世代を超えた同窓生の各職場での奮闘ぶりに相互に刺激を受け、交流を深めました。途中、駆けつけてくださった藤田頭取からも激励のお言葉をいただきました。

その後、過去最高となる採用人数となった新会員紹介では、東さん(上新庄支店長・54回卒)が名司会ぶりを発揮、職場での失敗談、恋愛観、一芸披露など個々の特性を引き出し、会場は大いに沸き立ちました。

さらに豪華賞品が当たる抽選会でも盛況を呈する中、名残り惜しさを感じつつ、山中新副会長(和泉支店長・58回卒)による閉会挨拶でお開きとなり、今年度総会も盛会裏に終えました。

事務局長 田中晃正(59回)

大樟体育会

「マナーの大経大」にふさわしい学生を育てることはOBの責務



第17回大樟体育会総会は、平成29年6月3日(土)午前11時から、本学E館7階会議室で開催されました。当日の出席クラブ数は34クラブ中の過半数を超える25クラブで、総会は成立しました。出席者数は56名でした。

山本隆造大樟体育会会長は、開会に当たって「同窓会が80周年を迎え、各クラブも50年、60年の周年事業を行っております。こうして、永きにわたって活動を続けることができますのも、諸先輩のお陰であると感謝しております。体育会各クラブのレベルも徐々に上がりつつあります。これをもう一歩進めて、西日本リーグで1部に入ることが第一であり、そして優勝する。さらに西日本一部から全日本で優勝することです。皆さん方の考え方をバージョンアップしていただきたい。」と挨拶。

続いて、福井孝明人間科学部長は「日頃から学生のスポーツ活動にご尽力いただきまして、ありがとうございます。お陰様で、その成果がどんどん出てきております。サッカー部は1部に昇格しましたし、バスケット部も1部で頑張ってくれています。また、一般学生はなかなか挨拶してくれないのですが、体育会の学生はよく挨拶してくれます。これも、皆さんのご指導の賜物です。」と感謝の言葉を述べられた。

さらに田村正晴大樟会会長は、「日頃、皆さんが手弁当で学生指導にご尽力いただいていることに敬意を表します。皆さんは、大阪経済大学のクラブ活動の指導者であります。今こそクラブ活動の指導者の位置づけを考えていくべき時期ではないでしょうか。少しずつでも、そしてしっかりと指導者にそれなりの処遇をすることを考えるべきだと同窓会として考えているところであります。我々、同窓会としてできることがあれば、お手伝いしたいと思っています」とエールを送りました。

来賓の挨拶のあと、山本会長を議長に選出し、総会の議案の審議に入り、本年度の活動報告、決算報告、次年度の活動計画、収支予算案が順次上程され、審議の結果、いずれも原案どおり承認されました。続いて、優秀指導者、クラブ、選手に対する表彰式が行われ、山本会長からそれぞれ表彰状が授与されました。

この後、懇親会に移り、指導者、現役学生の歓談が続くなか、午後3時過ぎにお開きになりました。大樟会事務局長 内田敏雄(39回)

日立大樟会

新理事長をお迎えして



平成 29 年 9 月 16 日(土)、第 31 回日立大樟会を昨年と同様、東京品川の会社施設・高輪和彊館で、会員 12 名ご来賓 4 名の計 16 名で開催しました。

当日は台風 18 号の影響を心配しましたが、無事に開催できました。

学校からは、ご来賓として藤本新理事長と徳永学長、大樟会からは田村会長と角脇常務理事にご出席いただきました。席上、まず藤本新理事長からは 7 月に就任し、早速近隣大学や多くの卒業生がお世話になっている企業に精力的にご挨拶廻りをされていることや、今後の学校経営についての所信表明をお伺いいたしました。また、徳永学長からは、入試志願者数が堅調に伸びていることや卒業率の推移などについて、田村会長や角脇常務理事からは大樟会の現状と今後の組織化、さらに大樟会としての奨学金制度のことなどの説明をいただきました。

その後、各自近況報告などと共に、学校に対して留学経験のある学生の育成などをお願いして、最後は恒例になっている元・応援団の小坂さんによるエールで学歌と逍遙歌を斉唱してお開きにいたしました。

会長 山下徹男(37 回)

大樟樟政会

党派を越えて懇親を深める



大樟樟政会は、政治に携わる本学同窓生の交流会ですが、大樟会理事会で大樟会の 7 番目の部会として正式に承認されて初めての総会が、平成 29 年 7 月 2 日(日)正午から大阪新阪急ホテルで開催されました。出席者は 15 名でした。

西恵司大樟樟政会会長(大阪府議会議員)の開会の挨拶の後、進木伸次郎大樟会副会長からお祝いの言葉が述べられました。その後、志水樟政会事務局長から会務報告と樟政会会員の選挙結果報告もありました。また、樟政会会員は前年に会費を支払った者とするなど、会則の見直しをしたいとの報告もありました。

続いて、吉野忠男経営学部教授の講演「地方創成について」が行われ、過度に進む東京一局集中とその是正等について解説していただきました。

その後、懇親会に入り、各人の所属党派の枠を越えて、各地域の政治情勢などの情報交換を行い、懇親を深めました。

大樟会事務局長 内田敏雄(39 回)

社労士大樟会

社労士大樟会第 10 回定期総会



平成 29 年 7 月 29 日(土)、社労士大樟会第 10 回定期総会を大学の 80 周年記念ホールで開催いたしました。当日は多くのご来賓、そして広島県や岡山県、高知県からも会員の方々に駆けつけていただき、大変充実した総会を開催することができました。

総会には、大樟会本部より田村正晴会長、竹中亨参与、内田敏雄事務局長、税理士大樟会より檜垣典仁会長・山本肇志専務理事のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

総会に先立ち、社労士大樟会久保太郎会長より、これまで幾多のご支援ご尽力を賜った関係各位への御礼と、10 周年という節目に、さらなる同窓社労士の参画を得て会員数の増加の弾みとしていきたいという挨拶がありました。

総会では会則にのっとり議長に久保会長が就き、議事録署名人に松永清彦氏、古池浩二郎氏、山内淳子氏を指名して審議を開始いたしました。そして、各議案が審議され、満場一致で承認されました。

引き続き行われた記念講演では、大阪経済大学経営学部准教授・須佐淳司先生より「インバウンド時代のサービス経営～地域に根差した中小企業～」と題してご講義いただきました。「地域の中小企業がインバウンドを活用した好事例をご紹介いただき、サービス分野のインバウンド市場創造の形成プロセス推進主体は中小企業の経営者である」という大変示唆に富んだお話を頂戴いたしました。

講演終了後に大樟会内田事務局長より、大学の奨学金制度と大樟会の支援の内容が紹介され、大樟会会員のさらなる協力の要望がありました。

引き続き設立 10 周年記念祝賀会が開催されました。

久保会長からの開会の挨拶に続き、社労士大樟会設立 10 周年記念に大学図書館へ 115 冊の図書を寄贈したことを記した目録を柏木正図書館長へ贈呈させていただきました。

次いで、佐藤武司前理事長、田村正晴大樟会会長から丁寧なご挨拶を頂戴し、檜垣税理士大樟会会長の高らかな乾杯のご発声でスタートです。

当会の飯田政信理事からは旭日双光章受章のご挨拶がありました。

時の経つのも忘れる和やかな祝賀会で、締めくくりには、飯田理事による中締めが行われ、学歌、逍遙歌が斉唱される中、お開きを迎えました。

社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方はご連絡ください。事務局長 西平綾太(48 回)

久保太郎社労士大樟会会長は、10 月 29 日、病気のため急逝されました。ご冥福をお祈りします。

税理士大樟会

広報誌第40号記念号発行決まる



平成29年7月5日(水)午後5時10分より、大阪新阪急ホテル2階星の間で会員約30名出席のもと、大樟会会長の田村正晴様、社労士大樟会会長の久保太郎様をはじめとする6名のご来賓の方々に出席していただき、第26回定期総会を開催しました。今回は少し豪華な雰囲気の中、平岡彰信総務部長の司会で行われました。

定期総会開会に先立ち、死亡退会された山本幸一先生のご冥福をお祈りし、黙とうをささげました。

定期総会は檜垣典仁会長が開会宣言を行い、議事進行は司会一任で三木泰前会長が任命されて議事に入りました。

第1号議案は、平成28年度の事業報告、収支計算書の報告、監査報告が行われ、意義なく承認されました。第2号議案は、平成29年度の事業計画、収支予算を説明し、意義なく承認されました。この決議で広報誌「税理士大樟会」第40号記念号は、中開2面をカラー掲載することが決まりました。最後に、中坪健治総務副会長が閉会のあいさつを述べられました。

議事終了後、田村正晴大樟会会長のあいさつでは、先日、部会である大樟樟政会が発足し、大樟会傘下の団体は54支部、7部会、2職域支部となったことを聞きました。ともに発展できればと思います。
(近畿会上京支部) 加茂敏充(68回)

大樟教育研究会

平成29年度 第17回大樟教育研究会 報告
経大出身者としての誇りを自覚



平成29年11月11日(土)午後、今年度の本会全体会・分科会を大阪経済大学E館にて開催いたしました。同窓生・学生諸君合わせて60名を超える参加者でした。

今年度の全体会では、「本学の教育目標・全学3ポリシーと今後の教育改革」と題して、本学学長徳永光俊先生に、ご講演をお願いいたしました。同窓生にとりましては、母校の過去・現在・未来の姿についての理解と、経大出身者としての誇りを自覚するための、貴重な研修の時間となりました。

また、教員採用試験現役合格学生の貴重な体験談を聞き、学生の皆さんにとっても、貴重な学びの時間になったのではないかと、思っております。分科会では、小・中・高・支援学校それぞれに、同窓生の教育実践報告と、教職を希望する学生達との質疑応答等に、充実した時間を過ごすことができました。今年度は分科会後に再び全体会をもち、各分科会の内容を報告しあう時間を設けました。

懇親会では、大樟会事務局参与 竹中亨氏のリードにより全員で歌った学歌も、良い思い出となりました。

今年度も、学長徳永先生をはじめ、大学教職員の方々、田村大樟会会長様、同窓会事務局の皆様のご支援・ご指導に、感謝申し上げます。
会長 西村幸雄(43回)

エーアイティーはお客様に最適なサービスを
デザインする総合物流のパイオニアです。



国際物流をデザインするエーアイティー



MIT



株式会社エーアイティー

本 社 大阪市中央区本町二丁目1番6号 Tel.06-6260-3450 FAX 06-6260-3460

<国内拠点> 東京支社・名古屋営業所・福岡営業所・成田空港営業所

<海外拠点> 上海・大連・青島・蘇州・南通・寧波・深圳・天津・厦門・香港・台湾・バンコク・ホーチミン・ロサンゼルス

澱江27期会

人間は120歳まで生きられる!?



澱江27期会は、平成29年4月21日(金)、大阪西梅田のホテルモントレ大阪で開催されました。例年は、夕刻からの開催ですが、今回は、帰りが遅くなるからということで、午前11時30分の開宴となりました。今回の出席者は、直前に体調不良の方が相次ぎ、前回よりも2名少ない6名となり、少々寂しい同期会となりました。

司会進行は例年どおり角田喬計さん(阪南市)。鴨田博司さん(堺市)の開会の挨拶の後、大樟会事務局から同窓会の近況報告がありました。今年度から大学の一部の奨学金制度を大樟会が支援することや、来年度から18歳人口が減り始めることなどが報告されました。その後、土屋徳治さん(阪南市)の乾杯の発声で懇親会に入りましたが、大学間の生き残り競争が激しくなるなか、他校を例に挙げて名物教授の招聘など大学の経営に関わる難しい話題から、人間は120歳まで生きることができるなど、来年傘寿(80歳)を迎える方々らしい話まで、大いに盛り上がりました。

今回の澱江27期会は、平成30年4月20日(金)とすることで、意見が一致、角本喜八郎さん(池田市)の閉会の挨拶で、1年後の再会を約して散会しました。

大樟会事務局長 内田敏雄(39回)

柔道部OB会

柔道部OB会総会並びに現役学生の歓送迎会

平成29年3月11日(土)午前11時30分から、大阪経済大学E館7階第1・2会議室においてOB会員20名の出席のもと、天野事務局長(46回卒)から開会宣言を行い、物語者に対し哀悼の意をささげた後、平成29年度総会の議事を審議・報告をしました。

議事では、28年度事業報告、会計報告、29年度事業案、予算案について審議をした結果、いずれも異議なく承認されました。報告事項では、前週の3月5日(日)に開催された「第13回KOBEL自他共栄CUP学生大会」5人制柔道団体戦において、甲南大学を破り初優勝したことなどの報告があり、午後0時20分に総会は終了しました。

OB会総会終了後、大樟ラウンジにおいて大橋範雄顧問(経済学部教授)、西岡弘名(講道館九段)ご臨席のもと現役学生20名とOBが集い、学生の歓送迎会を行いました。

歓送迎会では、植村亮介OB会会長、大橋範雄顧問、西岡弘名(講道館九段)ご臨席のもと、平成28年度をもって卒業する4名に対し、社会における活躍・健闘を祈念します、との言葉をいただいた。一方、平成29年4月から入学予定している3名の新入生に対して、学生生活を謳歌するよう日々努力してほしい、との歓迎の言葉をいただき、遠方の高知県から出席いただいた松村烹先輩(昭和30年 22回卒)が乾杯の音頭をとり、歓談に移りました。

歓談後、卒業してゆく学生からは、社会に出て今まで培ってきた経大魂を発揮して邁進する旨が述べられました。また、新入生からは、授業に積極的に出席し、単位をしっかりと取得し、柔道の練習も一生懸命行います、との抱負が述べられました。

最後に、OB会を代表して上地賛平先輩(32回)から、大学・柔道部の発展と出席者全員のご多幸を祈念するとの言葉があった後、万歳三唱で閉会をしました。

事務局長 天野康弘(46回)

23期生会

卒業60周年を迎え、益々元気!!



平成29年2月19日(日)、23期生会を開催することができました。今年は私たちが大阪経済大学卒業60年の記念すべき年でもありました。当日は大阪経済大学より財務部長の橋本浩二様と、大樟会事務局長の竹中 亨様のご出席を得まして、大変嬉しく思っています。ありがとうございました。

23期生が19名と来賓2名の21名で開催できました。久しぶりに会うことができ、皆元気なので嬉しく思いました。皆ウォーキングや、その他の体を動かせることをやっているとのこと。これが元気の源だと思います。楽しく語り合っ、最後に全員で記念写真を撮り、楽しい同期会は終わりました。

来年もまた、元気にお会いしましょう。

幹事 酒井弘光(23回)

硬式野球部OB会

硬式野球部OB会総会開催



平成29年2月18日(土)、ブランド白楽天にて平成29年度のOB総会を開催しました。深谷事務局長の開会宣言と司会で議事に入り、まずOB会員物語者のご冥福を祈り黙祷の後、木岡会長が議長に選出され挨拶。続いて、河野幹事より平成28年度事業報告、内海会計より会計報告、岡崎会計監査より監査報告があり、いずれも出席者全員に承認されました。その後、河野幹事より平成29年度事業計画、内海会計より会計予算案の説明があり、原案通り承認されました。

親睦会は、OB会より三宅護氏に乾杯のご挨拶をいただき開会。初めに野球部部長家本修氏から退任のご挨拶があり、続いて新野球部部長藤原忠毅氏から新任のご挨拶をいただきました。その後、片山主将および山本監督から今シーズンにける熱い思いを語っていただき、リーグ戦優勝に向けて日々猛練習に励んでいるとの報告を受けました。

OB会としてもこの歴史ある硬式野球部のますますの発展と現部への支援体制の強化とOB会員の交流、親睦をより一層深めることを誓い、大場副会長の締めで幕を閉じました。

会長 木岡良郎(36回)

ラグビー部OB会

ラグビー部元監督岡本昌夫名誉教授追想会開催



永年にわたりラグビー部を指導された岡本昌夫先生を偲び、追想会が平成29年4月23日(日)本学E館で開催されました。

式典では来賓、OB関係者が黙祷を行い、ラグビーに生涯を捧げた先生へ感謝の気持ちを新たにしました。長年の功績に敬意を



表し総勢130名が献花した後、懇親会では和やかに先生の思い出話を語り合いました。10年前の「古稀の会」で頂戴した暖簾に「球心生涯」と記されていました。その時「生涯球心」ではと尋ねたところ「球が先に動き、あとで人が動くんや!」と諭され、当時は深い意味とは感じませんでした。歳月が経過してからの実感ですが、ラグビーへの真摯な気持ちがプレーを具現化されることをおっしゃったのではないのでしょうか。

ラグビーを通して人の道をご教授いただいた先生に報いるにはもう一度、関西Aリーグ復帰を実現することです。先生は「経大ラグビー部」をいちばん愛されたお一人だと実感します。

岡本先生に感謝いたしまして、ご冥福をお祈り申し上げます。合掌

会長 廣田英一(38回)

軽音楽部OB会

軽音楽部OB会旅行



平成29年4月23日(日)、24日(月)の両日、恒例のOB会が開催されました。今回も観光バスを貸し切り、新大阪駅を出発し倉敷から岡山に行ってきました。両日とも素晴らしい天候に恵まれ、皆様に楽しんでいただきました。

初日は倉敷の美観地区を巡り、大原美術館を見学しアイビススクエアに宿泊しました。宴会後は外に出てスナックでカラオケを楽しみましたが、皆さん夜が更けるのも忘れ「まあ、よう歌うわ〜」。2日目は「吉備津神社」と「吉備津彦神社」にお参りし、後楽園と岡山城を楽しみました。

今回の参加者は15名でしたが、これから皆さん高齢になられ参加数も減っていくことになるでしょうが、このOB会旅行はぜひ続けていくべきだと思います。昭和45年(36回)卒の私は今年69歳になりましたが、この会も私の年代が最年少となっております。もっと若い方にもぜひ参加していただきたく切に願っております。

今回、都合で来られなかった先輩方も、次回は元気で会いましょう。

秋山正美(36回)

園田ゼミ「樟々真情会」

地域巡回同窓会報告



恒例の「シニア・ゼミ旅行」の今年の幹事は、去年、姫路で挙手して笑顔で立候補した粉川氏です。地元「津山市の散策」を、昭和の横串のゼミの仲間を思い、微に入り細にわたり紹介してくれました。

毎年5月の連休明けの翌週の土・日開催で、今年は13日、14日、四国からの車組と新幹線組が12時に津山駅に集合しました。今回は、皆から「薬屋」との愛称で呼ばれる伊住氏が体調不良で残念ながら不参加になりましたが、いつもの仲間が集合しました。

特に、今回は私自身、小学校の57年振りの学年同窓会の企画が無事6月に開催の運びとなり、2年間の苦勞が報われた記念すべき年の会となりました。開催の後押しをしてくれた「樟々真情会十勇士」の仲間の懐に飛び込める喜びも格別でした。

旅程は、「まなびの鉄道館」見学、「道の駅・久米の里」でのB級グルメ「ホルモン焼うどん」の昼食。「太平記」で後醍醐天皇と桜の幹を削り「天勾踐を空しゅうする莫れ時・・・」の十字の詩を書いて、天皇を慰めたことで有名な作樂神社の児島高德の珍しい陶器の像の前で笑顔で記念写真を撮りました。次に「津山城鶴山ホテル」へ入城、これからがいつもの仲間を飽きさせない笑いの真骨頂の駄洒落が次から次に炸裂。ただし今回は「駄洒落若旦那」の粉川氏が、幹事役でそれどころではなく、あれやこれやと皆の世話に大忙し。その代わりに3代目に経営を任せて楽隠居の金井氏が「大旦那の木築氏」に弟子入り許可されて、彼を凌ぐハッスル振りでした。

そして、今回のサプライズはローカル色漂う出雲街道沿いにひっそり佇む「武蔵湯」、昔ながらの番台のある「銭湯」の貸切入浴。「昭和40年のレトロな雰囲気」に逆戻りの世界」と全員哀愁溢れる入浴を堪能しました。

夕食は新趣向で、貸切カラオケスナックで、今回「おっさんバンド」はお休みで、皆思い切り歌い、特に古株氏が熱唱。最後は、同窓会事務局からいただいたCDで恒例の学歌・逍遙歌で終演しました。

園田教授から教えられた「生産性」を金井氏、「人物金」を信条とする木築氏の経営者両名、青春の夢を断って家業を継ぎ、ナン

バーワンの測量会社に育てて経営する柴崎氏。経大が育てた素晴らしい仲間達は古希を迎えてもまだまだ積極果敢に前向きな話で夜の更けるのも忘れるゼミ旅行となりました。

いまだに続く「シニア園田ゼミ」、毎年誰かが言う「参加して勉強になる会」、津山駅で無事解散の運びとなりました。

いよいよ来年5月12日、13日、一周して私が幹事の番ですが、精一杯仲間のために、「悠久のロマンの探幽・和顔会福のほっこりした奥座敷」での再会を企画する予定です。相田氏が皇居で両陛下から直接お言葉を賜った話、柴崎氏の卒業後、ハワイ留学の話等、盛り沢山の話題も楽しみです。

さて、何時も長文の掲載を同窓会事務局へお願いする次第ですが、これも、「大経大の絆」で、病床にあり参加できない戦友達、熊本地震で苦勞している仲間もあります。時々何処でお知りになられたのか、息子・娘とも経大ですとの連絡や訪問を受けることがあります。利用次第では、わずかかもしれませんが、大経大知名度アップに繋がります。交流の輪が広がっていくと思います。

代表幹事 門永久彦(35回)

学生寮8・9期(\$43-\$44年入寮)および一憩苑同窓会支部

3回目の親睦会は玉造温泉で



平成29年4月16日(日)午後6時から、第3回同窓会を島根県松江市の玉造温泉保性館において開催しました。今回の参加者は8名と少なかったものの、有意義な同窓会で親睦を深めました。親睦会前には、松江城などの市内観光を、翌日には全員で出雲大社や島根ワイナリーに行き、楽しい思い出づくりとなりました。

卒業以来44～45年経過し、何十年来の懸案であった同窓会を平成27年に立ち上げ、今年で3回目となりました。平成30年は4月に大阪市での開催を予定しておりますので奮ってご参加ください。過去の開催場所(いずれも4月)＝第1回目：平成27年

於 岡山市、第2回目：平成28年 於 広島市、第3回目：平成29年 於 松江市事務局：伊藤滋人(38回)寮8期生

TEL/FAX:0852-26-2970

伊藤滋人(38回)



徳永ゼミ「野風草会」

「セブン」で飲んで語って15年



2017年は、ゼミ同窓会「野風草会」を開催しませんでした。ごめんね。ゼミ卒業生の皆さん、講義・ゼミがある時には毎週水曜日6時頃より大学近くの「セブン」で飲んでいますので、是非おこしください。現役生たちと一緒にワイワイガヤガヤ。写真は、MBAめざしてアメリカへ単身で渡り、今は大阪でバスケのコーチをしているK君、難波でバーを起業して今度は大手広告会社に勤めるS君、JR天満駅前で焼鳥屋を経営しているI君。これまで芋焼酎の黒霧島でしたが、ボンベイ・サファイアのジントニックに転向。飲んで語り合えば9時、10時。セブンで飲み始めてもう15年、368本まで来ました。400本をめざしています。このジンは濃度47%。燃えます！酔います！(^^)!

学長 徳永光俊

けば12時を廻っていました。13回生の皆さんはまだ元気です。まだまだ青春は続きそうです。

次の会は、京の連山「山粧う(やまよそおう)」10月下旬。お互い「山粧って」笑顔の再会を…。
赤井尚子(13回)

速記研究部OB会

3年ぶりの元気な顔々



平成29年5月13日(土)午後1時より、3年ぶりに第5回OB総会を本学E館(50周年記念館)7階会議室で開催いたしました。

今回は常連方に初参加の岸本氏(42回)、12年ぶりの遠山氏(45回)が加わり22名の参加となりました(二次会からの参加2名で計24名)。今回の若き幹事堀江氏(57回)の司会で始まり、富永代表幹事の挨拶、富澤氏のまじめなお話のあと乾杯の音頭と続き、しばし歓談。恒例の各年次会(10組)の個々の近況報告と聞き手の野次(?)、合いの手で大盛り上がりとなり、時間の経つのは早く、浜本氏の閉会の辞となりました。

そして柴田氏の忘れかけたエールで、学歌、追遠歌を合唱し、キャンパスでの記念写真に間に合った福田氏も加わり撮影後、キャンパス見学をしてから多田氏の待つ二次会へ移動。さらに2時間親交を温め、まだまだ元気な13人がカラオケへ移動。飲む人、歌う人、ビデオを撮る人、途中で帰る人と様々で、今回の総会での再会を約束して解散となりました。

次回幹事は代表の堀氏(35回)、酒井氏(40回)、参加者をもっと増やさねばと立候補された田中氏(41回)、荻谷氏(42回)、伊藤氏(44回)です。

次回もより多くの参加を期待して、また元気で会いましょう。

事務局長 森脇範之(43回)

35期会

震災後の熊本城をバックに同期会開催

平成29年度の35期会は、昨年来相次いだ地震で大きな被害を受けた熊本の地にて、総勢14名が参加して開催されました。直前に4名が諸事情にて参加できなかったこと



が何と残念でした。熊本到着後、震災により傷ついた熊本城、城彩苑等を散策された同期生諸君の目には、いかに映ったことでしょうか。天守閣の再建には約20年の歳月がかかるということです。肥後のシンボルであり日本三名城の雄姿が再び輝くことを願っております。

今回は徳永学長にもご臨席賜り、厚く御礼申し上げます。京都、大阪、岡山、鹿児島、徳島の各地からも参加いただき、一次会はKKRホテル熊本にて熊本城天守閣をバックにした記念撮影からスタートしました。懇親会での各自の近況報告、学歌斉唱の後、二次会へは歩いて移動。70歳過ぎても元気な同期生のカラオケの歌声が途切れることなく、熊本の夜は更けゆき、ホテルへと帰還。翌日は朝食後解散となりました。

来年度は岡山にて開催予定です。皆様、ご準備をよろしくお願いいたします。遠く徳島より参加の榎本君、日帰りでご苦労様でした。鹿児島より初参加の森君、来年もよろしく。また会える日まで、お互いに身体に気をつけながら過ごしたいものです。また来年。
幹事 濱 忍(35回)

空手道部OB会

平成29年度OB総会開催



OB総会を平成29年4月22日(土)、E館(50周年記念館)7階会議室において開催しました。

OB会は空手道部創部者2名が出席していただきました。初代田中博OB会長、新堂友衛名誉OB会長、鈴木隆夫元OB会長、本学理事長の佐藤武司元OB会長等の出席のもと、午後1時から恒例のOB総会の開会に先立ち、五代目坂本勝宣空手道部OB会長の挨拶では、現役学生諸君の練習に対する責任感、自覚等、部員としての心構え、マナー、学生として資質向上等に関する厳しい指導がありました。

ひとみ会

春の同期会 報告記



春惜月(はるおしみづき)ともいわれる4月下旬の26日。待ち望んでいた同期の集い「ひとみ会」が例年の会場・京都新阪急ホテルで12時集合で幕開け。

遠くは東京、横浜から新幹線で集まる友、家族に車で送ってもらう人、タクシーで駆けつける仲間も。時間前に予定者14名の笑顔が揃い、嬉しい開会に…。

思えば私達13回生は戦後間もない頃の卒業生。あれから71年の年月、お互いの年齢もすでに90歳を過ぎていくというのに、語り合う声も服装の彩りセンスも若く、とても卒寿過ぎの同期会とは思えぬ会場の雰囲気。

楽しく懐かしく和やかに時間は流れ、終ってみれば予定時刻を大きく過ぎており、結局宿泊する人も7名に増え、なおもお部屋でオシャベリしたり、笑ったり…。気がつ



第一号議案は宇陀武司監督・会計担当より報告がなされ、平成28年度活動報告・大会成績および28年度会計報告について承認。

第二号議案は平成29年度活動計画案、会計予算案について承認。

第三号議案はOB会会則の一部見直しの提案がなされ、OB会長の任期、期限に対する提案について承認。宇陀武司監督より、平成28年度の事業活動報告および会計監査報告、28年度活動計画等の報告があり、いずれも異議なく承認。

第四号議案は今後の指導体制は基本と体力作りを中心に各種大会に臨むこと、エネルギーギッシュな若いOB諸先輩を中心に組織を組むことを話し合い、決定することで承認。

今後、宇陀武司監督を核に指導体制を再編、見直し、現役諸君が自ら考えて行動することが肝心であること、全部員が練習時間に参加できる方策、幹部から1回生まで一丸となり、意思疎通を図り、上位入賞を目指すことを確認しました。

総会終了後、懇親会に移り、OBと孫の様な現役が一緒になって歓談し、和やかな楽しいひと時が始まりました。

夏の合宿から全力で強化練習を行ない、二部上位入賞を目指すとして現役の決意を確認し、最後に学歌を全員で斉唱して田中博名誉副会長の閉会の挨拶でお開きとなりました。 幹事長 與世田正雄(34回)

硬式庭球部OB会

OB総会、春季OB戦開催



平成29年5月28日(日)、摂津キャンパス内クラブハウスにてOB総会を開催しました。

平成28年度の会計報告、平成29年度の予算案ならびに現役女子部員の平成29年度リーグ戦への参戦に伴うエントリー費の支援を全員一致で承認、総会を終了しました。

OB総会に先立ち、午前10時からテニスコートに現役部員とOBが全員整列し、新入部員4名を含む現役部員全員の自己紹介が行われました。引き続きOBを代表して、森上巧也氏(80回)が開会宣言を行ってOB戦を開始しました。当日は晴天に恵まれ絶好のテニス日和となり、参加したOBは久

しぶりのラケットの感触を楽しみながら心地よい汗を流しました。

午後からはA組、B組の各予選リーグ1位同士で優勝決定戦を行い、神山効三氏(45回)・小田正太郎氏(58回)組が優勝、惜しくも奥本敏雄氏(24回)・平野賢氏(83回)組が準優勝となりました。

最後に優勝した神山氏から「4部昇格を目指して、練習に励んでほしい。いい報告を楽しみに待っています」と、現役部員への熱いエールがあり、今後も積極的な支援を約束して閉幕しました。

事務局 山本恵一(49回)

経翔会(ワングルOB会)

25名が集まり 賑やかに総会開催



平成29年度経翔会(ワングルOB会)総会は、6月11日(日)に母校J館3階第一会議室を借用し、開催いたしました。出席者25名とほぼ例年どおりの人員となりました。11時30分より開始、会長挨拶のあと総会議事に入りました。

総会レジメに従い昨年7月より今年6月までの経翔会活動報告、会計報告、役員改選、その他と審議が進みました。役員改選につきましては諸事情により現役員がしばらく留任することになりました。その他の事項として、現役部員の活動状況の報告がなされました。

議事終了後、出席者全員で集合写真を撮影、その後13時頃より学生会館食堂を拝借、例年のごとく生協さんのお世話で懇親会を開催。38年卒で四国松山から参加の国西大先輩の乾杯の音頭で約1時間30分歓談。最後は全員で肩を組み、学歌、追遥歌を歌い、次回の再会を誓い、14時30分頃無事終了いたしました。 会長 牧田征雄(31回)

アイススケート部OB会

50年ぶり、OB総会に2名のレジェンドが初参加

平成29年度アイススケート部OB総会は、7月8日(土)～9日(日)恒例の六甲保養荘にて開催されました。出席は18名と例年通りの人員となりました。8日18時30



分、38回卒井田実幹氏の開会宣言で始まり、32回卒吉本雅家会長の一年間を総括した挨拶がなされた後、総会議事に入りました。37回卒梶村貞男会計から昨年度の事業報告(現役およびOB)並びに会計報告があり全会員の承認を得ました。

続いて今期の議題の検討に入りました。

①OB会60周年総会をどうするか ②理事の取り決め ③今期にて総監督を退任した梶村さんの処遇についてです。①については、来年の59周年、再来年の60周年総会は母校で開催、多くの若手に参加してもらうため土・日曜日の昼間に開催する、時期は未定。②については、本人死亡の場合はすべてスケート部として弔電を打ち、その他供花・香典等は個人の配慮にゆだねる。③については、梶村総監督にはOB会副会長に就任していただき、今後のOB会の充実を図る。

懇親会ではいつもの酒盛りで終始盛り上がりました。とくに50年ぶりに、スピードスケートの名選手であった34回卒の長田智保さん、35回卒の横田吉弘さんが初参加、過去の武勇伝を披露され、会場は50年前にタイムスリップしたような雰囲気になりました。

学歌・追遥歌を全員で斉唱した後、29回卒の西岡興治名誉会長の大阪一本締めで今年もめでたきお開きになりました。

スピード部監督 梶原美英(53回)

剣道部OB会

総会終了後に田中先輩の範士号祝賀会開催



平成29年7月9日(日)、毎年恒例となっているOBと現役との合同稽古会、OB総会を本学で開催しました。

合同稽古会では約30名のOB、約30名の現役生が本学体育館に一堂に集い、稽古で汗を流すとともに、先輩方が現役時代を



思い出し、懐かしむ場面もありました。

A館34教室で開催されたOB総会では活動報告、収支報告が行われたほか、平成25年度より監督を務めておられる久野数馬先輩(42回)より、後任の監督人事を進めている旨の報告がありました。

OB総会終了後は田中早苗先輩(36回)が範士号を授与されたことを祝し、難波のホテル一栄において祝賀会が開催されました。剣道部は松尾剛男氏(29回)の全剣連有功賞受賞、岡山県警に所属する岡田交起先輩(72回)の全日本選手権出場、現役生の栗波涼之助君の全日本選手権出場など、先輩方も現役生も大いに活躍しています。今回都合がつかずお会いできなかった先輩方、次回はぜひお会いしましょう。

剣道部副部長 山田雄太

邦楽部OB会

年々増え続ける尺八合奏、今年は8名



平成29年7月22日(土)午後4時より、第8回邦楽部OB会総会および懇親会が例年どおり大学構内のE館(50周年記念館)7F会議室および大樟ラウンジにて盛大に開催されました。今回は現役幹部5名を含む16名の出席ではありましたが、大変有意義な一日を過ごすことができました。

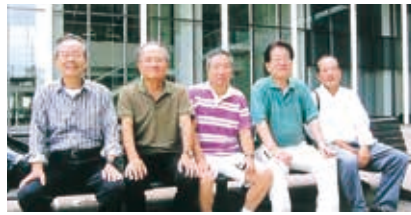
懇親会では例年どおり冒頭に尺八演奏があり、今回は現役幹部2名を含む8名での大合奏となりました。毎年回を重ねる毎に尺八演奏の参加者が増えていることをたいへん喜ばしく思います。乾杯のあと、昨年の第50回定期演奏会「響」にOB 5名がコーポ参加した現役全員参加曲を聴き感動、そのあとOBおよび現役部員出席者全員による近況等々の報告が和やかにありました。

現役第52代幹部からは邦楽部第51回記念定期演奏会「響」の開催案内がありました。☆日時は12月4日(月)で場所は例年通り吹田メイシアター中ホール。

最後は恒例の学歌と逍遙歌を大合唱し、次回第9回OB会での再会を約束し、閉会しました。 会長 尾上眞己(36回)

37期生5人組

十三で同窓会



我ら昭和46年卒業の5人組です。久しぶりに十三に集合し、旧交を温めました。沖健輔(宝塚)、八田庄一(福井支部)、森岡仁憲(横浜)、稲山収一(兵庫県)、西原 章(和歌山県)、働きながらの学業で、それぞれ苦学の4年間でした。それ故、母校を思う気持ちは誰にも負けません。当時は学生運動が激しく、共感しながらも講義が休講となる矛盾にやるせない複雑な思いをした記憶があります。大経大を卒業したことを誇りに、人生を生きてきました。生きる力、生きる自信を得て、働き抜いた苦労人生でした。

十三の翌日46年振りに母校を訪問、その変わりように全員感激、近代的な学舎、都市型の大学に感慨一入(ひとしお)。大樟会事務局の案内で校舎を見学し、名残惜しい学舎をあとにしました。大経大のこれからの益々の発展と、同窓生諸氏のご健勝をお祈りします。 西原 章(37回)

ESS(19回~31回)OB会

バーナン スペンサー先生を偲ぶ会開催



平成29年4月に逝去されましたバーナン スペンサー先生を偲ぶ会が、平成29年5月22日(月)にがんこ宝塚苑で開催されました。ご遺族からは、奥様の絢子様とアメリカから来日中のご長男邦太郎様のご出席を得て、19回卒から31回卒までのESSメンバー 10名が参加しました。

在りし日の数々の思い出話が、矢の如く次から次へと飛び出してきました。

北海道への研修旅行、恒例の英語劇、英語弁論大会、大学対抗英語討論大会等などの活動では、献身的にかつ情熱的に私共をご指導いただいた先生との関わりに全員が半世紀以上の歳月を忘れて、学生時代に戻ったひと時でした。

アメリカ・カリフォルニア在住の村上健さん(24回)より、今回の訃報をお聞きし、同氏が来日して"偲ぶ会"に出席していただくことを前提に日程を計画しましたが、同氏が日本到着後、偲ぶ会開催直前に体調不良のため欠席されたことは、まことに残念でありました。 田中 勇(26回)

家本 修ゼミOB会

家本修先生ご退職慰労会報告



秋晴れとなった平成29年9月30日(土)、ヒルトン大阪にて、家本修先生のご退職慰労会を開催いたしました。当日は、東京をはじめ各地からゼミ卒業生30名が集まり、上は64回から下は81回まで多様な年代が揃う慰労会となりました。これも家本先生がご在職中、一貫して親身なご指導をされてこられた結果だと感じました。

第一部では、「AIの成長をバネに!」と題した最終講義を先生に行っていただき、AIの普及の速度やこれから求められる人材についてのご教示をいただきました。第二部は、慰労懇親会を行い、同期同士久しぶりの再会を懐かしみつつ先生を囲み、これまでのご苦労を労いました。

最後になりましたが、これまで400余名のゼミ生を社会人として世に送り出していただいた家本修先生をはじめ、本会開催にあたり温かいご支援をいただきました大樟会と母校に改めて感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

幹事代表 天野公博(66回)

「澁江」購読料のお願い

「自らの購読料で『澁江』を育てよう!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。

お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。編集子一同、このご声援に応え、親しまれる『澁江』を目指し頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしく願いいたします。

※同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。



30期倉辻ゼミOB会

第13回 倉春会は滋賀県長浜で開催



平成29年11月18日(土)倉辻ゼミのOB 7人で1泊旅行しました。

会場は中田さんのお世話で長浜ロイヤルホテルにて快適なホテルライフを楽しみました。遠方からは岐阜の田中さん、和歌山の松本さんが参加されました。

平均年齢76歳のためか、健康のこと、お墓のこと、旅の話、介護保険等、様々な話題でした。いつも話題で盛り上がるのは、やはり倉辻先生と一緒に日光に行ったゼミ旅行でした。

二日目は田中さんの7人乗りの車で木ノ本の鶏足寺に行きました。あいにくの雨で道はぬかるんでいるところが多く、傘をさして参道を1キロ歩きました。滋賀県で一番の紅葉の名所と言われるだけの価値はありました。階段を昇りつめて、お堂に着いた時は、登り切った達成感がありました。

来期の倉春会の幹事は大西さんで、平成30年11月17日(土)、京橋ツイン21の「芦刈ツイン21店」で開催することになりました。

今回の参加者はメンバー総数18人の内、次の7名です。

写真左側から吉村文男(幹事、茨木市、シニアクラブ)、中田節弥(寝屋川市、今回のホテル紹介)、森本義夫(伊丹市、富士山頂をめずす)、杉山卓(寝屋川市、塾の数学、英語の先生)、田中隆司(岐阜県不破郡、民生委員を退任後地域で活躍)、松本公望(和歌山県伊都郡、平成27年11月瑞宝小授章を受章)、大西教生(兵庫県加古郡、自治会員と交流旅行も)(敬称略)

幹事 吉村文男(30回)

32期同期会

楽しく心地よい時間を過ごす



平成29年度ホームカミングデー・大樟会総会が開催された11月4日(土)、我々32期の第9回同期会を秋晴れの良き日に今年も開催、1年振りに元気な姿での再会となりました。

当初出席者は34名、実出席者は26名程か。総会后帰られたり、体調悪く止むなく欠席もありました。集合写真後、この1年間で2名の方、尾野高仁氏、眞鍋一美氏の突然の訃報を悼み、全員でお悔やみ申し上げました。

会は2時間余り、乾杯から始まり、初出席4名の方の自己紹介をはじめ、数名の方に近況、思い出、よもやま話など色々いただき、楽しく心地良い時間を過ごすことができました。

今回、案内は住所判明者504名に発送いたしました。返却はがき(出欠共)は262名、沢山のコメントをいただきました。住所不明者504名、物故者67名で、名簿総数は1075名となっております。今後も判明者増、発掘に協力をお願いいたしました。

最後にフレー、フレーのエール交換で来年も出席を約束してお開きとなりました。来年、平成30年は10回目、節目の回数、「同窓会出席は元気印です、32期の皆様、来年も同期会へ集まりましょう」。多くの方々の出席をお待ちしております。

今回は、愛知支部長五十棲氏提供による今治タオルを土産として出席者全員に、いただきました。ありがとうございました。

世話役 竹中 亨(32回)

氣流会(合氣道部OB・OG会) 合氣道部「氣流会」総会



平成29年11月3日(金・祝)、母校E館7階会議室にて平成29年度の「氣流会」総会をOB 20名、現役12名参加のもと開催しました。会議の冒頭、合氣道部の監督として、長期にわたり学生を指導し、合氣道部の発展に情熱を注ぎ、志半ばにして倒れた今西先輩のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

大西会長挨拶の後、議題に入り、第55期事業報告、会計報告、会計監査、第56期事業計画ならびに役員選出が行われ異議なく承認され、その他、定期的な役員会の開催について承認されました。

総会終了後、恒例の現役と氣流会有志の合同稽古を野村師範の指導のもとで行い、快い汗を流しました。合同稽古終了後、合同懇親会をE館7階大樟ラウンジで開催し、

学生時代の懐かしい思い出を語り合い、先輩、後輩の隔たりなく、なごやかな雰囲気です。最後に学歌、部歌、逍遥歌を合唱し、経大と合氣道部にエールを送り、来年の再会を期して閉会としました。

副会長 田中保信(38回)

とりあえず34期会

同期藤本君が理事長に就任



今年も楽しい、楽しい「とりあえず34期会」を、平成29年11月4日(土)、母校にて開催しました。

「とりあえず行ってみよう」で19名が来てくれました。一年ぶりの懐かしい顔ばかりです。この会の司会を毎回明るく務めてくれた浅野四朗君の在りし日の報告をし、皆で弔意を捧げ懇親会に入りました。今年もビッグニュースがありました。まず同期でこの会皆勤の藤本君が、本学の理事長に就任しました。

最初に、就任の挨拶を兼ねて開催の辞をお願いしました。運営方針について3点に絞り解り易く、気負いもなく、真摯に発表されました。「目標は(学校によいこと)、即ち、お客さんである学生が、社会に出て役に立ち、通用され、敬愛される人間に育てて送り出すことにわき目も触れず一生懸命に働いてもらう先生方を、役員一同一致団結して全面的に応援し、サポートする体制を計画、構築したい。良いと思うことは誰がなんと言おうが、何でも「勇気をもって、一生懸命、身を顧みることなく働いてみたい」「そして大樟会の同志と一緒に肩を組んで進みたい」との結びの言葉でした。

第二番目に、なんと本会7回開催で初めてご夫婦同伴での参加がありました。初めての出会いから結婚に至る素敵なお話(須磨海岸のポートの上での出会い)は羨ましくもあり、また幸せな気持ちになりました。これまでの男同士の同窓会とは全く違う雰囲気、何時も出る話題の下ネタは影を潜め皆さん自己紹介、近況報告もこれまでにない上品で一流企業の役員会のような会議になりました。

終わりに参加者全員肩を組み学歌、逍遥歌を高らかに。来年も元気で「とりあえず会いましょう」の思いを込めての閉会となりました。経大万歳 世話人 廣野義直(34回)

ESS OB会

ESS OB MEETING
AT BANGKOK, THAILAND



2017.11.6 HONEY RESTAURANT 1730 ~ 1930

参加者(敬称略)：松井澄夫(38回生) 以下39回生 藤原孝則、福谷拓司、西出省三、寺田芳博、豊田精一、大橋信洋

初の海外OB会開催とのことで、当初参加希望者が20名を超えていましたが、体調不良および突発的な事情により最終的に7名に落ち着きました。今回タイ在住の藤原孝則さんを励ます会を主目的に、バンコクにてESS OB 会の開催に至りました。逆に藤原さんのタイでの活躍を目のあたりにして、彼から元気をもらいました。藤原さんは20年以上タイに住み、タイ人の奥様をもらいタイの感覚を身に着けたタイ人という感じでした。彼のお子様タクシン君も23歳になり藤原さんの片腕として彼を助け、

今後日本とタイとの懸け橋になる貴重な人材になると確認しました。

宿泊先のバンコク マリオット マーキスクイーンズ パーク、バンコクにて、OB会を開催する予定であったが、10名以下は部屋を貸切することはできないとのことで、急遽ホテル近くのタイ料理店に変更し、海外初のOB会を開いた。

先ず松井さんから開会の挨拶があり、元氣なうちにこのように海外でOB会を開けることを嬉しく思い、これからも頻繁にできれば皆で集い、絆を強くし、更に深めていきたいとのことであった。乾杯の音頭は、西出さんから行い、飲食に移った。交流は、藤原さんと松井さん中心に行われ、今まで先輩と後輩が久しく接する機会が少なかったため、今回ゆっくり話ができたと皆様方喜んでおりました。学歌斉唱は、フミポン国王の葬儀の直後で自粛せざるを得ず行いませんでした。残念！

最後に今回無謀と思われた海外初のOB会を実現できたことに感謝し、参加したくても参加できなかった方々へ、土産話を是非していただきたいことと、次回OB会を母校にて開催したく、昔のように全体OB会を実現させたいという言葉で会を締めくくった。参加者の方々、並びに大樟会に感

謝いたします。

2017年11月吉日 大橋信洋(39回)

Mail Address : sunking@aurora.ocn.ne.jp.

14回生会

14回生「おしゃべり会」

14回生は、毎年「同期会」(おしゃべり会)をしています。今年は平成29年11月14日(火)、ホテルグランビア「しずく」で集まりました。

90歳を迎える私どもは、体力の衰えは仕方なく、今年の参加者は7名。はるばる山口県・岩国から参加された方もあり、久しぶりに出会った友達と話しがはずみ、にぎやかな「おしゃべり会」でした。話題の多くは健康のコト。一人ぐらしの方から心身ともに健康管理をされている話に感心しました。

「参加したいけど一人では行けない」人が年々増えていますが、経専時代の友人との結びつきは意外に強く、参加されなかった友人たちの近況を知ることができました。大樟会総会の様子も紹介でき、「おしゃべりは元気のもとやから来年も会おう」と約束しました。

柴田悦子(14回)

●卒業回数・卒業年 早見表

※ 70 回以降は、春学期と秋学期があります。

卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)	卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)	卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)
1	1935.3	昭和 10.3	29	1963.3	昭和 38.3	57	1991.3	平成 3.3
2	1936.3	11.3	30	1964.3	39.3	58	1992.3	4.3
3	1937.3	12.3	31	1965.3	40.3	59	1993.3	5.3
4	1938.3	13.3	32	1966.3	41.3	60	1994.3	6.3
5	1939.3	14.3	33	1967.3	42.3	61	1995.3	7.3
6	1940.3	15.3	34	1968.3	43.3	62	1996.3	8.3
7	1941.3	16.3	35	1969.3	44.3	63	1997.3	9.3
8	1941.12	16.12	36	1970.3	45.3	64	1998.3	10.3
9	1942.9	17.9	37	1971.3	46.3	65	1999.3	11.3
10	1943.9	18.9	38	1972.3	47.3	66	2000.3	12.3
11	1944.9	19.9	39	1973.3	48.3	67	2001.3	13.3
12	1945.9	20.9	40	1974.3	49.3	68	2002.3	14.3
13	1947.3	22.3	41	1975.3	50.3	69	2003.3	15.3
14	1948.3	23.3	42	1976.3	51.3	70	2003.9 / 2004.3	15.9 / 16.3
15	1949.3	24.3	43	1977.3	52.3	71	2004.9 / 2005.3	16.9 / 17.3
16	1950.3	25.3	44	1978.3	53.3	72	2005.9 / 2006.3	17.9 / 18.3
17	1951.3	26.3	45	1979.3	54.3	73	2006.9 / 2007.3	18.9 / 19.3
18	1952.3	27.3	46	1980.3	55.3	74	2007.9 / 2008.3	19.9 / 20.3
19	1953.3	28.3	47	1981.3	56.3	75	2008.9 / 2009.3	20.9 / 21.3
20	1954.3	29.3	48	1982.3	57.3	76	2009.9 / 2010.3	21.9 / 22.3
21	1955.3	30.3	49	1983.3	58.3	77	2010.9 / 2011.3	22.9 / 23.3
22	1956.3	31.3	50	1984.3	59.3	78	2011.9 / 2012.3	23.9 / 24.3
23	1957.3	32.3	51	1985.3	60.3	79	2012.9 / 2013.3	24.9 / 25.3
24	1958.3	33.3	52	1986.3	61.3	80	2013.9 / 2014.3	25.9 / 26.3
25	1959.3	34.3	53	1987.3	62.3	81	2014.9 / 2015.3	26.9 / 27.3
26	1960.3	35.3	54	1988.3	63.3	82	2015.9 / 2016.3	27.9 / 28.3
27	1961.3	36.3	55	1989.3	平成 1.3	83	2016.9 / 2017.3	28.9 / 29.3
28	1962.3	37.3	56	1990.3	2.3	84	2017.9	29.9

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

(敬称略・順不同)

「大経大に来てよかった」が一番の喜び

徳永 光俊



4年のゼミ生で29期となりました。16名を加えて合計620名となりました。2年生では、本川達雄『生物学的文明論』、広井良典『人口減少社会という希望』を読み、城崎へ温泉旅行、淀川河川敷でBBQをしました。3年生では、ゼミ1グランプリに初めて4名のグループを組んで4チーム、ゼミ生全員が出場しました。残念ながら予選敗退……京都桂の温泉で就職合宿をしました。4年生では、就職活動に全力を注ぎ、ほとんどが内定しました。あとは学生生活の総仕上げの卒論と卒業旅行です。あっという間の4年間ですが、学生さんたちと楽しく過ごしています。ゼミ生たちが、大経大に来てよかった、満足して卒業・就職してくれることが一番の喜びです。

(学長)

3年目を迎えて

古賀恵里子



早いもので、私が本学での仕事を始めて3年目になりました。それまでの29年間は精神科医療「一筋」でしたので、大学での日々の仕事は異文化適応のプロセスのようでした。そんな中で今年の夏に、長年準備を進めてきた精神科医療等に関わる

スタッフのトレーニングを目的としたワークショップを、イギリスやイタリアの仲間力を借りて開催することができました。今もその時の興奮の余韻が残っています。

3期生となるゼミの学生とは、集団精神療法についての学びを重ねています。現在、集団でのアプローチが実践されている現場への見学を計画中です。心理的問題を抱えた人たちの回復する力をゼミ生に実感してもらいたいと思っています。

(人間科学部准教授)

学ぶことは尽きません

古宮 昇

学ぶことはたくさんあり、一生尽きることはありません。

ばくは教えると共に、生徒として学び続けています。

あなたが学んだり磨いたりすると、望む人生を生きるために役立つことは何ですか？

ぜひそれを自分から学び続けて自己研鑽に励んでくださいな。

(人間科学部教授)

「Sports Policy For Japan」に出場

田島 良輝

2015年より、人間科学部でスポーツマーケティングを担当しています。スポーツには「する・みる・学ぶ・極める・支える」と様々なアプローチがありますが、私のゼミはというと、「スポーツを創るゼミ」だと学生には話しています。毎年、ゼミのチャレンジとして「Sports Policy For Japan」(笹川スポーツ財団主催)という政策発表の全国大会に出場し、学生自ら調査・企画したプロジェクトを発表しています。今年のテーマは「東大阪フットボールタウン構想」と「白浜トライアスロン大会を活用したまちづくり」企画です。10月21日・22日、立教大学にて「勝負」してきます！

(後日談) 10月21日・22日、立教大学にて全国22大学50チーム、290名の参加で行われたSports Policy For Japan 2017にて、当ゼミが出場した。「トライアスロンの可能性!! in白浜 ～人口減少と空き資源の活用～」が特別賞を受賞しましたので、ご報告いたします。

(人間科学部准教授)



2016年度「Sports Policy For Japan」参加の様子(前列右から3番目が筆者)

初めての卒業生を送り出します

紙屋 英彦

2015年4月に本学に赴任し、その年度の秋学期にゼミをスタートしました。今年度の秋には17名の三期生を迎え入れ、3月には初めての卒業生(一期生)を送り出します。

ゼミのテーマは統計学です。統計学を学ぶための環境も、この数年の間に飛躍的に向上しました(データ入手の容易さやフリーソフトの普及など)。また本学では一人一台の端末が備わった教室も多く、統計学を教えるには大変恵まれた環境にあります。これらの環境を活かし、ゼミでは統計理論は最小限にし、データ分析を中心に学んでいます。

特に部やサークルに所属していないゼミ生にとっては、週一回のゼミが心のオアシスのようなになればよいと考えながら、普段のゼミを行っています。

(経済学部教授)

最初の卒業生

北市 記子

本学に赴任して3年目を迎え、昨年3月に大経大で最初の卒業生を送り出しました。顔も分からない教員のゼミに入ることになった学生は、当初不安な部分も大きかったと思いますが、2年間コツコツと頑張ってくれました。そのうちの一人が、卒業式の日「楽しい大学生活を過ごせて良かった」と言っていたのを聞き、大変うれしく思いました。

以前勤務していた大学でも多くのゼミ学生を指導してきましたが、彼らからは今も時折楽しい近況報告が舞い込んできます。大経大でも、互いに築いてきたつながりを大切にしながら、少しずつゼミの新しい「伝統」のようなものを作り上げていければ……と思っています。

(人間科学部准教授)

あれ・これ・それ・どれ

六浦 英文

人生という砂時計。上部の砂も残り少ないことに気づき、生きているうちに「あれもやりたい、これもやりたい」と欲が出てくる。しかし、これをするにはあれが必要になり、それはどれと関連しているのか気になって、どんどんわき道にそれてしまう。我に返り、もとのあれを探しているうちに日が暮れてしまう。こうして来る日も来る日も探し物に時間を取られて、肝心のことが少しも前に進まない。しまいには自分に嫌気がさして、自暴自棄になる。そうすればますます時間がなくなる。

気がつく「あれもできない、これもできない」と嘆くことになる。「時間よ、止まれ!」と叫んでみるが、無理なものは無理。ただ落ちていく砂を眺めるのみ。(経営学部教授)

1 期生へ感謝

小川 悦史

本学に着任して3年目になります。それまではゼミを担当したことがなく、私自身の学生時代の経験や、前任校でお世話になった先生方のゼミを思い出しながら本ゼミ1期生を担当してきました。正直、ゼミ生の様子に戸惑い、落胆したこともあり、そのたびに私自身も勉強の連続でした。また一方で、良い思い出もたくさんできました。特に、サプライズで私の誕生日をお祝いしてくれたときは、涙が出るほど嬉しかったです。これは生涯忘れません。

いよいよ3月で1期生も卒業です。ゼミ活動を大学時代の思い出として大切にしてほしいと思う一方、それを忘れるくらい社会で活躍してほしいとも切に願います。活躍する姿でまたいつか驚かせてください。(経営学部講師)

赴任して2年が経って

杉本 俊介



今年で私が本学に赴任して2年が経ちました。ゼミ一期生の皆さんが今年度卒業することになります。ゼミは現在計48人で、ビジネス倫理を中心に勉強しています。4年生は卒業論文の執筆に取り組んでいます。2、3年生はZEMI-1グランプリや富士ゼロックスの人材育成「志プロジェクト」などに参加しています。教育者として彼らの学びをサポートできればと思います。研究者としては今年、日本経営倫理学会の若手研究者育成にかかわったり、米国Society for Business Ethicsに参加し、海外の研究者との交流を深めたりしています。また、昨年韓国と中国で行った発表を論文にし、自分の研究を海外発信することにも努めています。(経営学部講師)

今になって見えること

黒坂 真

卒業生の皆様、お元気ですか。私はジョギングや縄跳びを続けています。何をやるにしても、健康維持が基本ですから。最近、若い頃読んだ本や映画をもう一度見直して、昔の自分を時折振り返っています。当時わからなくても、今になって見えてくることがありますね。

しかし、若い頃のチャレンジ精神を維持し続けるのは難しい。私が

大学生だったころ、NHKドラマ「ザ・商社」を観ました。大阪の老舗商社、安宅産業の解体劇を描いたドラマです。主演は山崎努で、ヒロインは故夏目雅子。原作は松本清張「空の城」です。若き私は、商社マンの世界に驚愕しました。今観ると、安宅英一を想定した人物を演じた片岡仁左衛門の迫力がすごいですよ。(経済学部教授)

実践経営学会会長として3年目に

井形 浩治

「実践経営学会」という学術団体会長を拝命して3年目に入った。この学会は、「経営」と名がつくものの、「会計・流通・マーケティング・情報・金融・貿易・起業」といった広義の経営学のみならず、法・経済・社会学といった社会科学系分野の多様な研究者(実務家も多く含まれる)からなる。

ゼミの指導テーマは、「企業と社会の諸問題へのアプローチ」を掲げる。現在、日本の企業社会は「再構築・再活性化のプロセス」にある。大学外部から企業をめぐる諸テーマ・課題を自ら学びつつ、それを通じ大学内部では上記プロセスを執行しうる担い手である学生と一緒に研鑽する。我々には、伝統と格式ある「高商魂」が息づく。(経営学部教授)

真のグローバル人材

張 又心バーバラ

本年の秋学期に新たに19名(うち、女子7名、男子12名)の2年生を受け入れ、ゼミをスタートしました。女子比率がまた更新しました。女子の人数が増え、ゼミが華やかになりますし、ゼミ活動の多様性もつながってきましたので、嬉しい限りです。

本年度の夏合宿は台北で行いました。3年生の全員も参加できました。「日系ファーストフードチェーン店の海外展開」を調査テーマとして、ゼミ生が台湾に展開している日本のファーストフード店のフィールドワークを行いました。また、街の中に台湾人を対象に英語・中国語のアンケート調査を実施しました。

真のグローバル人材になるためには、語学力を高めることはもちろん重要ですが、異文化を理解できるように努力することも、とても大事です。実際にフィールドに出かけ、様々な国の人たちとの出会いが異文化の体験ができ、良い勉強になります。今後も、異文化を理解できグローバルの時代に生きていけるような人材を育てていきたいと思います。(経営学部准教授)

OB・OGのご寄付をお願いします

相原 正道



相原ゼミは東京で開催される大学3年生を対象とした笹川スポーツ財団主催のスポーツ政策コンテスト「Sports Policy for Japan」に出場するゼミです。全国の大学が30校程度参加し、事前に提出される研究資料と当日のプレゼンテーションの審査で優勝が決まります。名だたる有名校が出場する中、準優勝した実績があります。同学年の5、6名単位で各チームで競い合うため、相乗効果が期待できます。我がゼミでは主体性・協調性・競争性を養うため日々精進しております。

是非OB・OGの皆様には、東京までの学生の交通費と宿泊費を寄付していただきたく。平にお願いする次第であります。(人間科学部准教授)

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

伊藤ゼミ卒業生へ

伊藤 大一

皆さん元気なことと思います。私は一昨年9月にアメリカでの留学を無事に終え帰国しました。ちょうど日本に帰ってきて、1年と少し経ちます。アメリカでの研究生生活は、本当に勉強になり、多くのことを学ぶことができました。

私が留学した大学は、カルフォルニア大学バークリー校というところで、サンフランシスコ近郊の大学です。バークリーでアメリカの最低賃金制度や労働運動の研究をしてきました。アメリカ



アメリカ、ラスベガスにて

に行ったときに1歳だった娘も、もう3歳になりました。カワイイ盛りです。

私は大学にいますので、いつでも遊びにおいで。そして、飲みに行こうぜ。お前らも元気だな。

(経済学部准教授)

金融の新しい波

高橋 亘

この3月、高橋ゼミは2度目の卒業生を送り出しました。新入生から4年間の付き合いの学生も多く、みな思い出深いゼミ生です。5月には、卒業生から短いけど頑張っている様子のメールももらいました。嬉しい便りです。

さて専門である金融では大きな動きが出ています。一般にFintechと呼ばれていますが、特にインターネット上の仮想通貨の登場です。これまでお金は、中央銀行か民間銀行（正確には銀行のほか信用金庫などの預金取扱金融機関）だけが提供できましたが、仮想通貨は銀行が発行するでもなく、しかも管理者がいません。そしていま仮想通貨の世界では最大のBit Coinが分裂するなど貨幣間の競争が生まれています。金融の新しい波がどこまで広がるのか。興味がつきません。

(経済学部教授)

10年目

鶴飼奈津子



今年は、私が大阪経済大学に赴任して10年目の年になります。この10年間は本当に瞬く間に過ぎ去り、まさに10年1日のごとしを実感しているところです。この間には、本当に多くのゼミ生の皆さんとの出会いがありました。卒業生の中には、すでに結婚して子どもができた人、転職をした人、長年の努力の末に希望の職についた人など、卒業後もそれぞれが人生を一步一步確実に歩んでいる様子を聞くことが私の励みにもなっています。

昨年末には、再びゼミ1期生～4期生が集まる同窓会を開くことができました。現在はゼミ7期生。これからもこうしてゼミの横のつながりと共に縦のつながりも続けていくことができればと思っています。

(人間科学部教授)

カナダで出会った留学生たち

えん 立



2017年8月に英語研修の引率者として、19名の学生と一緒にトロントで二週間滞在していました。その間、ヨーク大学の付属英語学校で3回講義をしました。テーマは「A Cultural and Historical Overview of Japan: Foreign Cultural Influence on Japan」でした。主に6世紀から10世紀までの「唐文化」、16世紀のポルトガルとスペインの「南蛮文化」、19世紀の「西洋文化」という外来文化を受容した日本文化の歴史について話をしました。

来場した学生は約100名で、英語を勉強している各国から来た留学生でした。講義のあと、会場から多くの質問が寄せられました。日本の授業ではあまり見られない光景でした。海外で日本文化に関心を持っている人は確かに多いと感じました。

(経済学部教授)

オフィス創りの総合商社

文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具

どんなことでも **NIKKO**へ!

NIKKO



株式会社 日興商会

代表取締役会長 藤縄 健一 (第37回卒)



コクヨ製品取扱高全国 No.1

本社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06-6487-1401 Fax. 06-6487-1414 ホームページ <https://nikko.bunguclub.co.jp>
支店 大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島 他 全19支店2営業所

お世話になった先生からの お元気なお便り

(敬称略・順不同)

目から鱗の1冊

藤本 周一

帚木蓬生の近著『ネガティブ・ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力』がその本です。19世紀の英国が生んだロマン派の天才詩人のひとりジョン・キーツが21歳のとき、弟に宛てた手紙に見える言葉“negative capability”が当面の課題です。この言葉の意味は、英米やわが国の英文学会を中心に久しく論じられ、わが国では「否定的能力」とか「消極的能力」等と訳されてきました。この言葉が、詩人の死後170年を経て、英国の優れた精神科医ウィルフレッド・R・ピオンによって、「答えの出ない事態に耐える力」として再発見され、精神科の治療に大きな価値を持つに至ったと言うのです。小生自身、この言葉の概念的解明に取り組んできたうえから、まさに「目から鱗」の気持ちです。

明治のこと

久保田 諄

卒業生であったT君が幕末の頃の古文書の^{はんこく}翻刻を送ってくれました。

彼は今、定年後の仕事として、同志社で近世の民衆史を研究しています。その翻刻によれば、蛤御門の攻撃により、京都中心部は大火となり、市民の死傷者も多数であったとのことで、これら政争で市民は大変な迷惑を蒙ったそうです。然し、新しい明治政府は市民の被害に対し、何ら補償することもなく、無視しました。

最近のNHK大河ドラマでも、威勢の良い武士たちのカッコ良いドラマばかりが放映され、困惑する市民の姿は全く登場しません。勝てば官軍の薩長土肥の歴史観が今でも生きていて甚だ不愉快です。彼らが実現した明治維新が民衆にとって良かったのかどうか疑問に感じます。

私たちは長生きし過ぎたのかも

松原 和男

公立病院の外科部長を長く勤めた、中学・高校の同級生の話に感銘を受けましたので、その一端を紹介しましょう。

彼は、膀胱癌に罹り、後輩が執刀した手術によって癌は完全に切除されたが、その後転移が見つかり、それが手術不可能な箇所であったため、化学療法に切り替えた。しかし、高齢のため副作用がでて、薬の量を規定量より減らさねばならなかった。少ない量での治療に不安があったので、医学文献を読んだところ、高齢者の治療の研究は75歳までのものばかりで、「更なる高齢者については今後の研究に待つ」と結論づけているものがほとんどであったとか。

彼の結論は「私たちは長生きし過ぎたのかも」だった。

私の古いゼミ生諸君から、定年退職ー引退の便りをいただきますが、諸君はまだ若い。これからも豊かな人生を、お過ごしください。

見えない所が大切

稲場紀久雄



私は、今年度の土木学会出版文化賞を『バルトン先生、明治の日本を駆ける』（平凡社）という作品で受賞しました。現役時代、大経大の短期海外研究出張で英国のスコットランドに滞在し、「バルトン」という人物の足跡を調査しました。私は、この作品の完成に約40年の歳月を費やしましたが、バルトンの母国での足跡を調査できなければ、私の努力は不毛に終わったことでしょう。出版文化賞受賞は、大経大の支援に依るものと言っても過言ではありません。

一つの成果は、目に見えない要因によって達成されるものです。今回は、40年の努力と母国での足跡調査です。名誉教授になって6年。私も同窓の皆さんと同じ努力を重ねています。



廣 濟 堂

文教ソリューション

KOSAIDO BUNKYO SOLUTION



**学校経営を支援する
多彩なソリューションを
ご提供します。**

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、
学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、
学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、
円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社廣濟堂 データベース課
〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1
TEL 06-6855-9241
<http://www.kosaido.co.jp/>



障がい児教育の理想郷づくり

十勝ワイズメンズクラブ直前会長

大樟会北海道支部長

池田 正勝 氏(34回)



池田正勝氏の自宅は、札幌から特急列車で約2時間30分。帯広の手前、芽室駅から車で15分。広大な十勝平野の剣山のふもと、白樺林や桜の木に囲まれた5haが彼の目指す「理想郷」なのだ。自宅の窓越しにはクマやシカ、ウサギなどが見られるさながら自然動物園でもある。京都出身の池田氏が、なぜ北海道のこの地に居を構えたのかはいささかの説明が必要のようだ。在学時代、田中健一教授の「教育行政学」講義を受け、「ペスタロッチ的教育愛」にひかれ教員を目指した。

まず、大阪府河内長野市の滝畑小学校の助教諭に赴任するも「自分は弱いからもっと自然が厳しい所が勉強になる」と思い、北海道の教員を目指した。若者はなるべく都会を目指す風潮があるなかで、逆に僻地を目指す若者は少なく、当初は北海道教育委員会からは都会育ちが北海道とは「何か犯罪の経歴でもあるのではないか」などと随分と疑われたようだが、田中教授からの推薦もあり、道教委へ採用された。本学では高等学校の教員免許は取得していたが、その後、玉川大学、佛教大学でも学び、幼稚園、小学校、中学校、養護学校教諭の資格も取った。

その後、一生を障がい児教育へ身を捧げることを決め、網走、帯広の各養護学校へ赴任し、最後の定年までの15年間は、中札内高等養護学校では進路・職場開拓の進路支援にも力を入れた。池田氏の情熱ある障がい児教育が認められ、十勝管内教育実践・教育活動表彰も受けた。池田氏には2男1女があるにもかかわらず障がい者の保護者にもなって、実の子どもたちと一緒に日常生活を過ごし、今は施設へ入所し、時々訪問している。

池田氏のボランティア精神は学校以外でも発揮され、YMCA^(※1)との関わりは40年以上にも及ぶ。2007年からは「とち帯広YMCA幼保園・プレスクール」の園長も務めた。YMCAは青少年の育成という目標を掲げ、ここでは2歳児から小学生までを預かり、書道、サッカー、水泳、英語など

も教えている。池田氏は、今でも入園、卒園式、各種行事にも出席するが、子どもたちからはマジック先生と慕われている（池田氏はマジックが趣味で、その腕前は玄人並み）。

現在の住まいがある土地には旧上旭小学校があったが、以前に大冷害があつて困っていることを聞いた札幌YMCAが物心両面でサポートしてきた縁で廃校になった跡を清水町から購入して欲しいとの要請があった。池田氏は、その後土地を買い増したりして現在地へ住むことになり40年が経った。

池田氏は「学生時代に機会均等の教育の原理を学んできたが、その原理の一つの実践が障がい児教育であり、生涯教育であると考えている。その展開の場として与えられたのがこの北海道の十勝である」と言う。池田ファミリーが移り住むようになって「恵みの里」を建設。障がい者と親しく交わる村として、また帯広YMCAキャンプ場としての機能を果たし、幾多の青少年野外活動の研修施設としても協力している。

また、YMCAの活動を支援する団体である十勝ワイズメンズクラブ^(※2)では発足した時からの会員でもある。岐阜県の児童養護施設「日本児童育成園」からは毎年夏には入所者を受け入れ、2週間にわたり近隣農家での体験実習をする活動も昨年で28回目になる。また、毎年NPO法人「食の絆を育む会」が主宰する関西からの高校生・農村民体験事業でも積極的にホームステイに協力している。

池田氏は「障害があるということは不自由ではあるが、不幸ではない。差があっても差別があつてはならない。お互いの人格を認め合い、連帯の中で一つの束になっていく、これが神様から与えられた人間社会であり、家庭的な小集団協働施設の実践が恵みの里に他ならない」との信念を持って活動を続けている。（聞き手＝広報部長・小林真人）

※1 YMCAは、1844年に英国で生まれ、現在世界124カ国・地域に約3,000万人の会員を擁するNGO団体。青少年の指導者育成、生涯学習の指導普及、国際理解・協力、災害ボランティア活動などの事業を国内各地で推進している。

※2 ワイズメンズクラブは、YMCAを支援し、青少年育成、地域・国際奉仕等の活動をしていて国内には150を超えるクラブ、約3,000人が活動をしている。共にキリスト教精神に基づく団体だが、この運動の参加者はクリスチャンである必要はない。



白樺林とサクラに囲まれた広大な池田氏の敷地

略歴 昭和19年7月31日京都市上京区生まれ。73歳。京都市立堀川高校卒業。昭和43年本学経済学部卒業。大阪府河内長野市立滝畑小学校へ赴任後、北海道黒松内町立東栄小中学校、幕別町立中里小学校教諭。その後網走養護学校、帯広養護学校、中札内高等養護学校まで一貫して障がい児教育に携わる。定年後は北海道YMCA帯広ランチ運営委員長、とち帯広YMCA幼保園・プレスクール園長などを歴任。現在十勝ワイズメンズクラブ直前会長。

山口市地域おこし協力隊

あとう牛振興センター

たけうち ともあき
竹内 知明氏(78回)

竹内知明氏を紹介する前に「地域おこし協力隊」の制度についていささかの説明が必要であろう。総務省のホームページによれば、「都市地域から過疎地域などの条件不利地域へ住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地域公共団体が＜地域おこし協力隊員＞として委嘱。隊員は一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの＜地域協力活動＞を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み」とある。

この制度は総務省が財政支援することで、平成21年からはじまり、現在は863の地方自治体へ4158人が隊員として活動が続いている。隊員のうち4割が女性、年齢も8割が20歳代と30歳代だ。

さて竹内知明氏が生活する山口市阿東地区は山口市の中心部から車で北へ50分の山間地域にあり、すぐ隣は島根県の津和野町。山口市でも典型的な人口減少地域である。

竹内氏の活動拠点は「あとう牛振興センター」で185頭の肉用牛の飼育をしている。朝は7時30分から17時30分まで牛の餌やり、牛舎の清掃など仕事は多岐にわたる。牛たちは案外神経質で、最初は見慣れない者からの餌は見向きもして

くれなかったが、「最近牛たちも馴れて、自分の与える餌も十分に食べてくれるようになった」という。このセンターは子牛を購入し、肥育して出荷するという施設であったが、昨年はここで2頭の子牛が生まれ、それらの世話も竹内氏の担当だ。牡は29カ月、雌は32カ月で1頭最高約150万円になる。

「小さい頃から犬や猫など動物を飼うことが好きだったから自分にはこの仕事に向いていると思う」という。阿東地区はスーパーなどはあるが、若者が遊ぶところが少ないのがやや不満だが、「休日には少し足を伸ばして隣町の津和野町の温泉につかるのが唯一の楽しみ」という。この地区住民は人情も厚く、竹内氏は任期の3年が終了してもこのまま阿東地区へ定住し、「あとう牛ブランド」の知名度アップに貢献する覚悟だ。

(聞き手＝広報部長・小林真人)



略歴 昭和63年10月17日京都府乙訓郡大山崎町生まれ。29歳。金光大阪高校から平成20年本学経営学部へ入学。卒業後はアルバイトを経て陸上自衛隊へ入隊。伊丹市の千僧駐屯地勤務などを経て、任期満了で除隊。その後、インターネットで調べて山口市の「地域おこし協力隊」に応募。あとう牛振興センターで3泊4日の体験参加を経て、昨年1月から正式に「地域おこし協力隊」として活動している。

無農薬栽培で地域貢献

元南海放送取締役東京支社長

たかいち まさのぶ
高市 昌信氏(32回)

高市昌信氏は、卒業後、地元の民放局「南海放送（本社松山市）」へ入社、その後営業畑一筋37年。この間東京支社勤務を3回。最後の3年半は取締役東京支社長として勤務。東京支社は全社の売り上げの約半分を稼ぐ会社の屋台骨を支える重要な部署であり、通算16年半に及ぶ東京勤務では人間関係と営業に明け暮れていたせいもあり、食卓の野菜がどこでどんな風に栽培されているのか分からず、最低限の安全性さえ保証されていないなど、食べる気がなくなっていた。

高市氏が本格的に野菜作りに取り組み始めたのは、完全リタイヤした平成24年から。広さは約600坪。貸主の「畑に草を生やさないこと」との条件で休耕田を借用した。これだけ本格的に広大な菜園を始めたのは、社会福祉事業団の理事長に就任した知人の野本元愛媛県教育長から「安心・安全な野菜を届けて欲しい」と要望されたから。一念発起して始めた「ベジタブルファーマー」もズブの素人からのスタートだった。頼りは野菜作りの専門雑誌と近所の先輩農家。栽培には東京時代の思いを込めてとことん「無農薬野菜」にこだわった。

高市氏は「無農薬・有機栽培による野菜づくりを己に課している」という。雑草は全て手作業で取り除き、もちろん除草剤は使用しない。防虫・殺虫剤などの農薬も一切使用しな

い。化学肥料もなるべく使わず、米ぬかなどでつくる堆肥で土づくりをする。お蔭で「高市菜園」の野菜は大好評だ。ボランティアで社会福祉事業団へ提供する以外は、娘達や全国各地の昔の仕事仲間などに送って、喜ばれている。

愛媛ブランドの里芋「伊予美人」は特に喜ばれているという。

夏場は朝夕、その他の季節は終日この菜園で過ごす。「現役時代は人間の顔色を見て過ごしてきたが、今は植物の葉の色を見て成長を見守る。植物は人間を裏切らない」という。毎朝自家栽培のケールのジュースを飲み、文字通り「晴耕雨読」の日々を送る高市氏の「人生の楽園」に乾杯！

追記 高市氏の二女高市紀子さんは、東京芸術大学大学院博士課程を修了、現在東京都に在住し、プロのフルート奏者として活躍している。演奏会を企画される方は連絡先を編集部までお問い合わせください。(聞き手＝広報部長・小林真人)



略歴 昭和18年7月26日中国大連生まれ、74歳。お父様が満州石油勤務だったため5歳の時実家の松山へ引き揚げる。高校は有名な坊ちゃんでお馴染みの夏目漱石が教べんをとった松山東高校出身、昭和37年本学経済学部へ入学。2年生までは山岳部へ所属、前年に完成した白馬ヒュッテをベースに後立山連峰や剣岳などに登る。その後体育会本部へ移り、体育会系23部の定期戦の相手チームとの打ち合わせ、予算措置などの交渉にあたる。昭和41年3月卒業後地元民放局南海放送へ就職。東京支社長を最後に定年退職、その後子会社の社長を4年間務めた。

人生は巡り合わせ

帝人ファーマ株式会社 代表取締役社長

鍋島 昭久 氏(48回)



戦後の日本経済を支えた産業の一つに合成繊維がある。当時、ナイロン、テトロン、ビニロンなどの商品名で販売されたこれらの合成繊維を生産したのは、東洋レーヨン（現・東レ）、帝人、旭化成、倉敷レーヨン（現・クラレ）などのメーカーである。今では各社共多角化が進み、石油化学製品、炭素繊維、医薬・医療分野など、幅広い分野に進出し、単に合成繊維メーカーとして分類することはできない。帝人ファーマは、帝人グループのなかでも、成長著しいヘルスケア事業部門の中核企業である。鍋島さんは、先頃、同社の社長に就任した。

金融庁のほか帝人グループの企業の本社などが入居する霞が関コモンゲートビル西館に鍋島さんを訪ねた。応接室に通され、間もなく鍋島さんがにこやかな表情で入室されてきた。がっしりした体躯のスポーツマンタイプである。

鍋島さんは昭和57年に帝人に入社した。本学から帝人本体への入社は例がないのでは？と、まず伺いました。「そうだと思います。私は大経大のサッカー部でしたが、当時、プロのJリーグはまだ結成されておらず、日本リーグの二部（現在のJ2）に所属する帝人やヤンマーなどのサッカー部からお誘いがありました。プロではなくアマチュアですが、多くは入社すれば仕事よりもサッカー中心の生活です。怪我をするかもしれないし、やはりメインは仕事だという考え方が私にはありました。当時、一般社員と同じように仕事をして、その後サッカーの練習という会社が3社あって、その一社が帝人でした」。ということは、サッカーの実力も相当なものだった？「学生時代は、関西選抜とか、日本代表の学生選抜の候補とか、日本のA代表の候補とかに選ばれたのですが、いつも合宿の最後で代表に残ることができなくて…」と笑う。帝人に入社され、最初はどのような仕事を？「四国の松山工場で経理の仕事をしてました。予算・決算をしながら原価計算をしたりです。忙しいときは練習にも試合にも行けません。工場で経理を5年間やりました」。そんなこともあって、体力的にもきついので、27歳でサッカーをやめて仕事に集中することにした。

そして、いよいよ松山の工場からの転勤となる。「勤務先は、帝人本社社長の社長室の計画部でした。ここは中長期計画とか予算とか組織に関することを扱う社長直属の経営の中核部門です。そんなところは自分には務まらないと思ったのですが、せっかくのチャンスだから行ってこいと上司に言われましてね。結局、東京で5年間仕事をしました。そこでは企業の戦略論からマネジメントまで徹底的にたたきこまれました」。若くして地方の工場の管理部門から本社の社長直属部門へ。その後、タイのバンコクに行き5年、

そこで会社を数社立ち上げたという。

日本に戻り、それまでスタッフ部門の仕事ばかりで、営業の仕事がしなかったという鍋島さん。「ちょうど帝人グループには『ジョブチャレンジ制度』というものがあったので、在宅医療機器の営業に応募して行くことになりました」。鍋島さんが40歳のときである。これが、現在、帝人グループのヘルスケア部門のトップを務めるきっかけとなる。因みに在宅医療機器とは、呼吸機能が低下した患者の生活を補助する在宅酸素医療機器とか、SAS（睡眠時無呼吸症候群）の患者が自宅で使用する治療器などである。「治す医療から（病院から自宅に戻った患者さんを）支える医療へということです。治療をするのは当然ですが、予防だとか診断だとか、看取りとか、そういう領域に国は力を入れており、医療費を少しでも抑制しようとしています。そういう意味で、これから大きく伸びるだろうと考えています」と鍋島さん。

帝人ファーマは、在宅医療分野で業界トップである。「在宅の患者さんは国内で30万人くらいおられます。阪神淡路、中越、新潟、東日本、熊本の大地震と、何回も経験を積んできて、そのたびにブラッシュアップしてきていますので、安否確認を一気にやるノウハウも持っています。やった結果を厚労省に報告もします。これは他社さんと比べると次元が違うと思います。24時間対応で、しんどい仕事ですが、担当者は患者さんからの『ありがとう』の一言がいちばんうれしいといいます」。

ところで、ご出身地は？と聞いてみた。「もともとは大阪の堂島です」、とか。かつて江戸時代、大坂の堂島付近には全国の名産が領内からの年貢米や特産品を貯蔵した蔵屋敷があった。今も佐賀鍋島藩の蔵敷跡が有名である。なにかご関係でも…？「私の叔父がいろいろ調べたようですが、よくわかりません。やはり素人では難しいようですね。将来、私に時間ができれば調べてみましょうか」と笑う。

最後に、「大経大に入ったのも、帝人に入ったのも巡り合わせですよ」と振り返られた。

(聞き手=事務局長・内田敏雄)

略歴 昭和35年1月17日生まれ。兵庫県立芦屋高等学校卒業。昭和57年(1982年)本学経営学部卒業。同年、帝人(株)入社。平成29年、帝人グループ常務執行役員、帝人ファーマ(株)代表取締役社長。現在、東京へは単身赴任、自宅は兵庫県西宮市、二男一女。

熊本支部長を28年間務めた

株式会社天商代表取締役
前大樟会熊本支部長

はま しのぶ
濱 忍氏(35回)

大樟会南九州地区の支部は元々3県と一緒に活動してきたが、平成2年8月、熊本支部が分離独立して全国38番目の支部として誕生した。濱支部長は支部誕生から現在まで28年間にわたり支部を牽引してきた。大樟会の各支部でこれほど永く支部長をされた例はない。

熊本支部から今年度本学への進学状況は受験者13名、合格者7名、入学者2名というのが現状で、その2名も将来熊本へ帰ってくるという保証もなく、個人情報もつかめないため、濱氏に言わせれば「正に熊本支部は限界集落」だという。

ただ、マンモス支部と違って会員約40名の結束は固く、支部総会案内はハガキではダメ。直接電話で案内する。会員の性格も把握していて総会は「家族的なつながり」だという。そのため「肥後もっこす※」はいるが、これまでごたごたしたことはないという。

濱氏は会員の出席率を高めるため支部総会の会場も熊本市のみならず杖立温泉、玉名市、山鹿市、阿蘇高原、八代市、また北九州、大分支部との合同支部総会を福岡市で、また新装なった母校の見学も兼ねて大阪市で開催するなど会員を飽きさせない努力もしてきた。

出席率も北海道支部に次いで全国で2番目というのが濱氏の自慢だ。昨年8月開催の支部総会で支部長を坂本純男氏（39回卒）へバトンタッチした。全国的に支部総会への出席者が少ないことについて濱氏は「ひとつは自分の出身校へ誇りが持てないから…。

隠れ経大がたくさんいる。就職先も率もさることながら上位2割くらいはいわゆる全国的にも名前の知れた“一流企業”への就職が不可欠だ」という。

また、地方からの受験者が少ないことについて、「九州からの進学希望者は東京へ向いていて次に京都、福岡の順で大阪にはそれほど魅力を感じていない。また福岡の大学は九州地区からの受験者を増やすために就職率向上などのあらゆる努力をしている。また学費の仕送りをする父兄の収入も増えていなくて経済的にも厳しいものがある」という。

最後に大樟会本部のあり方について「若年層も加えて老壮青のバランスを考え、体質改善をはかる必要があるのではないか」「臨済宗の鈴木大拙師のことは理解し、よく吟味することが望ましい」と自戒を込めて話す。永い間お疲れさまでした。

（聞き手＝広報部長・小林真人）

※「肥後もっこす」とは熊本本人に多く見られる「がんこ」で「反骨」的な性格。



略歴 昭和22年3月13日熊本県天草市生まれ。70歳。お父様の勤務の関係で3歳から高校1年まで宮崎県えびの市で過ごす。その後、福岡県若松市（現・北九州市若松区）へ移り県立若松高校を卒業後、本学経営学部へ入学。昭和44年卒業。在学中は法学研究部へ所属。全日本法学会ゼミなどに参加、議長を務める。藤原ゼミ所属。当時は学生運動が盛んで積極的に参加。卒業後は、伊藤忠石油へ就職するも1年で退職。その後大阪の工業用バルブ問屋へ転職。そこで10年間勤務した後、故郷へ帰り大阪時代のノウハウを生かし空調設備、バルブなどの工事会社を起業。現在に至る。会社の名称は生まれ故郷の天草から取った。

沖縄県経営コンサルタントの パイオニア

一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会会長

にしごと よしあき
西里 喜明氏(48回)

宮古島から那覇経由で大阪まで約3時間30分。学生時代から関西への憧れがあったため本学へ入学したという。起業当時、活動している企業診断士はわずか4～5名だったが、現在は氏が会長を務める中小企業診断士協会には130名弱が加盟している。

西里氏が日々携わっている業務は主に大きく三つに分けることができる。まずは本業の中小企業の診断と経営改善の指導である。「今は人材確保、売り上げ拡大が大きなテーマで、売り上げ拡大のためにはマーケティングの戦略が必要であったり、新しい商品、サービスの開発が必要だったり、どの企業も人手不足だが、その中で今いる人材の能力をいかにして開発向上させて生産性をあげるのかが大きな課題」だという。二つ目は行政からの依頼による産業関係の調査分析が主で沖縄のスポーツ産業の5年後、10年後の振興のためにはどうすればいいのかわや泡盛業界の診断、振興など、業界の将来構想についての依頼が多いという。三つ目は講演、セミナー、委員会出席などが大きな柱で、この活動も全体の1／3を占めているという。「昔は経営者が他人へ教えてもらうということは特に沖縄みたいな田舎ではなかったのだが、今では、専門家のアドバイスを受けながら自分の経営を考えて行くという風土が徐々にできつつある」という。また最近では中小企業庁を中心に色んな経

営改革をしていく上で専門家を活用して自社の経営を見直すというのが大きな流れになっていて、西里氏の経営するCSD（Corporate Strategy Design Consultants）＝経営革新等支援機関）はまさに時代の追い風に乘っている感じだ。

会社名をコンサルタントと複数型にしたのは、企業診断士は一人でやる時代は終わり、これからはそれぞれの能力と連携しながら質の高い仕事を目指さないといけない競争には勝ち残れないだろうとの思いからでCSDには優秀な専門スタッフ10人を抱えている。

沖縄県の人口は東京都に次いで2番目の増加率であり、年少人口割合でも17.5%と日本一若い県であり、気候も温暖で飛行機で4時間圏内に東京、ソウル、香港、上海、台北などがある。人口減少など我が国を取り巻く社会情勢が変化するなかでアジア、太平洋地域への玄関口として大きな潜在力を秘めており、「中小企業診断士は県内企業のアジアとの橋渡し役を担う必要性を痛感している」と西里氏はいう。飛行機での移動は年間100回にものぼるという超多忙な毎日を送る。

（聞き手＝広報部長・小林真人）



略歴 昭和33年10月3日沖縄県宮古島生まれ。59歳。沖縄県立宮古高校卒。昭和57年本学経営学部卒。在学中は税理研究会に所属しながら竹林庄太郎ゼミの中小企業診断士講座を受講。卒業後は日本コンサルタントグループへ入社。同時にコンサルタント養成学校へ通う。35歳の時沖縄へ帰り、株式会社CSDコンサルタントを起業独立。現在、一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会会長など数多くの肩書きを持つ。

税理士も選別される時代に

税理士大樟会会長

檜垣会計事務所代表

ひがきのりひと
檜垣 典仁 氏(38回)

初秋としてはめずらしく激しく雨が降る10月初旬の午後、大阪地下鉄難波駅から数分の檜垣会計事務所を訪ねた。いつものようにきちんとしたスーツ姿で迎えていただいた。

檜垣さんは、平成26年7月に税理士大樟会の会長に就任。税理士大樟会は四半世紀を超える歴史と堅い結束力を誇る大樟会の中核組織の一つである。

学生時代から税理士になろうと考えていたのかを、まず伺った。「泉谷勝美先生の簿記論の授業を受けていましたが、『うちは経済系の単科大学(当時)だから、資格業(税理士とか会計士)をやればいい』と言われたことがありましたね。そういう資格を目指す学生は税理士研究会(税研)というクラブに入っていたと思います。たまたま私の友人の一人も税研に入っていました。」それで、檜垣さんも税研に入部された? 「いえ、私はすでに部員80名のグリークラブに入っていて楽しんでいたので税研には入りませんでした。簿記の検定試験は受けていて、1回生で3級、2回生で2級に合格していました。3回生の時、公認会計士でもあった「監査論」の喜田義雄先生のゼミに入りました。将来、税理士試験を受けたいと思っていたので、役に立つかなと思って…」。

4回生になって、いよいよ就職を考えなければならない時期になったが、檜垣さんは当時大阪で仕事をすることは考えてなかったという。「出身地の愛媛県の今治に大きな会計事務所があり、すでに6月に内定をもらっていました。喜田先生に報告に行きましたら、大阪でゼミの先輩に岡本光正さん(21回卒)という優秀な税理士がいるので、その事務所に行った方がいいのではと言われましてね。」しかし、会計事務所に入っても資格が取れなくてはどのようなものない。税理士試験は難関である。当時(昭和47年)の檜垣さんの給料は3万円。アパートの家賃などもあり専門学校に行く余裕もない。「試験合格のため、そりゃ死にもの狂いで勉強をしましたよ。一回試験に落ちればまた1年間仕事と勉強をしなければならないですからね。1日の睡眠時間は3時間くらいでした」。

税理士登録から20年後、岡本先生が亡くなり、平成9年5月すでに名称を「岡本・檜垣会計事務所」と改名していた事務所を継承して現在の「檜垣会計事務所」となった。生前の岡本先生のご配慮もあり、3分の1は確実に減らと思っていたクライアント(顧客)は減らなかったという。

今、檜垣会計事務所には公認会計士・税理士の檜垣さんのご子息が勤務されている。税理士と会計士は少し業務内容は異なるが、会計事務所としては双方の有資格者が在籍することにより仕事の幅も大きく広がる。檜垣さんも「自

分でカバーできなかった業務までカバーできるようになりました」と認める。では、ご子息が公認会計士になられてうれしかったのでは? 「うれしいというより、正直不安でしたね。私はある程度の年になれば事務所は誰かに譲って引退すればいい。しかし、息子がこの世界に入って事務所を継承するとなれば守ってやらねばならないという責任感が出てきます」と親心がチラリ。「私から息子に会計士になれとか、税理士になれと言ったことは一度もありません。息子はこの道には来ないと思っていましたから…。しかし『子は親の背中を見て育つ』と言います。息子は私の背中を見ていたのでしょうね」と振り返る。

ところで、現在、本学出身の税理士は200名以上が活躍しているという。しかし税理士大樟会に加入している税理士は丁度100名。最盛期より数十名減っている。「同窓会は先輩・後輩の繋がりの世界じゃないですか。この同窓生で構成されている会がどうしても広がらないのか、と思います」と首をかしげる。「私もこの仕事に40年以上携わっていますが何かあったときには同窓生ですから遠慮なく相談できます。若い税理士には悩みがないのかなと思います。なんとか会員増強のためこの会の魅力をアピールできないものなのか?」と厳しい表情に。

では、税理士の将来性は? との質問に、「AI(人工知能)が益々発達してきたら、今後、10年、20年の間に今の税理士の業務の多くはなくなってしまうかもしれません。今では、会計や税務のソフトに数字を放り込めば、記帳もできるし、税金の計算もできるし、申告書まで出てくる。そういう仕事は消えるかもしれません。でも、税務はなくなることはありません。何しろ国の財政の根幹を成すものですから」。では、今後は? 「中小零細の企業の経営指導にも力を入れ、経営者の経営意識改革につなげていくようなことをしていかなないと我々の業界の生きる道はないでしょうね。税理士も今後は選別される時代に入るでしょう」と表情を引き締められた。

(聞き手=事務局長・内田敏雄)

略歴 昭和24年2月13日、愛媛県今治市生まれ。愛媛県立今治北高等学校卒業。昭和47年3月本学経営学部卒業。同年、岡本税務会計事務所(現檜垣会計事務所)入所。昭和52年2月税理士登録。平成15年6月、近畿税理士会浪速支部支部長就任、平成21年6月、同辞任。平成26年7月、税理士大樟会会長就任。現在2期目(1期2年)。趣味は園芸、俳句、ゴルフ

プロの写真家へと導いた 「つながり」と「情熱」

日本写真家協会会員

で が み の る
出上 実 氏(39回)

「だんじりのやり回し」で有名な岸和田市の郊外に住まいと事務所を構える出上さん。現在もいろんなジャンルの写真を撮り続けるプロの写真家として活躍されている。地元岸和田市役所主催のカメラ教室や講演など市民との交流や「つながり」を大切にされ、生涯学習や青少年指導員協議会のメンバーとして地域の発展に寄与されている。

「明日が68歳の誕生日なんですよ」と、今までの人生を振り返るかのように、満足気な表情でインタビューに応じていた。

「本学出身のプロの写真家は珍しいですね」とお聞きしたところ、「日本写真家協会」の会員で、本学出身の大先輩がおられるということだった。そして写真家になろうと思ったのも、いくつかの「同窓つながり」があったという。



一つ目は、本学入学後写真部に入部。高校野球連盟からクラブ宛てにアルバイトの依頼があり、先輩達は甲子園でスポーツカメラマンとして活動していた。出上さんも2回生から参加。甲子園のアイドルとなった鹿児島実業の定岡投手が活躍した年であった。「試合に負けた球児が「甲子園の砂」を泣きながら持ち帰る姿を必死でカメラに収めたのを今でも思い出しま

す」と振り返っておられた。

二つ目は、23歳の時「昭和商」卒業の先輩から「写真を撮ってみないか」と声をかけていただき、「同窓つながり」のありがたさを痛感した。とはいえ、



プロのカメラマンになるのは写真専門学校や大学の芸術系学部で技術を身に着けるのが普通であるが、出上さんは独学で技術を身につけられた。仕事の獲得に至るまで全てを自力で完結しなければならないハードルの高い道を選ばれたというのである。スポーツカメラマンのほか商業写真やアート写真、記念写真などいろんなジャンルの写真を撮影されてきた。

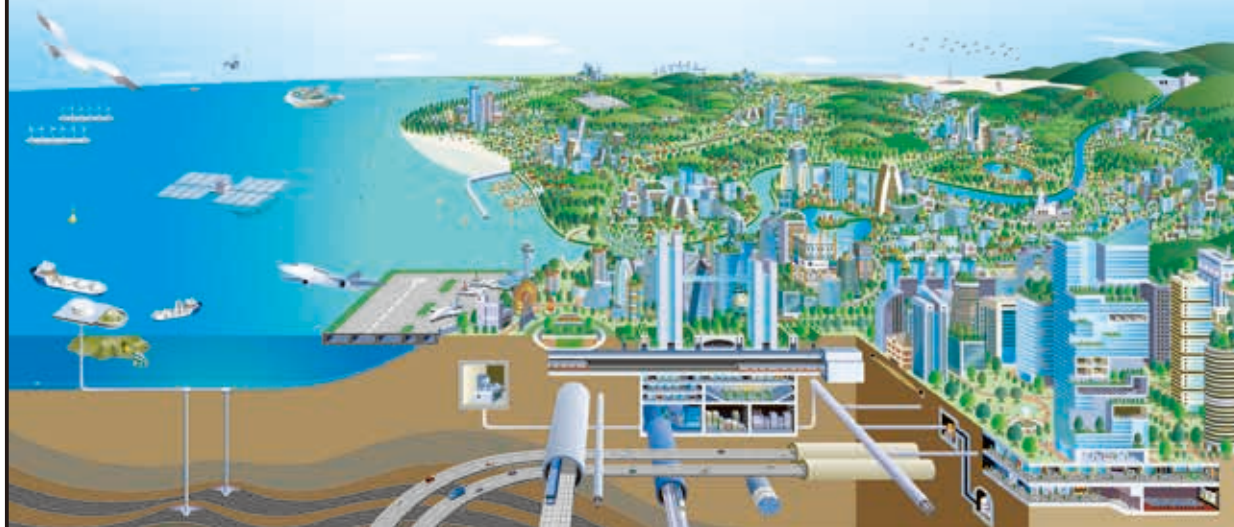
33歳の時、国立文楽劇場からの依頼でポスター写真を担当、それ以来ライフワークとして「文楽の写真」を撮り続けている。国立文楽劇場のポスターには出上さんの写真が数多く採用され、文楽の資料写真集にも提供されている。

三つ目は、大学時代に甲子園でアルバイトをしていた時、毎日新聞社の関係者との「出会い」があり、アメリカに行つて撮影する機会にも恵まれた。

今後の活動についてお聞きした。「まだまだ、やりたいことがいっぱいあります。40年間の自身の集大成として、文楽の写真集を出版したいですね」と。現在も「情熱」を持ってもらえることに感動！！（聞き手＝広報部・角庵勝巳）

略歴 昭和24年9月25日、岸和田市生まれ。68歳。上宮高等学校卒業後、本学経済学部に入部、写真部に入部。卒業後、日本写真家協会会員となりプロのカメラマンとして現在も活躍中。

For a Lively World



大成建設の技術で実現する未来都市

For a Lively World …この思いとともに、これまで育ててきた技術を、さらに高め次の世代へ。わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。

地球がいいき、人もいいき。大成建設がめざす未来です。

地図に残る仕事。®



大成建設株式会社

本部新役員26名を承認 同窓会奨学金制度実施へ

平成29年度大樟会理事会は5月27日（土）午後1時からD館32教室で開催された。当日は、理事総数226名のうち113名が出席した。

はじめに物故者に対し、全員で黙祷を行った後、田村正晴会長が挨拶を行った(要旨別記)。続いて議案審議に入り、議長に進木伸次郎常務理事（33回）、副議長に田中伸治常務理事（45回）を選出して、審議に入った。

第1号議案の平成28年度の事業報告では、総務部関係として、昨年10月30日（日）の大樟会総会後のホームカミングデー懇親会の後、今回初めて同期会・部会合同交流会を別会場（D館80周年記念館ホール）で開催し、200名近い参加者があったこと、9月3日（土）のパソコン教室が終了後、学生の保護者組織である「後援会」と学生への支援等について初めての意見交換会を行ったこと、また、広報部関係では、「澱江52号」で、社会人として活躍する若手卒業生の座談会を実施して母校を想う気持ちを語ってもらったこと、三期目を迎えた徳永学長のインタビュー記事を掲載したことなどが報告された。さらに組織部関係では、組織が大きすぎ実質的に活動を休止していた大阪市支部を4つの支部（大阪市淀川支部、大阪市北支部、大阪市南支部、大阪市住吉支部）に分割、平成29年4月9日（日）、本学においてそれぞれの支部の設立総会並びに記念レセプションを開催、活動を再開したこと、さらにかねてから設立の準備を進めていた政治に携わる卒業生の交流会が、大樟会の7つ目の部会として承認されたことなどが報告された。この後、財務部からの決算報告では、平成29年度から実施される大学の奨学金制度の支援のため、「スポーツ・学術振興引当金」に500万円を積み増したことなどが報告された。

第2号議案の事業計画について各担当部長から説明があった後、財務部から、収支予算について、「スポーツ・学術振興引当金」から2,000万円を取り崩して大樟会からの当面の奨学金負担金として大学に寄付することとする。

第3号議案では、国西良昌次期役員選考委員

会委員長（29回卒・理事）から選考の経緯および新役員候補者（常務理事23名、監事3名）の発表があった。今回の候補者は、大樟会の将来に備えての世代交代を意識した人事となった。

第4号議案の会則改定については、事務局より政治に携わる同窓生の交流会「大樟障政会」が7つ目の部会として承認されたことに伴い、大樟会会則第25条に部会として追加される。

これらの説明に対し、出席理事から大樟会による大学の奨学金制度支援のための資金負担の手続き、「澱江」の郵送料等に関する質問があったが、それぞれ担当役員から説明がなされた。以上、審議の結果、それぞれ承認された。

また、第3号議案の承認に伴い、大樟会本部の執行部体制は次のようになった。（敬称略）

会長 田村正晴（30） 副会長（広報部長）小林真人（32）

副会長 進木伸次郎（33） 事務局長 内田敏雄（39）

事務局参与 竹中亨（32）

総務部長 角脇忠行（34） 財務部長 中坪健治（41）

組織部長 石橋隆夫（32） 監事 檜垣典仁（38）

監事 廣野義直（34） 監事 川口正義（41）

なお、最後に、現役員の任期満了に当たり、進木総務部長より「平成26年度～28年度の大樟会本部事業の総括」の報告があった。



会長挨拶(要旨)

100年時代のライフシフト

大樟会会長 田村 正晴

大樟会は設立80周年記念総会を節目に新たな歩みを始めました。これからは90年、100年を視野に活動を展開していくことになります。

最近、「100年時代の人生戦略」という本が話題になっています。長寿化・高齢化が進む中で、2007年生まれの日本の子供の半分は100年以上を生きると予想され、これまでの人生設計を根本的に見直さざるを得ない時代がやってくるということです。働き方や休み方の見直しにあわせて、長い人生をどう過ごすかを考えなくてはなりません。今、世間で始まっている“静かな同窓会ブーム”も、これと無関係ではないように思います。しかし、同窓会の目的は「古き良き時代を懐古する」ことだけではありません。我々卒業生が職業人生活や社会人生活の傍らで同窓会とどう関わってきたか、同窓会活動をどう位置づけていくかを、考えてみる良い機会かもしれません。

80年の歴史を刻む大樟会は、22歳～100歳の幅広い年齢層の老若男女で構成されています。そのニーズは世代によって様々であり、これを一つに集約することは困難ですが、公約数的に絞り込むことは可能です。“懐古する”と同時に同窓会は、「素の自分に戻れる場」であり、「多様な人々が利害得失を超えてつながる場」であると思います。

大学が「つながる力No. 1」を掲げられて久しいですが、これを具体的に体現する活動が伴わなければ、ただのスローガンにしか過ぎません。大樟会にとっても“つながる力”は組織の源泉であり、活動の象徴です。「卒業生が大樟会につながり」、「大樟会が大学につながり」「大学が社会につながる」、この連鎖の輪を育むことこそ同窓会活動の原点です。

そこで、以下の主要課題に取り組んでまいります。

1. 組織の拡大強化と世代交代の促進

毎年の事業計画を着実に実行し、大樟会100周年に向けて「100支部・団体」の設立、支部長・卒回理事による「300人理事体制」の実現、本部組織の充実

2. 入口、出口の支援

学生会員の「就職活動支援」、給付型奨学金による「同窓会就学援助」の開始、入試部の意向を踏まえ、地方受験者増に寄与できる地方支部会員による「入試広報支援」

3. 同窓生10万人時代への対応

同窓会自治のもと自主的活動を堅持しつつ、10万人に迫る卒業生の追跡調査、囲い込み、組織運営の有り様について、大学と一体となって検討

以上

2017年全国支部長会議

同窓会設立80周年記念事業の進捗等を報告

平成29年度全国支部長会議は、大樟会理事会に先立ち、午前11時からJ館3階の第一会議室で行われた。全国支部長会議は、現在、全国の54支部と7部会、2団体の支部長、会長で構成されており、今回は52支部と4部会1団体が出席した。午前11時、小林副会長の開会の辞の後、4月16日（日）に急逝された眞鍋一美愛媛支部長（大樟会常務理事）に対し出席者全員で黙祷を捧げ、ご冥福を祈った。

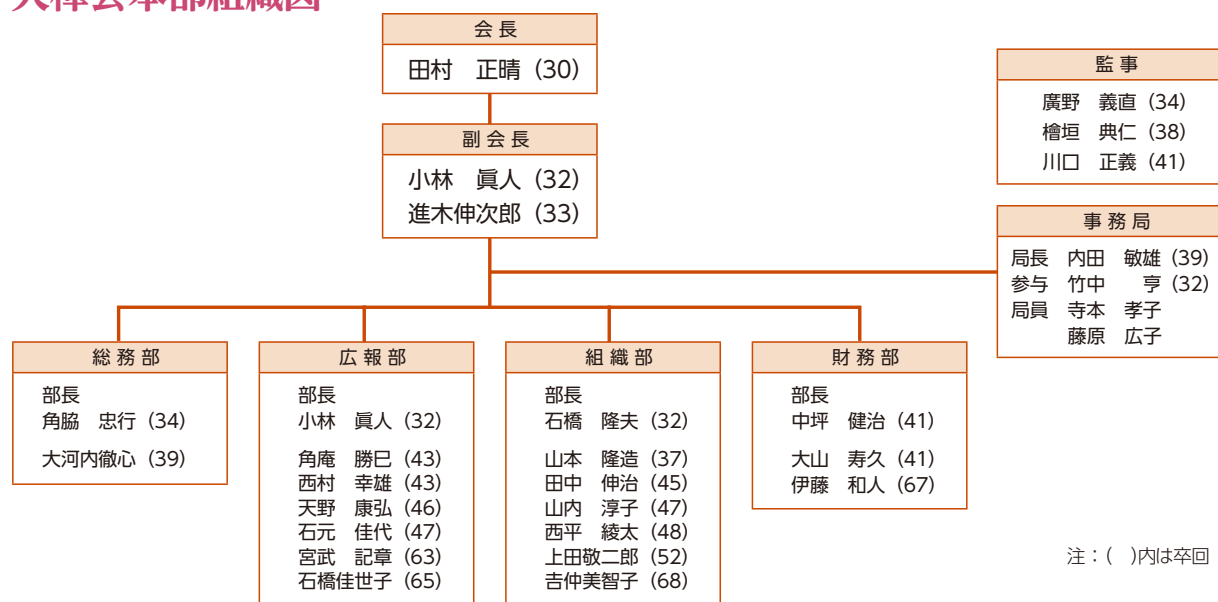
続いて大樟会田村会長から挨拶があり、さらに竹中亨事務局長からこの1年間の大樟会の活動として、同窓会設立80周年記念事業として①大学の奨学金制度への支援実施のための準備②京都「哲学の道」にある命名者である本学初代学長黒正巖博士の顕彰板の全面改修の実施③大学が行う入試広報の一環として九州各県および山口県の高등학교訪問に協力したことについて



報告が行われた。

また、新たに支部長に就任した14支部長・会長から挨拶が行われたほか、29年間の永きにわたり支部長を務め、近く退任する熊本支部の濱忍支部長から退任の弁が述べられた。

大樟会本部組織図



平成28年度収支決算書 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

(単位：円)

収 入 の 部		
科 目	決 算 額	予 算 額
前 期 繰 越 金	27,238,412	27,238,412
会 費 収 入	60,659,000	58,900,000
総 会 収 入	30,000	700,000
利 息 収 入	180,770	200,000
澁 江 収 入	956,010	1,000,000
広 告 料 収 入	1,100,000	1,200,000
奨 学 金 収 入	782,800	0
雑 収 入	20,000	0
合 計	90,966,992	89,238,412

支 出 の 部		
科 目	決 算 額	予 算 額
総 会 費	3,502,782	3,000,000
役 員 会 費	1,103,188	1,100,000
支 部 費	11,616,274	12,000,000
事 務 費	763,062	1,100,000
人 件 費	8,468,220	9,100,000
旅 費 交 通 費	3,579,540	3,500,000
広 報 活 動 費	9,940,351	11,500,000
名 簿 調 査 費	298,866	300,000
学 対 費	11,982,173	13,000,000
諸 会 助 成 費	1,473,098	1,350,000
慶 弔 費	440,062	500,000
同窓会設立80周年 記 念 事 業 費	1,033,990	2,000,000
スポーツ・学術振興費	5,000,000	0
予 備 費	0	1,500,000
次 期 繰 越 金	31,765,386	29,288,412
合 計	90,966,992	89,238,412

平成29年度収支予算書 自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

(単位：円)

収 入 の 部		
科 目	予 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金	31,765,386	
会 費 収 入	60,000,000	
総 会 収 入	500,000	
利 息 収 入	180,000	
澁 江 収 入	800,000	
広 告 料 収 入	1,000,000	
奨 学 金 収 入	500,000	
スポーツ・学術振興引当金取崩益	20,000,000	
合 計	114,745,386	

支 出 の 部		
科 目	予 算 額	摘 要
総 会 費	3,000,000	
役 員 会 費	1,100,000	理事会・常務理事会・各部会
支 部 費	12,000,000	運営費・支部総会援助
事 務 費	1,100,000	
人 件 費	9,100,000	事務局人件費
旅 費 交 通 費	3,500,000	
広 報 活 動 費	12,000,000	
名 簿 調 査 費	300,000	
学 対 費	12,500,000	大学祭・クラブ活動援助 他
諸 会 助 成 費	1,500,000	諸会援助
慶 弔 費	500,000	
同窓会奨学金負担金	20,000,000	
予 備 費	1,500,000	
次 期 繰 越 金	36,645,386	
合 計	114,745,386	

大樟会支部長・各種部会会長一覧

平成30年1月10日 現在

支部・部会名	氏 名	卒回	現 住 所	電 話
北海道	池田 正勝	34		
東京都	森田 幸伯	45		
富山県	老月 邦夫	37		
石川県	鍛冶 一英	36		
福井県	石橋 隆夫	32		
岐阜県	山根 一男	46		
静岡県	大塩 博喜	40		
愛知県	五十棲保彦	32		
三重県	池山 英典	57		
滋賀県	佐藤啓太郎	37		
京都府	柴田 俊彦	50		
★大 阪 市 淀 川	青木 正道	36		
★大 阪 市 北	小原 宏夫	38		
★大 阪 市 南	吉川 進	41		
★大 阪 市 住 吉	山本 岩雄	33		
大 阪 市 役 所	南 正治	43		
北 大 阪	角野 力	41		
北 摂	本郷 公夫	33		
北 河 内	森川 義一	25		
豊 中	田中 功一	42		
池 田	松田今朝男	34		
箕 面 ・ 豊 能	雑賀 保洋	33		
泉 南	塩谷善一郎	39		
堺	堀本 修	24		
尼 崎	(未定)			
伊 丹	竹中 亨	32		
川 西 ・ 川 辺	竹本 勇	35		
阪 神	木岡 良郎	36		
神 戸	正岡 健二	36		
丹 有	足立徳太郎	36		
明 石	池上 照夫	40		
北 播 磨	伊藤 俊博	32		
但 馬	田淵 善人	36		
東 播 磨	福田 敏裕	37		
姫 路	上野 隆裕	40		
淡 路 島	赤松 慶久	37		
奈 良	中嶋 肇	32		
和 歌 山	新田 和弘	32		
鳥 取	秋口 政俊	39		
島 根	山本 篤治	42		
岡 山	松永 清彦	41		
津 山	前田 基美	46		
備 後	小池 勝章	32		
広 島	陰山 秀明	44		
山 口	藤原 俊明	37		
徳 島	樫本 孝	35		
香 川	鈴木 澄夫	36		
愛 媛	二宮 克郎	40		
高 知	南 宏道	52		
北 九 州	植田 達三	52		
大 分	寒田 陽	40		
熊 本	坂本 純夫	39		
宮 崎	堀内 健一	35		
南 九 州	前園 博隆	34		
大 樟 春 秋 会	矢倉 英一	39		
大 樟 体 育 会	山本 隆造	37		
池田泉州銀行大樟会	陸野 敬	57		
日 立 大 樟 会	山下 徹男	37		
税 理 士 大 樟 会	檜垣 典仁	38		
大樟教育研究会	西村 幸雄	43		
社 労 士 大 樟 会	(代行) 湊 義朋	41		
大 学 院 大 樟 会	前田 増蔵	43		
★大 樟 樟 政 会	西 恵司	35		

★は新設支部・部会



資源の有効利用と環境に配慮した事業に取り組みます



防音パネル・採光パネル



低層足場



橋梁足場

仮設機材レンタル

足場材架組工事

オーケーリース株式会社

〒550-0011

大阪府大阪市西区阿波座1丁目6番13号

カーニープレイス本町 8階

tel: 06-6578-1081 web: <http://www.okg-gr.com/>

社史・記念誌 ・自叙伝出版

ご希望・ご予算に応じて
原稿整理のお手伝いから
編集企画をご提案します



安全手帳・ノート ・ハンドブック

企業様の安全管理を
オリジナルのイラストで
分かりやすく伝えます



大信印刷株式会社

www.dprint.co.jp

☆S58卒 畠山 昌憲 hatakeyama@dprint.co.jp

〒531-0076 大阪市北区大淀中4丁目13-11

Tel.06・6451・7631 Fax.06・6451・3735

あらゆる生活シーンで
安心と安全を
提供したい
それが私たち
エースグループの
テーマです。

ACE
GROUP
SINCE 1992

株式会社 **エース警備保障**

[本社]

〒660-0815 兵庫県尼崎市杭瀬北新町4-9-7

TEL:06-6481-0055 FAX:06-6481-0011

[大阪支店]

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル803

TEL:06-6446-0500 FAX:06-6446-0501

[神戸西支店]

〒651-2412 兵庫県神戸市西区竜が岡1-4-6

TEL:078-969-2007 FAX:078-969-2017

株式会社 **エース警備保障**

<http://www.ace-guard.com>





やすらぎのある空間づくり

私たちはよりよい庭での暮らしを提案いたします。

株式会社タカショー

<http://takasho.co.jp>

本社：和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017 TEL.073-482-4128 FAX.073-486-2560
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9 〒101-0062 TEL.03-5244-5650 FAX.03-5244-5652
私たちタカショーグループは和歌山から日本へ、そして世界へ「ガーデニング文化創造企業」として発展し続けています
国内16支店・営業所、海外6支店 タカショーグループ20社(国内8社・海外12社)



(証券コード 7590)



経大生協では、学事・学会・講演会・OB会などの懇親会やPARTYを、ご要望にあわせてプランニングいたします。
お料理・飲み物・ホールサービス・会場設営など内容についても是非ご相談ください。

お気軽にご相談ください

大阪経済大学生生活協同組合

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
TEL.06- 6379- 2230 Fax.6379- 2232 URL.<http://oue.hanshin.coop/>
e-mail OK-COOP@ma4.seikyoku.ne.jp



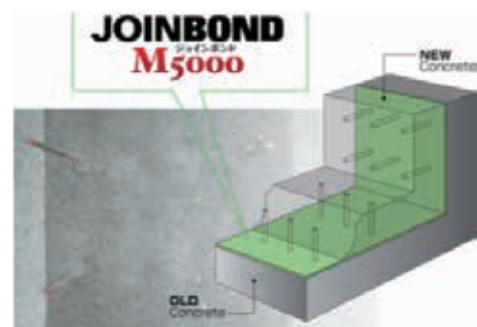
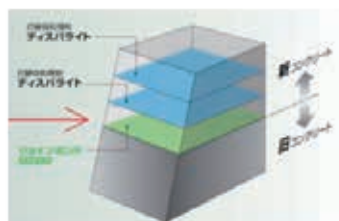
安定した品質で建設現場に貢献し、
社会資本に「安全・安心」を供給する。

ジョインボンド M5000

省力化をサポート！

NETIS登録番号 KK-130043-A

新旧コンクリート打継目接着材（繊維補強ポリマーセメント系）



施工後、新コンクリート打設まで最大14日確保！

チッピング不要で新旧コンクリートを一体化！

建設産業のインフラを支える日本ジッコウグループ



コンクリート関連資材の総合販売

日本ジッコウ株式会社

TEL / 078-974-1141 FAX / 078-974-7786
URL / <http://www.jikkou.co.jp>



機能性モルタル類の総合メーカー

テクノスジャパン株式会社

TEL / 078-924-1234 FAX / 078-924-0050
URL / <http://www.attack-pro.com>

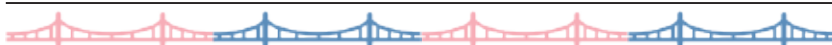


コンクリート構造物の劣化調査・診断

建設コンサルタント登録No. 建 27 第 6748 号

エースコンサルタント株式会社

TEL / 078-920-2251 FAX / 078-920-2253
URL / <http://www.ace-con.co.jp>



佐藤武司（昭和39年 30回卒業）

東日本大震災の復興に、北米最大の水処理施設にも広がる モノレール式汚泥かき寄せ機

仙台市南蒲生浄化センター

高さ 25m、収容人員 230 名
日本最大級の津波避難タワー
高知県黒潮町に完成



水処理設備・防災設備メーカー（知的財産権取得・出願中）

フジワラ産業株式会社

Tel 06-6586-3388 Fax 06-6586-1177

〒550-0024

大阪市西区境川1丁目4番5号

<http://www.fj-i.co.jp>

E-mail info@fj-i.co.jp

IWA
No.01068990



JS 認定第 604 号改良型
JIWET 技術審査証明番号第 1653 号



出来たてメインディッシュから季節のフランス料理まで食べ放題

平日ランチ&ディナー
日曜祝日ディナーは

—— 時間制限なし ——

2018.2/28 (水) まで

	通常	優待価格
ランチ (大人)	¥3,500~	⇒ ¥2,980~
ディナー (大人)	¥4,500~	⇒ ¥3,950~

※表記の価格はいずれも1名様・消費税込
※一部日程のディナータイムは2部制で営業
※特別営業期間は料金・営業時間が異なります

梅田
茶屋町

1階 ビュッフェ&カフェレストラン「ナイト&デイ」 店舗詳細はWEBで

ご予約・お問い合わせ **06-6377-3618** (直通)

ご予約時に大経大同窓会員の旨をお伝えください

ナイト&デイ バイキング

ホテル 阪急インターナショナル

Tel.06-6377-2100 (代表) 阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩約3分



Daiwa Lease
大和ハウスグループ

持続可能な社会を目指そう。

大和リースは、大和ハウスグループの中核企業として、未来の豊かな暮らしのために、持続可能な社会の実現に貢献いたします。

そのために、当社の4つの事業を複合化した提案を行い、総力をあげて課題を解決いたします。



■ 規格建築事業



■ 流通建築リース事業



■ リーシングソリューション事業



■ 環境緑化事業

大和リース株式会社

www.daiwalease.co.jp

大阪市中央区農人橋 2 丁目 1-36 ビップビル 〒540-0011

Tel 06-6942-8011 Fax 06-6942-8051

建設業許可番号・国土交通大臣許可 (特-27) 第 5903 号

宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣 (8) 第 3836 号

メインバンク サービス

池田泉州銀行で「年金」「給与」を
お受取りいただけるお客さま向けのお得なサービス

サービス適用の判定基準など、
詳しくは右記までお問い合わせください。



親切で新しい・・・

池田泉州銀行

給与
お受取り
で

年金
お受取り
で

どなたでもATM※お引出し
手数料0円!

※当行ATM、駅ナカATM
「Patsat」のお引出しに
かかる手数料が0円と
なります。



「スタシアサイカ」・「ミナビタサイカ」※2をご契約のお客さまは、
コンビニATM利用手数料を月4回までキャッシュバック!!

※1 給与振込は、お勤め先が取引金融機関と給与振込の契約を結んだうえでお取扱しているものに限ります。賞与は含みません。
※2 スタシアサイカ・ミナビタサイカとは、キャッシュカード・クレジットカード・PiTaPaの機能がついた多機能ICキャッシュカードです。

上新庄支店

TEL.06-6328-2761

(2017年8月1日現在)

豊中



〒560-0004
大阪府豊中市少路2-9-18 1F
アクセス：大阪モノレール少路駅徒歩5分
TEL：06-4865-5258



【営業時間】

11：00～21：30
(LO. 21：00)

【定休日】

毎週月曜(祝日は営業)
翌日振替定休とします

十九種類のスパイスが
奏でる味覚のハーモニー



梅田



〒530-0027
大阪市北区堂山町15-17 アクトⅢ1F
アクセス：阪急梅田、JR大阪駅、地下鉄中崎町
より徒歩圏内
TEL:06-6312-2588



【営業時間】

11：30～22：30
(LO. 22：00)

【定休日】

不定休

社労士大樟会

社会保険労務士は企業の健全な発展と働く人々の幸福を目指します!!

育児介護休業法・労働者派遣法・労働契約法・高年齢者雇用安定法が改正されました。「雇用」をめぐる情勢は大きく変化しようとしています。「社労士」は雇用管理のエキスパートとしてこれらの法改正を企業の現場にソフトランディングさせる「コンサルテーションを行う実務家」です。



社労士大樟会は2008年7月に誕生した大阪経済大学同窓会の職域支部です。学術の研究、講演会の開催等会員の資質向上及び社会的貢献につながる事業と会員相互の親睦をはかる事業を行っています。社労士資格をお持ちの同窓生の皆さん！ぜひご参加ください。「つながる力」を結集しましょう。

お問合せ先：事務局長 西平 綾太(48期)

TEL 072(472)2297 FAX 072(471)7226

婦人服の企画・製造・販売

【ECHO INTERNATIONAL SPIRITS】

SPA (Speciality Store Retailer of Private Label Apparel) 企画、生産から小売まで。「自分で作って自分で売る」これが基本です。SPAのスピード感を生かしながら、グレードの高い生地、細密な縫製で作り上げるハイクオリティなアンチエイジングブランドです。私たちは、新しい時代を生きる女性の感性を刺激するファッションを追求し続けます。



ECHO INTERNATIONAL CO., LTD.

BOUTIQUE ECHO⁷¹ E·HALF E&U

【大阪本社】〒550-0012 大阪市 西区立売堀1-4-12 リーガル立売堀ビル7F TEL. 06-4393-8665 FAX. 06-4393-8667

【東京店】〒104-0061 東京都 中央区銀座5-8-20 銀座コアB1F

TEL. 03-5568-1131 FAX. 03-5568-1132

www.echo-i.com 百貨店、GMS（総合スーパー）、SC（ショッピングセンター）等にショップ200店舗

www.dhtd.co.jp

Clean, Powerful



船舶用補機関

船舶用主機関



8DE-33



6DEM-23

DAIHATSU ダイハツディーゼル株式会社

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番30号 TEL (06) 6454-2393 FAX (06) 6454-2682

東京支社 TEL (03) 3279-0821 / 仙台支店 TEL (022) 227-1674 / 名古屋支店 TEL (052) 561-1311

四国支店 TEL (0898) 32-6213 / 九州支店 TEL (092) 629-0731 / 守山事業所 TEL (077) 583-2551

大阪の街で、90年。 これからも、皆さまとともに。



信頼で地域とつながる City 大阪シティ信用金庫

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL.(06)6201-2881(代表)

本店営業部	大阪市中央区北浜2丁目5番4号	TEL.(06)6231-2881	上小阪支店	東大阪市上小阪3丁目1番6号	TEL.(06)6730-1281	弥刀支店	東大阪市大連北1丁目9番9号	TEL.(06)6728-8484
中之島支店	大阪市北区中之島1(大阪役所内)	TEL.(06)6202-0891	江戸堀支店	大阪市西区江戸堀3丁目1番25号	TEL.(06)6447-7881	深江橋支店	大阪市東成区深江北2丁目2番8号	TEL.(06)6972-8131
西支店	大阪市西区九条南1丁目10番17号	TEL.(06)6581-2421	関目支店	大阪市旭区高殿4丁目22番40号	TEL.(06)6954-0374	寝屋川支店	寝屋川市萱島本町12番5号	TEL.(07)823-3021
阿倍野支店	大阪市阿倍野区阪南1丁目48番1号	TEL.(06)6622-0671	平野上町支店	大阪市平野区平野上町2丁目7番18号	TEL.(06)6791-1804	河内長野支店	河内長野市楠町東1651番地の3	TEL.(07)53-8412
生野支店	大阪市生野区桃谷2丁目23番32号	TEL.(06)6718-1121	日本橋支店	大阪市中央区日本橋2丁目6番1号	TEL.(06)6641-8131	恵我之荘支店	羽曳野市恵我之荘3丁目1番1号	TEL.(07)953-1201
福島支店	大阪市福島区野田3丁目1番18号	TEL.(06)6462-3621	萩之茶屋支店	大阪市西成区花園南1丁目3番15号	TEL.(06)6661-6031	八尾北支店	八尾市光町2丁目9番地	TEL.(07)998-0888
住吉支店	大阪市住吉区東粉浜3丁目23番8号	TEL.(06)6673-8371	梅田支店	大阪市北区梅田2丁目1番22号	TEL.(06)6341-6434	北山本出張所	八尾市上之島町北1丁目16番地の2	TEL.(07)923-3741
城東支店	大阪市城東区今福西1丁目9番6号	TEL.(06)6939-5131	加島支店	大阪市淀川区加島4丁目2番46号	TEL.(06)6309-7821	恩智支店	八尾市恩智町1丁目77番地の2	TEL.(07)941-0241
東成支店	大阪市東成区東中本1丁目15番27号	TEL.(06)6971-2401	御厨支店	東大阪市御厨2丁目5番6号	TEL.(06)6788-5181	道明寺支店	藤井寺市沢田3丁目6番39号	TEL.(07)952-4351
都島本通支店	大阪市都島区都島本通2丁目3番19号	TEL.(06)6924-1171	港支店	大阪市港区三先1丁目10番28号	TEL.(06)6573-6261	久宝寺口支店	八尾市末広町4丁目8番16号	TEL.(07)924-8080
布施西支店	東大阪市岸田堂西2丁目3番6号	TEL.(06)6728-3301	長吉支店	大阪市平野区長吉長原東1丁目2番73号	TEL.(06)6708-9001	東花園支店	東大阪市花園東町2丁目2番15号	TEL.(07)966-0180
南田辺支店	大阪市東住吉区田辺3丁目25番20号	TEL.(06)6628-0581	恩加島支店	大阪市大正区平尾4丁目21番8号	TEL.(06)6554-1351	JR八尾駅前支店	八尾市安中町3丁目2番40号	TEL.(07)924-8100
門真支店	門真市本町30番3号	TEL.(06)6909-7451	北加賀屋支店	大阪市住之江区北加賀屋1丁目1番26号	TEL.(06)6683-6551	八尾南支店	八尾市若林町1丁目87番地	TEL.(07)948-7781
住道支店	大東市扇町16番7号	TEL.(07)872-4881	姫島支店	大阪市西淀川区姫島5丁目2番1号	TEL.(06)6475-3231	志紀支店	八尾市志紀町2丁目4番地	TEL.(07)949-3881
八尾西支店	八尾市久宝寺2丁目4番57号	TEL.(07)992-0081	西九条支店	大阪市此花区梅香3丁目33番9号	TEL.(06)6464-0621	本町支店	大阪市西区立売堀1丁目2番14号	TEL.(06)6532-1501
若江岩田支店	東大阪市岩田4丁目3番33号	TEL.(07)963-2151	東淀川支店	大阪市東淀川区豊新5丁目14番30号	TEL.(06)6327-8861	我孫子支店	大阪市住吉区我孫子西2丁目4番27号	TEL.(06)6694-8600
たつみ支店	大阪市生野区中3丁目9番2号	TEL.(06)6751-1281	守口支店	守口市京阪本通1丁目4番12号	TEL.(06)6993-8541	枚岡支店	大阪市西区石切町3丁目4番1号	TEL.(06)6722-1150
生野中支店	大阪市生野区中川東2丁目4番6号	TEL.(06)6754-1811	市大病院出張所	大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号	TEL.(06)6633-1321	瓢箪山支店	東大阪市昭和町2番3号	TEL.(07)982-1414
高井田支店	東大阪市西堤1丁目13番4号	TEL.(06)6788-2821	豊中支店	豊中市服部南町4丁目1番25号	TEL.(06)6864-7471	大東支店	大東市赤井1丁目3番12号	TEL.(07)871-3591
つるみ支店	大阪市鶴見区横堤3丁目6番52号	TEL.(06)6912-8861	堺支店	堺市堺区大町西3丁目2番1号	TEL.(07)232-7601	豊浦出張所	大東市豊浦町13番4号	TEL.(07)981-5801
生野南支店	大阪市生野区舍利寺3丁目5番28号	TEL.(06)6718-2181	八尾営業部	八尾市本町2丁目8番1号	TEL.(07)923-1988	法善寺支店	柏原市法善寺4丁目2番1号	TEL.(07)973-0701
桃谷駅前支店	大阪市天王寺区堂ヶ芝1丁目9番3号	TEL.(06)6771-4881	平野支店	大阪市平野区加美西2丁目1番3号	TEL.(06)6791-9871	中野支店	東大阪市角田2丁目10番9号	TEL.(07)963-2100
鴻池支店	東大阪市中鴻池町3丁目4番5号	TEL.(06)6745-2811	山本支店	八尾市山本町1丁目8番3号	TEL.(07)922-7666	布施支店	東大阪市足代2丁目3番4号	TEL.(06)6722-1101
加美北支店	大阪市平野区加美北3丁目12番1号	TEL.(06)6794-3121	柏原支店	柏原市本郷2丁目5番27号	TEL.(07)972-3181	永和支店	東大阪市荒川2丁目26番12号	TEL.(06)6722-2001
中津支店	大阪市北区中津1丁目17番26号	TEL.(06)6376-3071	松原支店	松原市上田1丁目7番3号	TEL.(07)332-1700	中央市場営業部	大阪市福島区野田2丁目1番80号	TEL.(06)6469-7361
森ノ宮支店	大阪市中央区森ノ宮中央1丁目8番1号	TEL.(06)6946-1081	国分支店	柏原市国分本町1丁目4番1号	TEL.(07)978-6161	東部市場支店	大阪市東住吉区今林1丁目2番68号	TEL.(06)6756-3540
谷町支店	大阪市天王寺区生玉前町1番18号	TEL.(06)6775-0751	古市支店	羽曳野市栄町4番11号	TEL.(07)956-0485	塚本支店	大阪市西淀川区柏里3丁目1番10号	TEL.(06)6473-6491
大東北支店	門真市江端町9番23号	TEL.(07)882-1661	吉田支店	東大阪市今米1丁目5番37号	TEL.(07)963-4312	北部市場支店	茨木市宮島1丁目1番1号	TEL.(07)636-2075
岸の里支店	大阪市西成区千本中2丁目2番21号	TEL.(06)6659-6522	初芝支店	堺市東区日直西町1丁目53番32号	TEL.(07)285-2893	場内出張所	大阪市福島区野田1丁目1番86号	TEL.(06)6469-7360
桜川支店	大阪市浪速区幸町2丁目3番22号	TEL.(06)6562-3224	小阪駅前支店	東大阪市小阪本町1丁目6番20号	TEL.(06)6722-0666			

■テレフォンダイレクト支店 夢ふくらむ支店 大阪市中央区北浜2-5-4 ☎0120-77-2976

インターネットアドレス <http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

大阪府内に90店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。

平成30年1月1日現在

農業と園芸、家庭菜園の専門店



農業屋



関西・東海に53店舗を展開。

「豊かなみのにご奉仕する」という理念のもと、古くからタネ屋として日本全国の種苗会社様とともに、お客様により良い品種のご提案をしてきました。三重県にある自社農場では、タネ屋のノウハウを活かし、野菜苗・花苗の生産を行っています。これからも地域の皆様に愛されるお店づくりを行って参ります。

みんなでつくる農業屋の直売所



家庭菜園と農業用品の通販サイト

種・野菜づくりの専門店



もっと楽しく。もっと健康に。

農業屋の園芸療法



クラギ株式会社

三重県松阪市川井町花田 539

電話：0598-26-1111(代) FAX：0598-26-1113(代)

ホームページ <http://www.nogyoya.jp>



ホームセンター
カンセキ

WILD-1
OUTDOOR LIFE STORE

株式会社カンセキ

本社 栃木県宇都宮市西川田本町3丁目1番1号 TEL 028-658-8123(代表)

<http://www.kanseki.co.jp/>

カンセキ

検索

「がんばらない」経営

当社の経営を一言で表現すると

「頑張らない経営」となります。

「頑張らない」とは、

「怠ける」ということではなく、

「無理をしない」ということです。

つまり、出来もしないようなことを

目標に掲げ、無駄に力を使うのではなく、

基本的なことを

確実に実行していくことが、

会社を継続して成長させることに

つながると考えています。



ケースデンキイメージキャラクター
ちびまる子ちゃん
©さくらプロダクション/日本アニメーション

会員数3,600万人超!

ケースデンキあんしんパスポート

あんしんパスポートは、お客様に4つの「安心」をご提供するカードです。

1. 「価格」が安心……………パスポートのご提示で電池や電球などの小物商品も割引いたします。
※一部値引き対象外の商品サービスがございます。
2. 「アフターサービス」が安心……………パスポートのご提示で対象商品ご購入の際の長期無料保証登録が簡単になります。
3. 「万が一の商品リコール」にも安心……………万が一、メーカーからリコール商品がでて、対象商品をご購入されたお客様に迅速にご連絡いたします。
4. 「消耗品等のお買物」が安心……………プリンタのインクやクリーナーの紙パックの型番を購入履歴の検索でお調べいたします。



**ケースデンキあんしんパスポートは
スマートフォンアプリでもご利用いただけます!!**

会員様限定クーポンやイベント情報、
最新チラシなどをお届けします!

※アプリのダウンロードおよび利用に伴う通信料などは
お客様のご負担になります。※詳しくは係員におたずねください。

ダウンロードは
App StoreやGoogle Playにて
ケースデンキ を検索



新製品が安いケースデンキ

おかげさまで全国に490店舗以上展開!!
<http://www.ksdenki.com/>

★住所等を変更された場合は、必ずご連絡ください！

「澱江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等を変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください（切手代は不要です）。その他、電話、FAXなどでも受けつけております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

電話06-6328-2431（代表） FAX 06-6328-4564（直通）

メール okusu@osaka-ue-denko.com

また、ホームページからもご連絡いただけます。

ホームページアドレス → <http://www.osaka-ue-denko.com/>

大阪経済大学大樟会

検索

● 編集後記 ●

○「澱江53号」をお届けします。これまでの表紙は建造物などが多かったのですが、今回は特集の中で登場する人物を取り上げました。「ジャパネットたかた」創業者の高田明氏は一昨年までTVのCMに出演されていてお顔は皆さん見覚えがあっても、案外本学の卒業生であることをご存じない方も多いと思います。一代で年商1500億円を超える通販業界大手企業に育てあげた高田明氏のお話にはさすがに心を打つものがあります。

○現在、大樟会支部の現状は今年度5000人の会員を擁する大阪市支部を淀川、北、南、住吉の4支部に分割、54支部となりました。また休眠状態でした島根支部を再興し、昨年11月25日総会を開催しました。それに職域などの9支部と合わせて63支部となりました。近畿圏には支部立ち上げがまだできていない地区もあり、大樟会組織部で今後立ち上げに協力することにしています。

○今後、高校生が減少する環境の中で昨年度の志願者は本学始まって以来の2万人を超えました。と、言って喜んではいられません。実は志願者の80%以上が近畿圏からの出身者で占められているからです。特に地方の大樟会支部総会へ出席してみますと一様に「本学の名前が聞こえてこない」との要望が相次いでいます。藤本二郎新理事長は「今後は地方にも出かけて高校の進路指導担当者へPRをしていきたい。そのためには同窓生の力をお借りしたい」と話されています。是非皆さまのご協力を。

○地方からの入学生が0～数人という県が数多くあります。4年間の学費を負担されるご家族は大変です。このため少しでも地方からの入学者の経費補助のためにと大学とは別枠で設けた同窓会の「遠隔地学生奨学金」が少しでもこうした地区からの入学生を増やす一助になればと思っています。

○「ズームアップ経大人」の登場者は北は北海道から南は沖縄まで、また企業の第一線で活躍されている方、これからの将来を担う若者、人生悠々自適で過ごされている方など、バラエティーに富んだ内容になったと自負していますが…。次号も候補を探すのに苦労をしています。どなたかご紹介したいOB・OGを事務局へご推薦ください。

○前号でも紹介しましたが、小生は山口在住のため細かな編集作業、スポンサーの確保などは事務局へ丸投げの状態でした。この場を借りて事務局の皆さま方、それに本号へ投稿していただいた皆さまへ厚く御礼申し上げます。

（広報部長 小林真人）

「澱江」の由来 初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ 我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば「【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。『淀』は『澱（でん）』に通ずる」と記載されています。